



The essentials of imaging

bizhub 163

ユーザーズガイド



本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、bizhub 163 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからぬことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラスト等は、実際の機械とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギーestarプログラムについて



当社は、国際エネルギーestarプログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギーestarプログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギーestarプログラム対象製品とは？

国際エネルギーestarプログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマークについて



本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

3R・省エネ設計

エコマーク認定番号 第 05 117 011 号

bizhub 163 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

■ エコマーク Version2.0 とは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が2005年8月1日（Version2.0）に制定した規準です。「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

■ 商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape は、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Novell、および NetWare は、米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標 [または] 商標です。
- Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- 本ユーザーズガイドに記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標または商標です。

もくじ

はじめに	1
国際エネルギースタートプログラムについて	1
エコマークについて	1
エコマーク Version2.0 とは?	1
商標、著作権等について	2
もくじ	3
こんなコピーがとれます	9
コピー	9
倍率	9
仕上り	10
応用	10
原稿	11
ページの見かた	12
原稿および用紙の呼び方と表示	13
排出面と通紙方向	13
幅と長さ	13
□	14
□	14
コピー禁止事項	15
法律によりコピーを禁止されているもの	15
著作権の対象となっているもの	15
注意を必要とするもの	15
機械・消耗品のリサイクル／リユース	16
機械・消耗品のリサイクル／リユース	16
第 1 章 設置・取扱いの注意	1-1
1.1 安全にご使用いただくために	1-2
絵表示の意味	1-2
図記号の例	1-2
1.2 適合宣言文	1-9
レーザーの安全性	1-9
内部レーザー放射	1-9
レーザー安全ラベル	1-10
オゾン放出	1-10
電波障害について	1-10
JIS C 61000-3-2 適合品	1-10
物質工ミッショնについて	1-11
1.3 設置上のご注意	1-12
設置環境	1-12
設置電源	1-12
設置スペース	1-13
1.4 使用上のご注意	1-14
使用環境	1-14
本機使用上のご注意	1-14
転居、移動	1-14
消耗品の取り扱い上のご注意	1-15
トナーボトルの取り扱いについて	1-15

コピー／プリントの保存について	1-15
再生紙の使用について	1-16
各種運転モードにおけるエネルギー消費および省エネルギー機能	1-16
換気について	1-16
第2章 おつかいになるまえに	2-1
2.1 装置全体の構成とはたらき	2-2
2.2 各部の名称とはたらき	2-4
本体	2-4
本体内部	2-6
自動原稿送り装置／マルチ手差し給紙ユニット（オプション）	2-7
ペーパーフィーダーユニット（オプション）	2-8
セパレーター（オプション）	2-9
2.3 操作パネル部の名称とはたらき	2-10
操作パネル部の名称とはたらき	2-10
ディスプレイの角度の変えかた	2-13
ディスプレイ表示について	2-14
2.4 電源について	2-16
電源をオンにする	2-16
電源をオフにする	2-16
初期モード	2-16
オートリセット	2-17
低電力（スリープ）モード	2-17
オートパワーオフ	2-17
予約コピー	2-17
2.5 電気を節約するには	2-18
低電力（スリープ）モードを設定する	2-18
オートパワーオフを設定する	2-20
第3章 コピーをとるまえに	3-1
3.1 用紙について	3-2
用紙種類	3-2
用紙サイズ	3-3
用紙セット枚数	3-4
コピー／プリントに適さない用紙	3-5
3.2 画像コピー／プリント領域	3-6
3.3 用紙の保管	3-7
3.4 用紙のセットのしかた	3-8
第1トレイに用紙をセットする	3-9
第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする	3-12
3.5 原稿について	3-15
原稿送り装置を使用する場合	3-15
原稿のタイプ	3-15
原稿についての注意	3-16
3.6 原稿のセットのしかた	3-17
原稿送り装置に原稿をセットする	3-17

原稿ガラス上に原稿をセットする	3-19
透明度の高い原稿をセットする	3-20
ブック原稿をセットする	3-22
サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿）	3-23
第4章 コピーのとりかた	4-1
4.1 コピーする	4-2
コピーの基本的なとりかた	4-2
定形サイズの原稿を異なる定形サイズに縮小／拡大する	4-4
原稿に合った画質を設定する	4-6
濃度を設定する	4-8
4.2 コピーの停止／再開／消去について	4-10
4.3 用紙の選択のしかた	4-11
オートトレイチェンジ機能	4-12
トレイチェンジの順序	4-13
4.4 手差しでコピーする	4-14
手差しコピーできる用紙	4-14
マルチ手差しトレイの調整について	4-14
手差しトレイに普通紙をセットする	4-15
手差しトレイに官製はがきをセットする	4-17
手差しトレイにOHPフィルムをセットする	4-19
手差しトレイにラベル用紙をセットする	4-21
手差しトレイに封筒をセットする	4-23
手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）	4-26
手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）	4-29
4.5 いろいろな用紙にコピーする	4-32
OHPフィルムにコピーする	4-32
ラベル用紙にコピーする	4-36
不定形サイズの用紙にコピーする	4-40
封筒にコピーする	4-44
官製はがきにコピーする（手差しトレイ使用）	4-48
官製はがきにコピーする（第1トレイ使用）	4-50
4.6 倍率を指定してコピーする	4-54
倍率設定の種類	4-54
自動倍率の設定のしかた	4-55
固定倍率の設定のしかた	4-56
手動倍率の設定のしかた	4-58
縦横変倍の設定のしかた	4-60
4.7 コピー濃度を変更してコピーする	4-62
コピー濃度の設定のしかた	4-63
4.8 割込んでコピーする	4-65
割込み設定のしかた	4-65
4.9 マシンカウンタを確認する	4-67
マシンカウンタで確認できる項目	4-67

第 5 章	一歩進んだコピーのとりかた	5-1
5.1	仕上り設定について（ソート、グループ）	5-2
	仕上りの種類	5-2
	仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）	5-4
	仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）	5-6
5.2	2in1、4in1 コピーの設定について	5-8
	原稿ガラスの場合	5-8
	原稿送り装置の場合	5-11
5.3	ブック分割コピーの設定について	5-13
	枠／折目消しの種類について	5-15
5.4	原稿の一部を消してコピーする（イレース）	5-16
	イレース位置でのご注意	5-16
	イレース設定のしかた	5-17
5.5	白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）	5-19
	ネガポジ反転の設定のしかた	5-19
5.6	とじ代をつけてコピーする	5-21
	とじ代位置のご注意	5-21
	とじ代の設定のしかた	5-22
5.7	コピー設定を登録する	5-24
	コピー設定の登録のしかた	5-24
	コピー設定を呼び出してコピーする	5-26
5.8	ID（部門）番号を使ってコピーする	5-27
	ID（部門）番号の入力のしかた	5-27
第 6 章	設定メニュー／コピー設定	6-1
6.1	設定メニュー	6-2
6.2	設定メニュー／コピー設定一覧	6-3
6.3	本体設定	6-5
	本体設定メニューを選択する	6-7
	オートリセット設定を変更する	6-8
	低電力（スリープ）設定を変更する	6-9
	オートパワーオフ設定を変更する	6-10
	原稿送り装置使用時の画質を変更する	6-12
	原稿ガラス使用時の画質を変更する	6-13
	濃度を変更する	6-14
	LCD コントラストを変更する	6-15
	キーリピート設定を変更する	6-16
	ディスプレイに表示される言語を変更する	6-18
6.4	トレイ設定	6-19
	トレイ設定メニューを選択する	6-20
	用紙サイズの単位を設定する	6-21
	第 1 トレイ用紙の設定をする	6-22
	トレイの特殊紙設定をする	6-24
6.5	不定形サイズ登録	6-25
	不定形サイズを登録する	6-25

6.6	ユーザー保守	6-27
	ドラムドライ（露とり）	6-27
	トナー補給	6-28
6.7	管理者設定	6-30
	管理者設定を選択する	6-32
	管理者番号を変更する	6-34
	オートパワーオフ「しない」を選択できるようにする	6-36
	ID（部門）管理の設定をする	6-38
	ID（部門）を登録する	6-39
	ID（部門）を変更／削除する	6-41
	ID（部門）別カウンタを表示／消去する	6-43
	ID（部門）別カウンタをすべて消去する	6-45
6.8	コピー設定 1	6-46
	コピー設定 1を選択する	6-47
	優先トレイの設定をする	6-48
	優先画質の設定をする	6-49
	優先濃度の設定をする	6-50
	優先濃度レベル（自動）の設定をする	6-51
	優先濃度レベル（手動）の設定をする	6-52
	ブックとじ位置を選択する	6-53
	とじ代幅の調整をする	6-54
	イレース幅の調整をする	6-55
	小サイズ原稿の設定をする	6-56
6.9	コピー設定 2	6-57
	コピー設定 2を選択する	6-58
	優先コピーモードの設定をする	6-59
	優先仕上りの設定をする	6-60
	4in1 ページ順の設定をする	6-61
	優先原稿混載の設定をする	6-63
	交互排紙の設定をする	6-64
第 7 章 こんなメッセージが表示されたら		7-1
7.1	「トナーがありません」と表示されたら	7-2
	トナー補給のしかた	7-2
7.2	「用紙が詰まりました」が表示されたら	7-6
	本機内部／第 1 トレイでの紙詰まり処理のしかた	7-7
	第 2 / 第 3 / 第 4 / 第 5 トレイ（オプション）での紙詰まり処理のしかた	7-13
	マルチ手差しトレイ（オプション）での紙詰まり処理のしかた	7-16
7.3	「原稿が詰まりました」が表示されたら	7-19
	原稿送り装置での紙詰まり処理のしかた	7-19
7.4	主なメッセージと処置のしかた	7-23
第 8 章 故障かな？と思ったら		8-1
8.1	こんなコピーが出てきたら	8-2
8.2	コピー機が動作しない	8-4

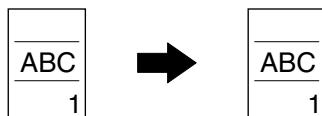
第 9 章 その他	9-1
9.1 ものな仕様	9-2
本機 bizhub 163	9-2
自動原稿送り装置 DF-502	9-3
ペーパーフィーダーユニット PF-502	9-3
セパレータ JS-503	9-4
マルチ手差し給紙ユニット MB-501	9-4
9.2 日常のお手入れ	9-5
外装カバー	9-5
原稿ガラス	9-5
原稿押さえパッド	9-6
操作パネル	9-6
9.3 おもな機能の組み合わせ一覧表	9-7
おもな機能の組み合わせ一覧表	9-7
9.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表	9-8
コピー用紙サイズ	9-8
コピー倍率	9-9
9.5 消耗品について	9-11
コピー用紙	9-11
トナーボトル	9-11
9.6 保守サービスについて	9-12
第 10 章 索引	10-1
10.1 索引	10-2

こんなコピーがとれます

本機のおもなコピー機能を簡単に紹介します。操作方法については、参照ページをごらんください。

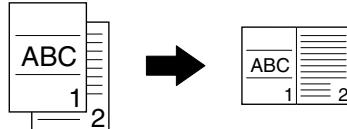
■ コピー

片面コピー



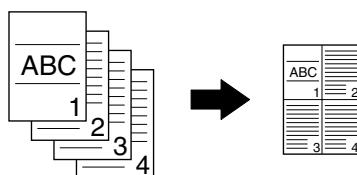
詳しくは、p. 4-2 をごらんください。

2in1 コピー



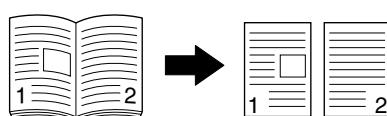
詳しくは、p. 5-8 をごらんください。

4in1 コピー



詳しくは、p. 5-8 をごらんください。

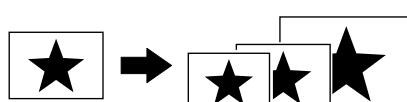
ブック分割コピー



詳しくは、p. 5-13 をごらんください。

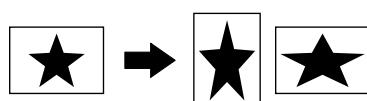
■ 倍率

縮小／等倍／拡大



詳しくは、p. 4-56 をごらんください。

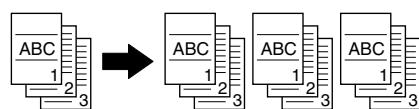
縦横変倍



詳しくは、p. 4-60 をごらんください。

■ 仕上り

ソート



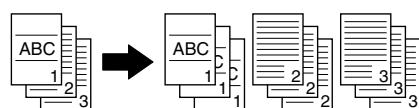
ひとこと

コピー機能により、必要な装着オプションが異なります。



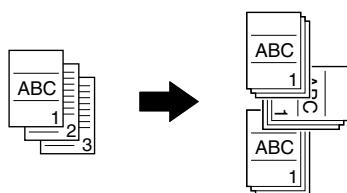
詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

グループ



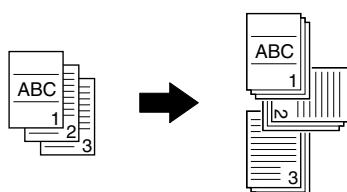
詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

交互ソート



詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

交互グループ



詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

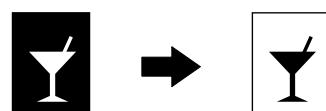
■ 応用

イレース



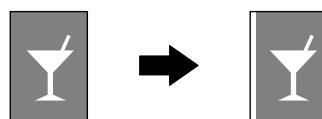
詳しくは、p. 5-16 をごらんください。

ネガポジ反転



詳しくは、p. 5-19 をごらんください。

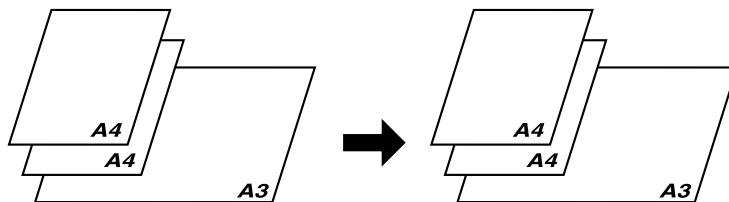
とじ代



詳しくは、p. 5-21 をご覧ください。

■ 原稿

混載原稿



詳しくは、p. 3-23 をご覧ください。

項目のタイトルで説明されている内容を確認します。

■ 原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

5.7 コピー設定を登録する

■ 原則

よく使用するコピーモードを登録しておき、必要に応じて呼び出すことができます。コピー設定は2つまで登録できます。

登録できる設定項目は次のとおりです。

■ コピー設定の登録のしかた

①

各種項目の設定をします。

②

【プログラム】を押します。



③

【▲】【▼】で「登録」を選択し、【OK】を押します。



【】
操作パネルのキー名称、電源スイッチなどを示します。



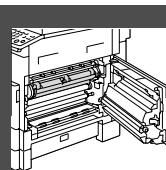
操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、必ず行ってください。

△ 注意



定着部周辺は高温になっています。

やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触れたままの場合には、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



5-24

一步進んだコピーのとりかた

ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。
お読みになることをおすすめします。

ひとこと
ウォームアップ中および割り込みモード中に設定の登録を行うことはできません。

詳しく説明します

すでに設定が登録されているプログラム番号に新たにコピー設定の登録を行うと、前のコピー設定は消去されます。

参考
・「コピー／ファクスをするまえ」(p. 3-1) をごらんください。
・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

必ず守ってください
压着レバーの解除は、レバーのグリーン部を持って行ってください。

参照

参照先を指示します。
必要に応じてご覧ください。

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

! 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性が想定される内容を示しています。

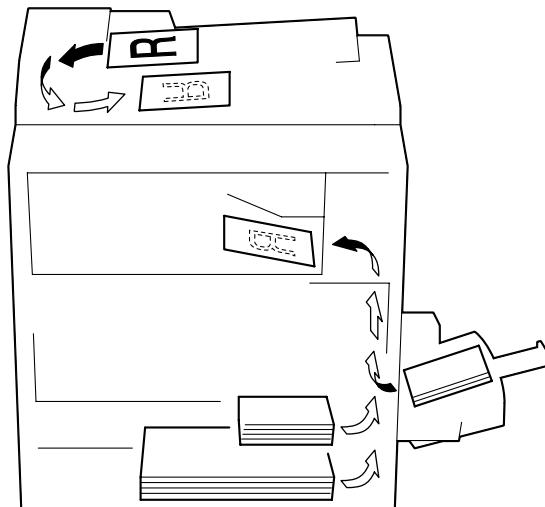
(このページは実際には存在しません。)

原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

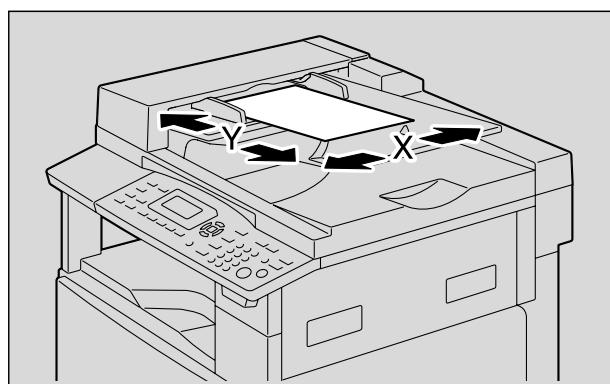
■ 排出面と通紙方向

本機は用紙を右側から給紙し、コピー／プリントした面を下に向けて上側の排紙トレイへ排出します。下図の矢印で示された、用紙の送られる方向のことを通紙方向と呼びます。



■ 幅と長さ

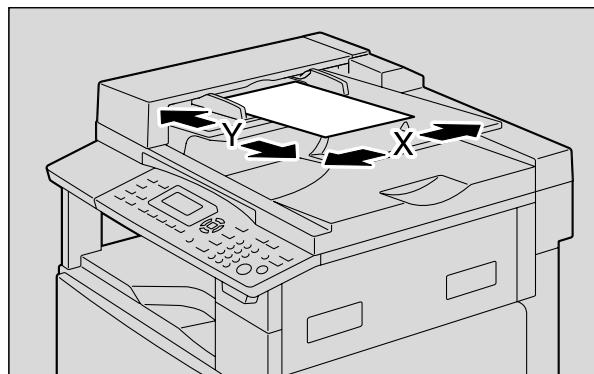
原稿／用紙の大きさを表す場合、X辺を幅と呼び、Y辺を長さと呼びます。



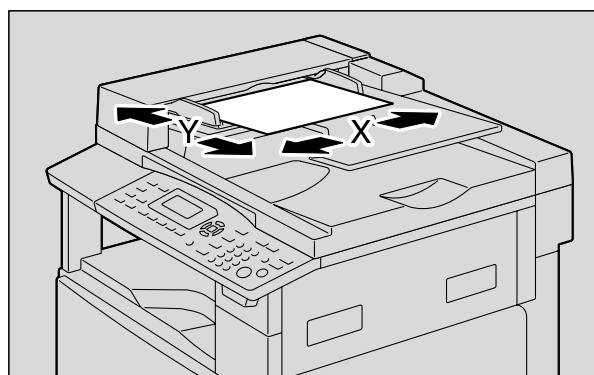
原稿および用紙の呼び方と表示



幅 (X) よりも長さ (Y) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (X) よりも長さ (Y) のほうが小さいものを □ と表示します。



コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

<関係法律>

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ關スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。



本機が搭載している「部門管理」機能で「暗証番号登録」を設定すると、コピー使用時に暗証番号を入力しないと本機が使用できなくなるため、不正使用を防止することができます。
また、「部門管理」機能でコピーの「許可／禁止」を設定することにより、コピー機能に制限を加えることもできます。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

■ 機械・消耗品のリサイクル／リユース

弊社の環境基準に従い回収された機械やトナーボトルなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

使用済みのトナーボトル、感光体は、再使用、マテリアルリサイクル、再資源化など適正に処理するため、回収にはご協力を御願い致します。

使用済みのトナーボトル

- 使用済みのトナーボトルは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
回収したトナーボトルは、再資源化しています。

使用済みのドラム（感光体）

- 使用済みのドラムは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
回収したドラムは、再資源化しています。

機械の廃棄について

- 機械を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。
機械を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。
回収した機械は、再資源化しています。

第1章 設置・取扱いの注意

設置や取扱いの注意について説明します。

1.1	安全にご使用いただくために	1-2
1.2	適合宣言文	1-9
1.3	設置上のご注意	1-12
1.4	使用上のご注意	1-14

1.1 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

KM_Ver. 01J_C

※ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

	この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中には具体的な注意内容が描かれています。
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くには具体的な禁止内容が描かれています。
	この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中には具体的な指示内容が描かれています。

分解・改造について

！警告

- ・本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。



- ・本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



電源コードについて

！警告

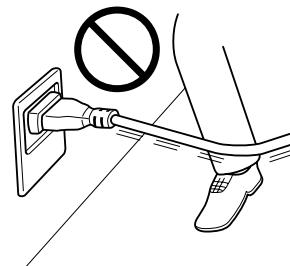
- ・同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。



- ・この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。



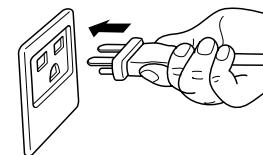
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



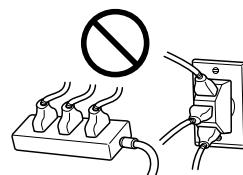
電源について

⚠ 警告

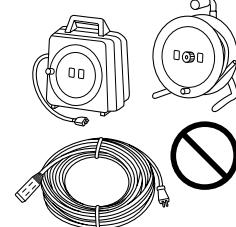
- ・製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。



- ・プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。



- ・コンセントが2口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。



- ・原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠ 注意

- ・コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグについて

！警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

**！注意**

- プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



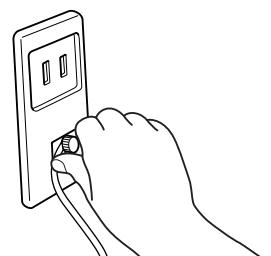
アース接続について

！警告

- 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。

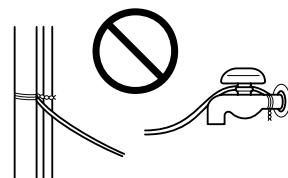


※アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前にやってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。



アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

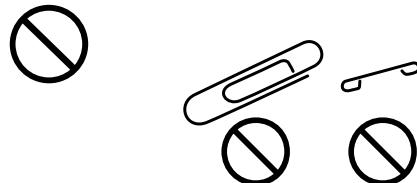
- コンセントのアース端子
 - 接地工事を施してある接地端子（第D種）
- 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管（ガス爆発の原因になります）
 - 電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
 - 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）



設置について

⚠ 警告

- ・本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



⚠ 注意

- ・本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。(床置き型製品の場合)
- ・本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- ・本製品の周囲で引火性のスプレー液や液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



換気について

⚠ 注意

- ・本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。



異常が見られたら

⚠ 警告

- ・本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



- ・本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- ・本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



消耗品について

⚠ 警告

- ・トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。



⚠ 注意

- ・トナーボトルや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。



- ・トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるときは

△ 注意

- ・本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- ・本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



長期間使用しないときは

△ 注意

- ・連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



1.2 適合宣言文

■ レーザーの安全性

本機は、レーザーを使用するデジタル機器です。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス 1 レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることは 없습니다。

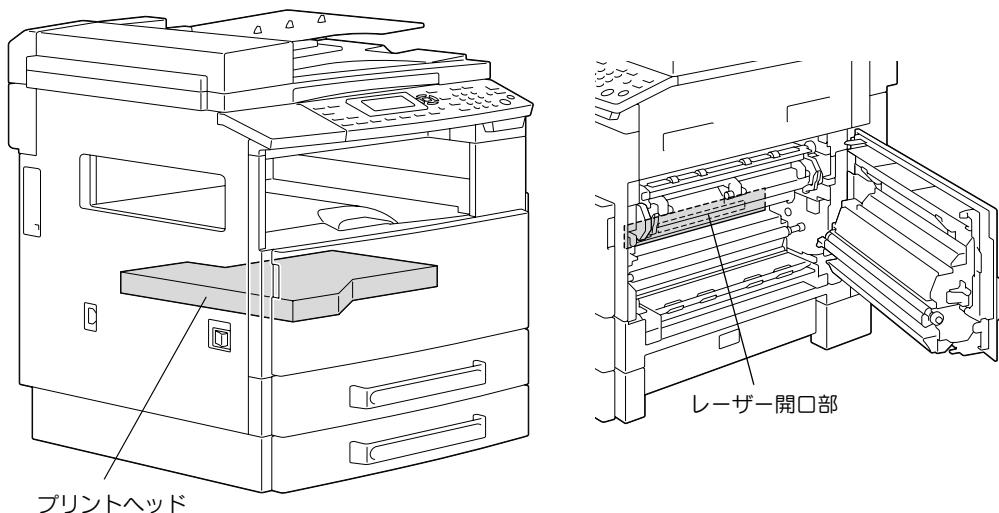
■ 内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドのレーザー開口部で $6.32 \mu\text{W}$

波長：770-795 nm

本機は、クラス 3b のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。



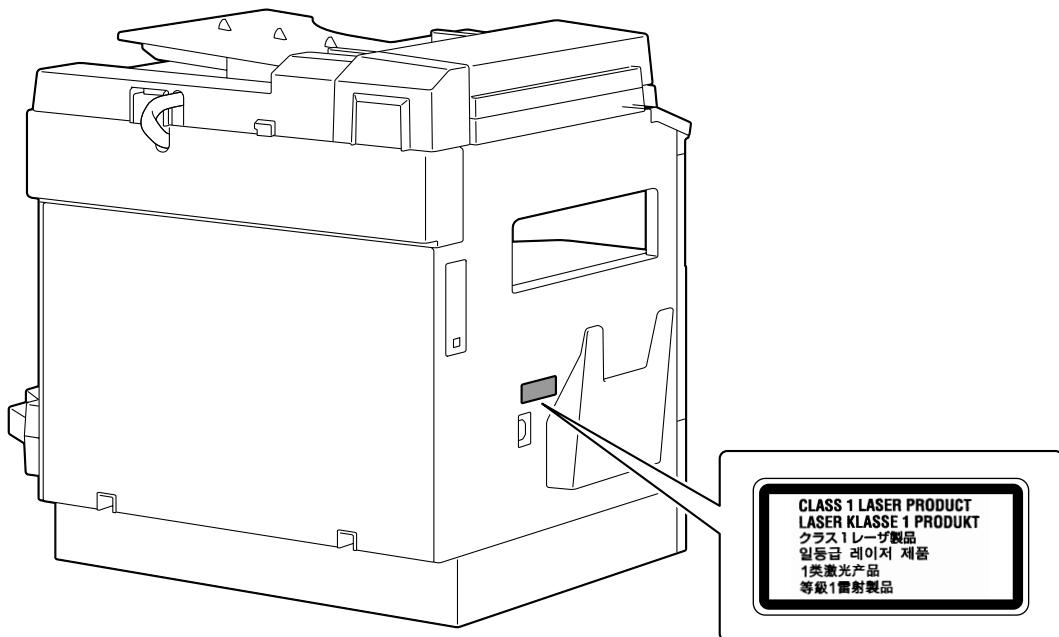
注意

ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。

これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 5 mW で波長は 770-795 nm です。

■ レーザー安全ラベル

次に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



■ オゾン放出

本機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー／プリントを行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために部屋の換気をおすすめします。

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

本説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルを使用して下さい。ノンシールドインターフェースケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります、VCCIで禁止されています。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOCの放散については、エコマークNo117「複写機 Version2.0」の物質エミッション放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用の推奨純正品を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2003の付録4に基づき試験を実施しました。）

1.3 設置上のご注意

■ 設置環境

次のような場所への設置は安全上好ましくありません。また本機の故障の原因になりますので、避けて設置してください。

- カーテンなどの燃えやすいものが近くにあるところ。
- 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のあるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- エアコンや暖房器具の風が直接あたるような、温度や湿度が急激にかわるところ。
- 通気性、換気性の悪いところ。
- 湿気の多いところ。
- ほこりの多いところ。
- 振動の激しいところ。
- 水平でないところ。
- アンモニア等の有機ガスが発生するところ。
- 機械の排気が直接人体に当たるところ。
- 石油ストーブ等の発熱機器に近いところ。

■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

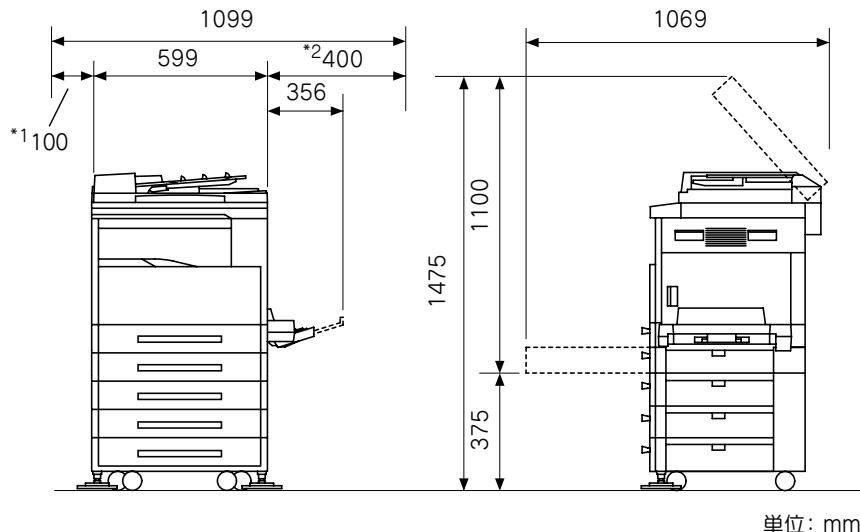
- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。

電圧変動率：AC 100 V ± 10% 以内

周波数変動：50 Hz/60 Hz ± 3 Hz 以内

■ 設置スペース

コピー操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。



必ず守ってください

*1: 本機の左側面には排熱用の排気ダクトがあるため、左側面は必ず 100 mm 以上あけてください。

*2: 本機の右側面は横力バーの開閉用に 400 mm 以上あけてください。

1.4 使用上のご注意

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10 °C ~ 30 °C 温度変化率 10 °C /h 以下
- 湿度 15% ~ 85% 湿度変化率 10%/h 以下

■ 本機使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 原稿ガラスの上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
- コピー／プリント中に、各種ドアを開けたり、メインスイッチを OFF にしたりしないでください。紙づまりをおこします。
- 本機に磁石や燃えやすいガス、または液体を近づけないでください。
- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグを差し込んだコンセントが、本機などの陰に隠れてしまわないようしてください。
- 長い休みなどで長期間本機を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 連続して多量のコピー／プリントを行う場合には、部屋の換気を行ってください。

△ 注意

本機の左側面にある排気ダクトがふさがれると、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。

排気ダクトの左側面は 100 mm 以上あけてください。

△ 注意

定着部周辺は高温となっています。

火傷の原因となりますので、ユーザーズガイド中で指定された箇所以外には手を触れないように注意してください。特に、「注意 やけどのおそれあり さわらないでください」という表示のある箇所、およびその周辺には手を触れないでください。

高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

■ 転居、移動

引越しなどで本機を移転させる場合には、サービス実施店にご相談ください。

■ 消耗品の取り扱い上のご注意

消耗品（トナーボトル、用紙）の取り扱いには以下の点にご注意ください。

- 消耗品を以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光の当るところ
 - 火気のある暑いところ
 - 湿気の多いところ
 - ほこりの多いところ
- 包みから取り出した用紙は、ポリ袋に入れ必ず冷暗所に保管してください。
- トナーは本機専用のトナーを使用してください。他のトナーは絶対に使用しないでください。
- 幼児や子供の手の届く所には置かないようにしてください。

■ トナーボトルの取り扱いについて

トナーボトルを取り扱う場合、以下の項目をよく読み取り扱いには十分に注意してください。

- トナーボトルは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手に付いた場合
石鹼を使って水で良く洗い流してください。
- トナーを吸入した場合
新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
咳などの症状ができるようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合
直ちに流水で15分以上よく洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合
口の中をよくすすぎ、コップ1、2杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーボトルは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ コピー／プリントの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当らないところに保管してください。
- コピー／プリントされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けことがあります。

■ 再生紙の使用について

本機は、古紙パルプ 100% 再生紙で、エコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」がご使用できます。

■ 各種運転モードにおけるエネルギー消費および省エネルギー機能

各種運転モード時のエネルギー消費値は以下の通りです。

スリープモードの消費電力	スリープモードへの移行時間	スリープモードからの復帰時間
17.2 W	15 分	30 秒

省エネルギー機能には、以下を搭載しています。

- スリープ機能

スリープ機能は、本機の消費電力を節約するため、本機を操作しなくなつてから設定した時間が経過すると、操作パネルのディスプレイ表示を消すなど、自動的に節電状態にする機能です。待機中の消費電力を 17.2 W 以下に抑えることができ、電気料金の節約にも寄与しています。出荷時設定では、無操作時間が 15 分を経過すると、自動的にスリープ機能が働き消費電力を節約します。スリープ機能は、1 分～240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

スリープ機能設定時間	出荷時設定
1 分～240 分	15 分

■ 換気について

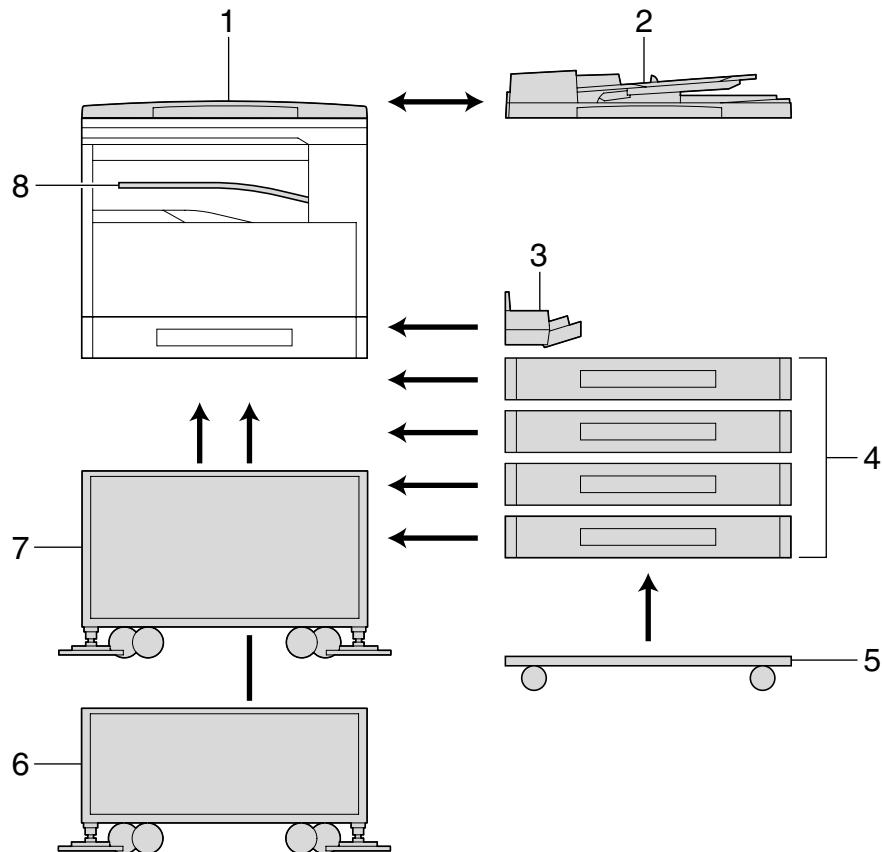
換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量のコピーを行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス環境が保てない原因となります。また、複写動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

第2章 おつかいになるまえに

おつかいになるまえに知っておきたいことについて説明します。

2.1	装置全体の構成とはたらき	2-2
2.2	各部の名称とはたらき	2-4
2.3	操作/パネル部の名称とはたらき	2-10
2.4	電源について	2-16
2.5	電気を節約するには	2-18

2.1 装置全体の構成とはたらき



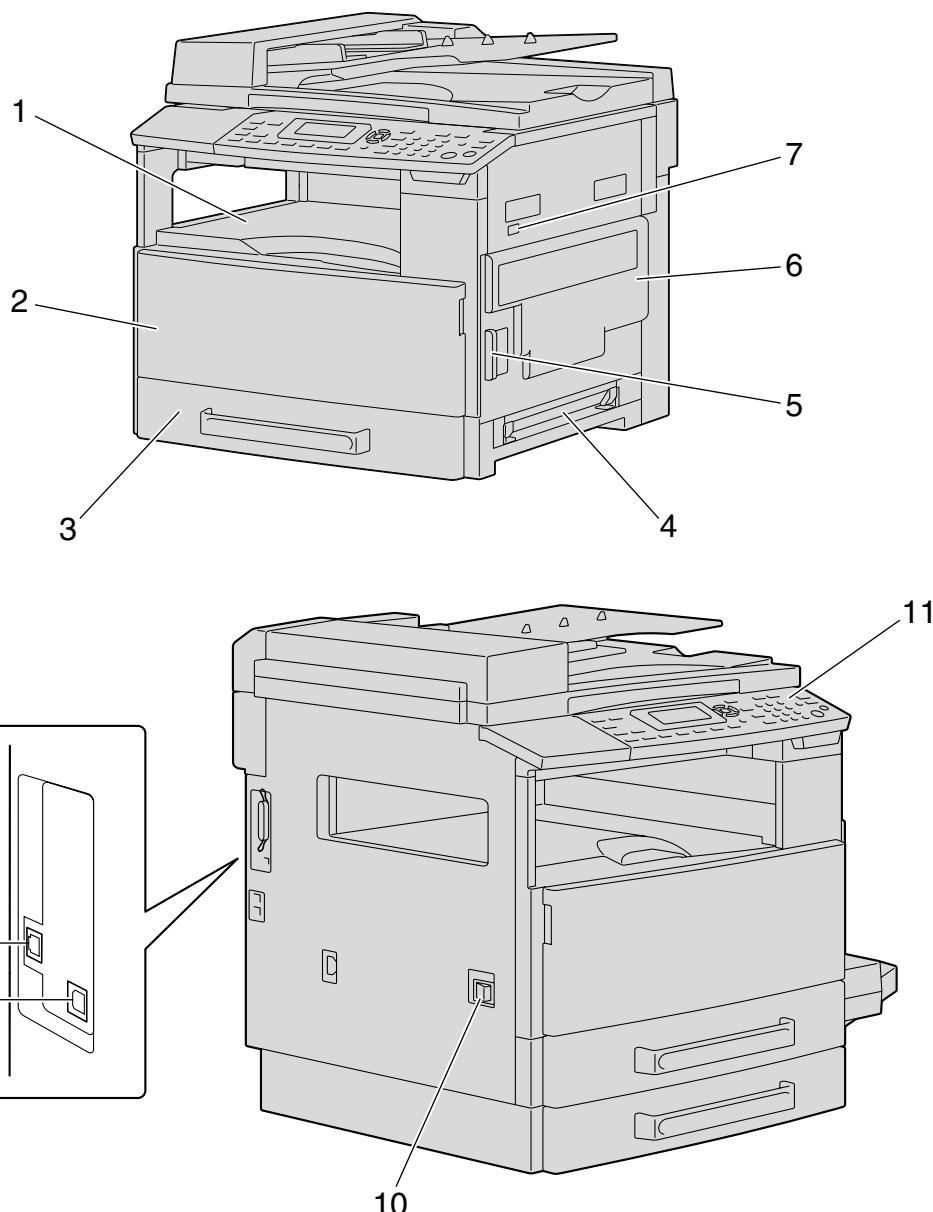
No.	名称	説明
1	原稿力バー OC-504	セットした原稿が動かないように押さえます。 以降本文中では原稿力バーと呼びます。
2	自動原稿送り装置 DF-502 (オプション)	自動的に原稿を 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。 以降本文中では原稿送り装置と呼びます。
3	マルチ手差し給紙ユニット MB-501 (オプション)	用紙を最大 100 枚までセットできます。 以降本文中ではマルチ手差しトレイと呼びます。
4	ペーパーフィーダーユニット PF-502 (オプション)	用紙を 300 枚セットできるペーパーフィーダーユニットです。 本機には 4 段まで増設できます。 以降本文中では第 2 / 第 3 / 第 4 / 第 5 トレイと呼びます。
5	専用デスク DK-703 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 このデスクの上に、トレイを最大 4 段増設できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
6	専用デスク DK-702 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 このデスクの上に、トレイを最大 2 段増設できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。

No.	名称	説明
7	専用デスク DK-701（オプション）	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 このデスクの上に、トレイを1段増設できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
8	セパレータ JS-503（オプション）	プリントされた用紙を仕分けることができます（PCプリント時のみ有効）。 以降本文中ではセパレーターと呼びます。
9	イメージコントローラ IC-206*（オプション）	内蔵型のプリンタコントローラです。 ・本機をPCプリンター（PCL）として使用できます。 ・WindowsおよびNetWareネットワーク環境でのネットワークプリントができます。 ・原稿をスキャンして、データをコンピューターに送つたりメールに添付できます。 詳しくは、イメージコントローラ IC-206 のユーザーズガイドをごらんください。
10	ネットワークカード NC-503*（オプション）	内蔵型のネットワークカードです。 ・WindowsおよびNetWareネットワーク環境でのネットワークプリントができます。 ・原稿をスキャンして、データをコンピューターに送つたりメールに添付できます。 詳しくは、ネットワークカード NC-503 のユーザーズガイドをごらんください。
11	拡張メモリ EM-103*（オプション）	128MBの拡張メモリです。本機で処理できる原稿枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリーと呼びます。
12	防湿ヒータ HT-502*（オプション）	給紙キャビネットまたは専用デスクに取付け、用紙の湿気を防止します。

* 内蔵系オプションのため、図解してありません。

2.2 各部の名称とはたらき

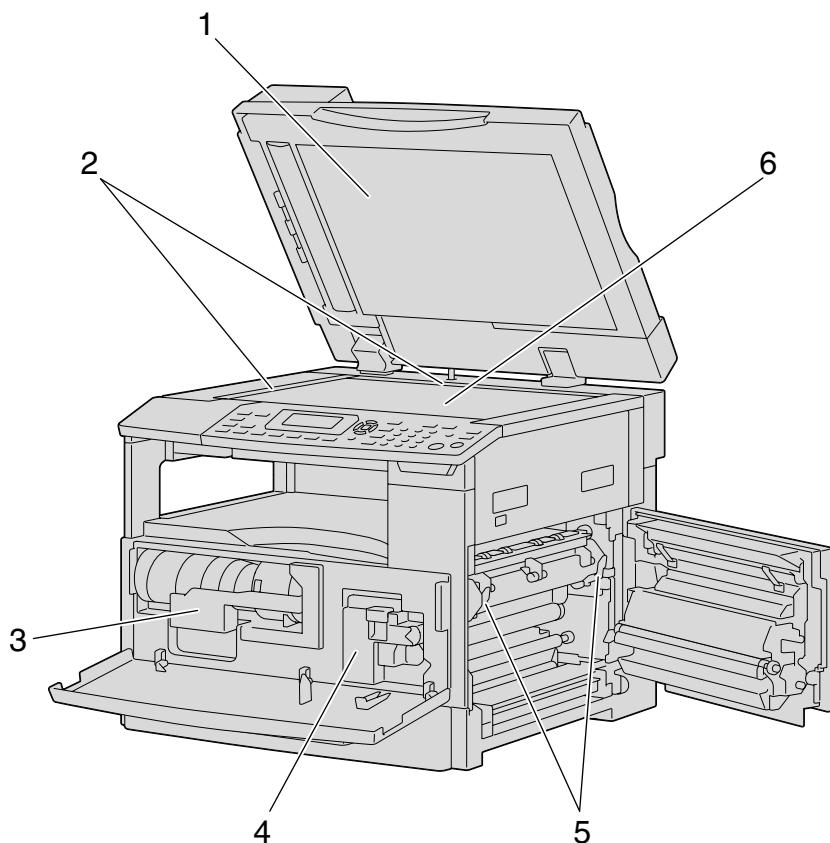
■ 本体



No.	名称	説明
1	コピートレイ	コピー／プリントされた用紙がコピー／プリント面を下にして排出されます。
2	前扉	トナーボトルを交換するときを開きます (p. 7-2)。

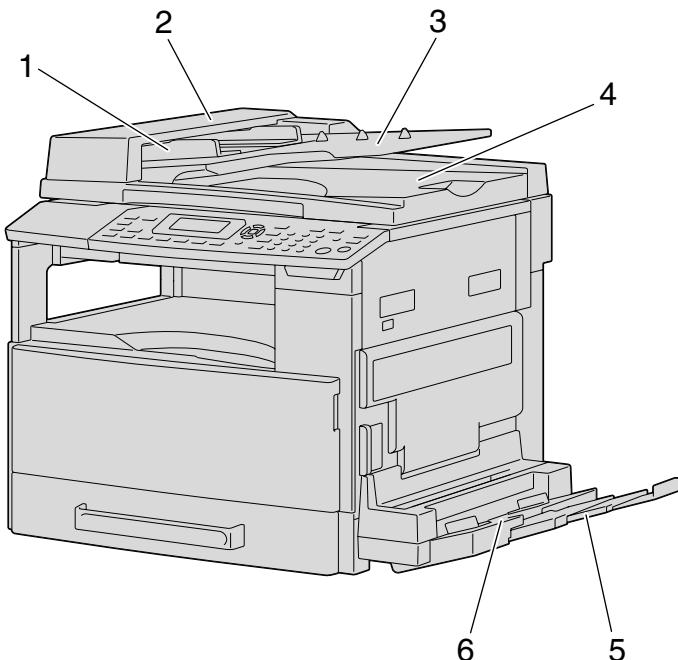
No.	名称	説明
3	第1トレイ	<ul style="list-style-type: none"> 300枚までの用紙をセットできます。 用紙サイズを自由に変更できます。 特殊紙を使用できます (p. 6-20)。
4	シングル手差しトレイ	<ul style="list-style-type: none"> 手差しコピーをするときに使用します。 用紙は1枚ずつ差し込みます。 特殊紙を使用できます (p. 4-26)。
5	ロック解除レバー	右扉を開閉するときに使用します。
6	右扉	紙づまりの処理をするときに開きます。
7	メカカウンタ	コピー／プリントされたトータル枚数を表示します。
8	ネットワーク用コネクタ RJ45 (オプション)	本機をネットワークプリンターとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
9	USB コネクター	USBケーブルでコンピューターと本機を接続するときに使用します。
10	メインスイッチ	本機の電源をオン／オフします (p. 2-16)。
11	操作パネル	コピー動作、送信動作や各種の設定を行う場合に使用します (p. 2-10)。

■ 本体内部



No.	名称	説明
1	原稿力バー	セットされた原稿を押さえます。
2	原稿スケール	スケールの表示に合わせて原稿をセットします (p. 3-19)。
3	トナー ボトル ホルダー	トナー ボトルを交換するときに開きます。
4	感光体ユニット	プリントイメージを生成します。 感光体ユニットの交換はサービス実施店で行います。
5	圧着レバー	定着部の紙づまり処理をするときに使用します (p. 7-7)。
6	原稿ガラス	原稿をここにセットし、原稿を読み込みます。 原稿面を下側に向けてセットします (p. 3-19)。

■ 自動原稿送り装置／マルチ手差し給紙ユニット（オプション）



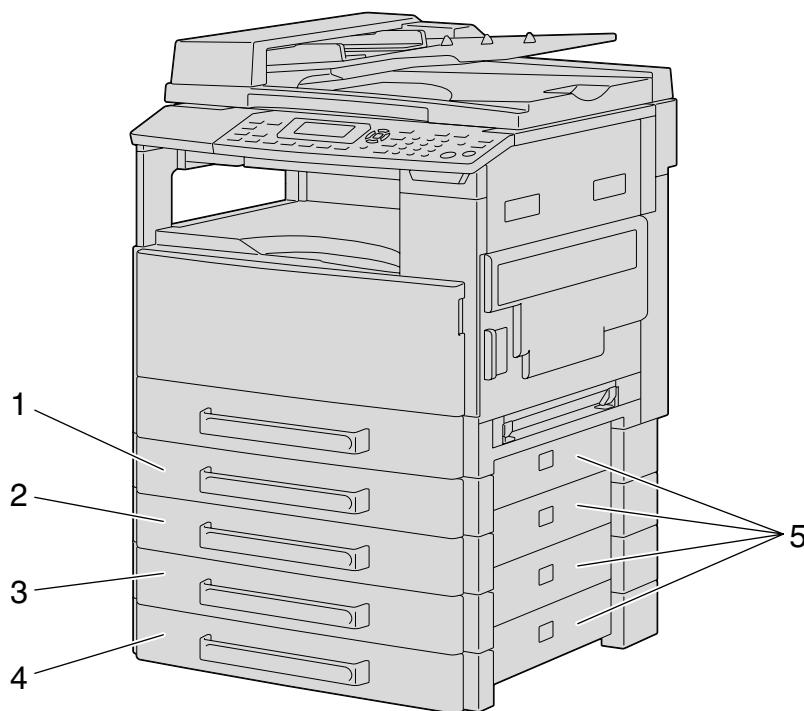
自動原稿送り装置

No.	名称	説明
1	原稿セットガイド	原稿の幅に合わせてガイドを調整します。 (p. 3-17)
2	給紙カバー	紙づまりの処理をするときに開きます。 (p. 7-19)
3	原稿給紙トレイ	コピーする原稿を上向きにセットします。 (p. 3-17)
4	原稿排出トレイ	読み込みの終わった原稿が排出されます。

マルチ手差し給紙ユニット

No.	名称	説明
5	補助トレイ	大きなサイズの用紙をセットするときに引き出します。
6	手差しトレイ	100 枚（普通紙）、20 枚（特殊紙）、10 枚（封筒）までの用紙をセットできます。 (p. 4-15)

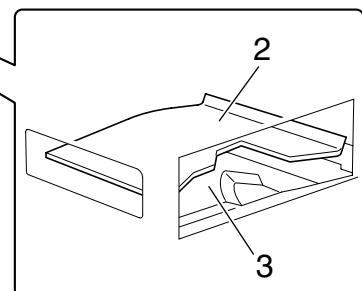
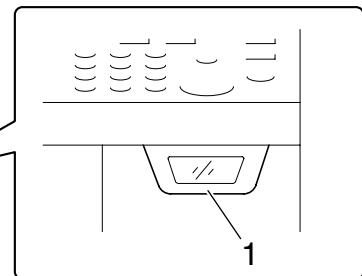
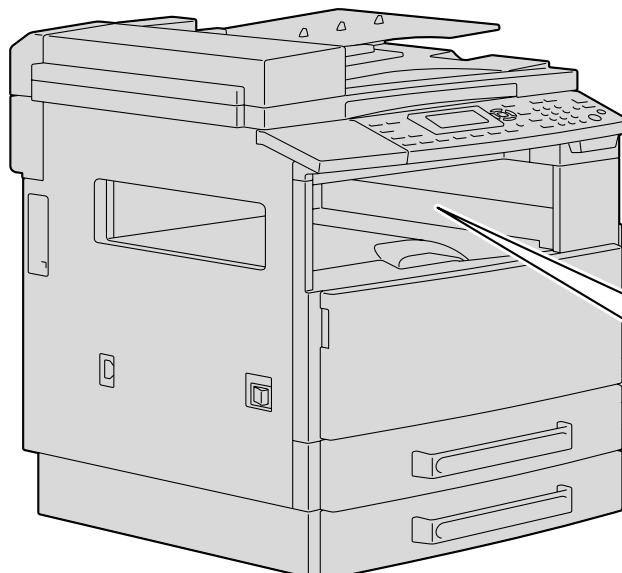
■ ペーパーフィーダーユニット（オプション）



ペーパーフィーダーユニット

No.	名称	説明
1～4	第2/第3/第4/第5トレイ	<ul style="list-style-type: none">・300枚（普通紙）までの用紙をセットできます。・4段のペーパーフィーダーユニットを増設できます。
5	右扉	紙づまりの処理をするときに開きます。（p. 7-13）

■ セパレーター（オプション）

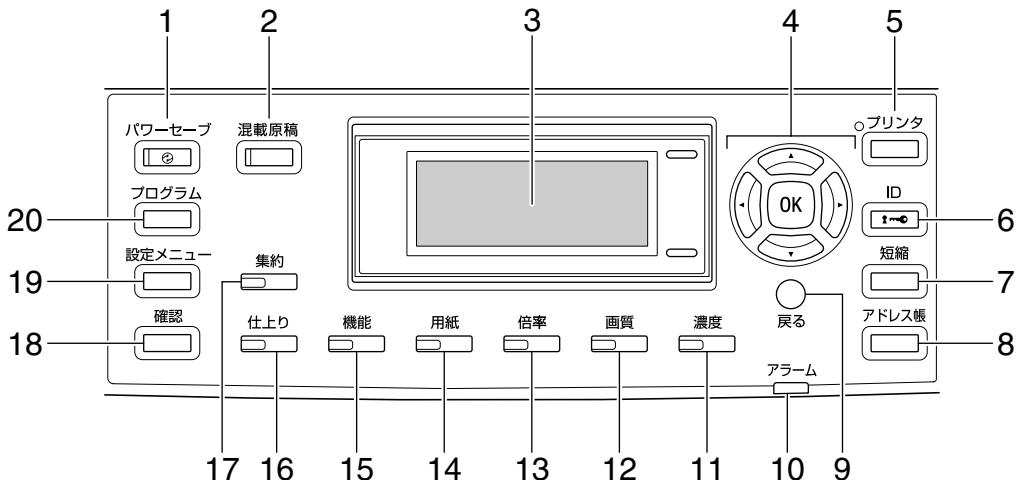


セパレーター

No.	名称	説明
1	用紙排出ランプ	上段排出トレイが上部に移動している状態で、トレイに用紙が残っているときにランプが点灯します。
2	上段排出トレイ	PC プリントが排出されます。
3	下段排出トレイ	コピーされた用紙がここに排出されます。

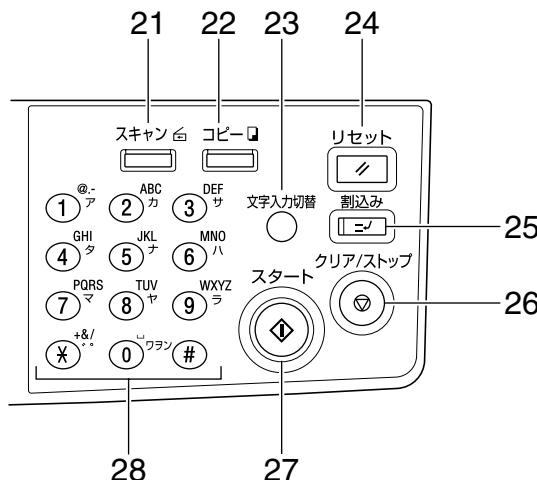
2.3 操作パネル部の名称とはたらき

■ 操作パネル部の名称とはたらき



No.	名称	機能
1	パワーセーブキー／ランプ	スリープモードに切替わります (p. 2-17)。
2	混載原稿キー／ランプ	混載原稿を選択します。
3	ディスプレイ	コピー枚数や倍率、設定メニュー、エラーメッセージを表示します。
4	▲、▼、◀、▶キー OKキー	▲、▼、◀、▶キーで、ディスプレイ上の選択項目を移動したり設定値を変更します。 OKキーで、各種設定値を決定します。
5	プリンタキー／ランプ	コンピューターからのプリント中はランプが点灯し、データの転送中はランプが点滅します。詳しくは、プリンタドライバユーザーズガイドをごらんください。
6	IDキー	部門管理をしているときに使用します (p. 5-27)。
7	短縮キー	よく使うアドレスを登録して、送信時に呼び出します。(イメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 装着時のみ有効です。)
8	アドレス帳キー	短縮ダイアルに登録されている内容が表示されます。
9	戻るキー	前の画面に戻ります。
10	アラームランプ	エラーが発生したときに点灯または点滅します。詳しくは「第7章 こんなメッセージが表示されたら」をごらんください。
11	濃度キー	コピー原稿の読み取り濃度を選択します。
12	画質キー	原稿の画質を文字、写真、文字／写真から選択します。
13	倍率キー	コピー時の画像の拡大／縮小を設定します (p. 4-54)。
14	用紙キー	使用する用紙トレイを選択します。
15	機能キー／ランプ	とじ代をつけてコピーするなど、一歩進んだコピーの設定ができます。
16	仕上りキー／ランプ	コピーの仕上りモードを選択します。

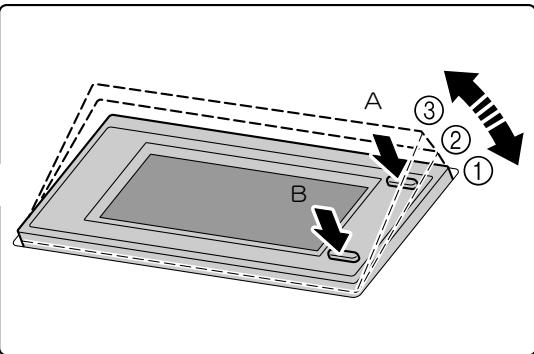
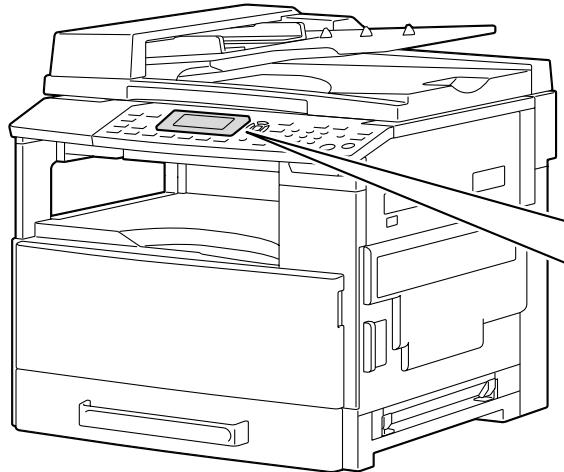
No.	名称	機能
17	集約キー／ランプ	2in1、4in1 の設定をします。
18	確認キー	カウンタの確認、通信結果の確認、レポート出力を行います。
19	設定メニューキー	設定メニュー画面で各種の設定を行います。 本体設定、トレイ設定、不定形サイズ登録、ユーザー保守、管理者設定、コピー設定 1、2
20	プログラムキー	設定したコピー機能を登録したり、呼び出したりします。



No.	名称	機能
21	スキャンキー／ランプ	スキャンモードに切替えます。ランプがグリーン点灯し、スキャンモードであることを示します。(ネットワークカード NC-503 またはイメージコントローラ IC-206 装着時のみ有効です。)
22	コピーキー／ランプ	コピーモードに切替えます。ランプがグリーン色に点灯し、コピーモードであることを示します。
23	文字入力切替キー	本機では機能しません。
24	リセットキー	<ul style="list-style-type: none"> 操作パネルで入力したすべての設定を解除します。(登録した設定は除きます。) 設定中のジョブを消去します。
25	割込みキー／ランプ	<p>割込みモードに切わります。ランプがグリーン色に点灯し、割込みモードであることを示します。</p> <p>もう一度キーを押すと、割込みモードを解除し、割込みモードに入る前のモードに戻ります (p. 4-65)。</p> <p>PC プリント中にこのキーを押すと、プリントが停止し割込みコピーできます。もう一度キーを押すと、PC プリントを再開します。</p>
26	クリア／ストップキー	<ul style="list-style-type: none"> 入力中の数字を消去します。 連続コピー動作を停止させます。 PC プリントを停止させます。
27	スタートキー／ランプ	<ul style="list-style-type: none"> コピー動作を開始します。 ウォームアップ中に押すと、予約コピー機能がはたらきます (p. 2-17)。 グリーン色に点灯しているときはコピー受け付け可能なことを示し、オレンジ色に点灯しているときはコピー開始の準備ができないことを示しています。
28	テンキー	<ul style="list-style-type: none"> コピー部数を設定します。 各種設定値を入力します。

■ ディスプレイの角度の変えかた

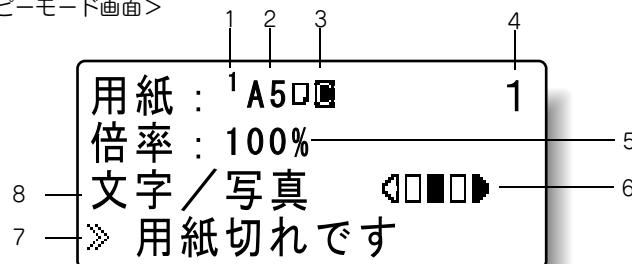
ディスプレイ部分を押して角度を3段階に調節できます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。



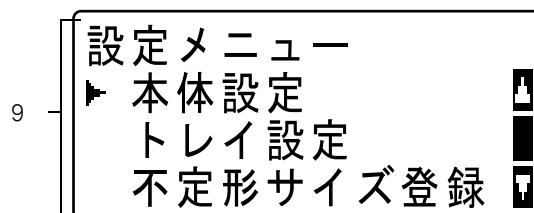
A,B のいずれかを押して角度を調節します。
A : ディスプレイを寝かせます。 (③→②→①)
B : ディスプレイを立てます。 (①→②→③)

■ ディスプレイ表示について

<コピーモード画面>



<設定メニュー画面>



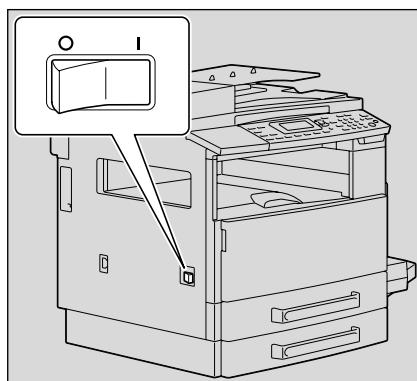
No.	ディスプレイ表示	説明
1	給紙トレイ	選択されている給紙トレイを表示します。
	1	第1トレイが選択されています。
	2	第2トレイが選択されています。
	3	第3トレイが選択されています。
	4	第4トレイが選択されています。
	5	第5トレイが選択されています。
	▲	シングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイが選択されています。
2	用紙サイズ	選択されている用紙サイズを表示します。
	[X/Y]	フリーサイズの用紙が設定されています。
3	用紙種類	選択されている用紙種類を表示します。
	□	普通紙が選択されています。
	▢	再生紙が選択されています。
	▨	特殊紙が選択されています。
	▣	厚紙が選択されています。
	▢	OHPフィルムが選択されています。
	▨	封筒または官製はがきが選択されています。

No.	ディスプレイ表示	説明						
4	コピー枚数	コピー枚数を表示します。 1~99枚まで設定可能です。						
5	コピー倍率	設定されているコピー倍率を表示します。 <table border="1" data-bbox="405 339 1238 572"> <tr> <td>自動</td> <td>自動倍率が選択されています。 原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>等倍（100%）が選択されています。 原稿と同じ大きさでコピーします。</td> </tr> <tr> <td>[X/Y]</td> <td>縦横変倍が選択されています。 原稿の縦方向と横方向を異なった倍率でコピーします。</td> </tr> </table>	自動	自動倍率が選択されています。 原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。	100%	等倍（100%）が選択されています。 原稿と同じ大きさでコピーします。	[X/Y]	縦横変倍が選択されています。 原稿の縦方向と横方向を異なった倍率でコピーします。
自動	自動倍率が選択されています。 原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。							
100%	等倍（100%）が選択されています。 原稿と同じ大きさでコピーします。							
[X/Y]	縦横変倍が選択されています。 原稿の縦方向と横方向を異なった倍率でコピーします。							
6	コピー濃度	コピー濃度設定での濃度設定状態を表示します。 コピーモード画面上では3段階で表示します。						
7	メッセージ表示	本機の状態や、コピーモード中におけるPCプリントなどの状態を表示します。						
8	原稿画質	原稿の画質設定状態を表示します。 <table border="1" data-bbox="405 767 1238 1194"> <tr> <td>文字／写真</td> <td>文字／写真画質が選択されています。 文字と写真が混在する新聞や雑誌などの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。 自動濃度モードと組合せて設定できます。</td> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>写真画質が選択されています。 パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。文字画質では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。</td> </tr> <tr> <td>文字</td> <td>文字画質が選択されています。 文字だけで構成された原稿からコピーするのに適したモードです。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像がえられます。 自動濃度モードと組合せて設定できます。</td> </tr> </table>	文字／写真	文字／写真画質が選択されています。 文字と写真が混在する新聞や雑誌などの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。 自動濃度モードと組合せて設定できます。	写真	写真画質が選択されています。 パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。文字画質では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。	文字	文字画質が選択されています。 文字だけで構成された原稿からコピーするのに適したモードです。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像がえられます。 自動濃度モードと組合せて設定できます。
文字／写真	文字／写真画質が選択されています。 文字と写真が混在する新聞や雑誌などの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。 自動濃度モードと組合せて設定できます。							
写真	写真画質が選択されています。 パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。文字画質では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。							
文字	文字画質が選択されています。 文字だけで構成された原稿からコピーするのに適したモードです。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像がえられます。 自動濃度モードと組合せて設定できます。							
9	モード／機能	各種設定メニュー、選択肢を表示します。						

2.4 電源について

■ 電源をオンにする

メインスイッチの【|】を押します。



【スタート】がオレンジ色に点灯し、ディスプレイに「暫くお待ちください」と表示されます。

■ 電源をオフにする

- 1 すべてのジョブが終了したことを確認します。
- 2 メインスイッチの【○】を押します。

■ 初期モード

本機の電源をオンにしたときやリセットしたときの設定を初期モードと呼びます。初期モードは、すべての操作を行うときの基本となります。

コピー モード

- コピー枚数：1
- コピー濃度：自動
- 倍率：等倍（100%）
- 用紙：自動用紙
- 仕上り：ノンソート

ひとこと

- ・ウォームアップタイムは室温 23 ℃で 30 秒以内です。
- ・ウォームアップ時でもコピーを予約することができます。（p. 2-17）



設定メニューで初期モードを変更できます。（p. 6-1）

■ オートリセット

オートリセットとはコピー終了後、または本機を操作しなくなつてから一定時間が経過すると、初期モードに戻る機能です。
(工場出荷時の設定：1分)



オートリセット機能が有効になるまでの時間を30秒、または1分から5分の間で設定できます。

またオートリセット機能を無効にすることもできます。詳しくはp. 6-8をごらんください。

■ 低電力（スリープ）モード

低電力モードは電源をオフにするかわりに本機を節電状態にする機能です。

低電力モード中は【スタート】がグリーン色に点灯し、操作パネルのディスプレイ表示はオフになります。

低電力モードになる条件

- 【パワーセーブ】を押したとき
- 本機を操作しなくなつてから一定時間が経過したとき
(工場出荷時の設定：15分)



低電力モード中でもオートパワーオフ機能が有効になると、本機の電源はオフになります。



低電力モードが有効になるまでの時間を1分から240分の間で設定できます。詳しくはp. 6-9をごらんください。

■ オートパワーオフ

オートパワーオフとは、本機を操作しなくなつてから一定時間が経過すると、節電のために自動で電源がオフになる機能です。
(工場出荷時の設定：しない)



自動的にオートパワーオフがはたらくまでの時間を、15分～240分の間で設定できます(p. 6-10)。

■ 予約コピー

予約コピーとは、ディスプレイの4行目に「>> ウオームアップ中」と表示されているときに原稿をセットし、【スタート】を押すと、コピーを予約できる機能です。

ウォームアップ表示が消えると、セットされた原稿の読み込みを開始してコピーを行います。

2.5 電気を節約するには

省エネルギーのために電気を節約したいときは、「低電力（スリープ）モード」や「オートパワーオフモード」を使うと便利です。

ここでは自動的に低電力（スリープ）モード、オートパワーオフに切り替える方法を説明します。

■ 低電力（スリープ）モードを設定する

1

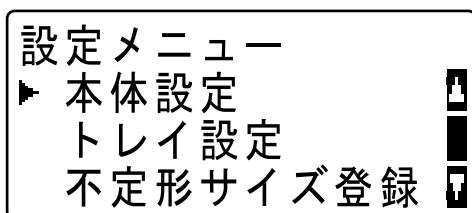
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

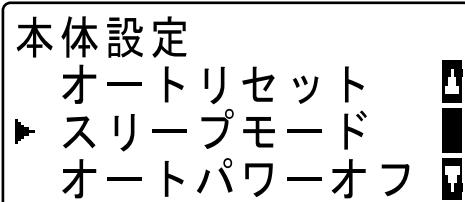
【▲】【▼】で「本体設定」を選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューが表示されます。

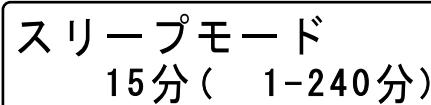
3

【▲】【▼】で「スリープモード」を選択し、【OK】を押します。



4

テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力し、
【OK】を押します。



詳しく説明します

- ・タイマー設定は、1分～240分の間で設定できます。
- ・数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

■ オートパワーオフを設定する

1

【設定メニュー】を押します。

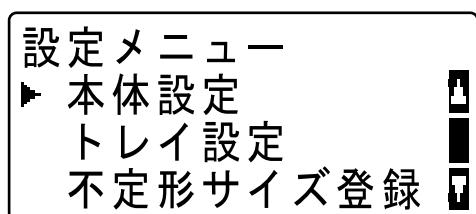


オートパワーオフの設定は、管理者設定でオートパワーオフの設定が許可されている必要があります。詳しくは、p. 6-36 をごらんください。

設定メニュー画面が表示されます。

2

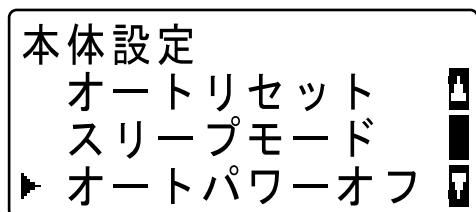
【▲】【▼】で「本体設定」を選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択した後、テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力します。

オートパワーオフ
しない
► する
30分(15-240分)

5

【OK】を押します。

詳しく説明します

- ・タイマー設定は、15分～240分の間で設定できます。
- ・数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

2.5 電気を節約するには

第3章 コピーをとるまえに

コピーをとる前に知っておくと便利なことについて説明します。

3.1	用紙について	3-2
3.2	画像コピー／プリント領域	3-6
3.3	用紙の保管	3-7
3.4	用紙のセットのしかた	3-8
3.5	原稿について	3-15
3.6	原稿のセットのしかた	3-17

3.1 用紙について

以下の表に示す条件を満たす用紙を使用してください。

■ 用紙種類

用紙種類 坪量 (g/m ²)	普通紙	厚紙	再生紙
給紙口／その他	60～90 g/m ²	91～157 g/m ²	60～90 g/m ²
シングル手差しトレイ	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○
第1トレイ	○	○	○
第2トレイ	○	—	○
第3トレイ	○	—	○
第4トレイ	○	—	○
第5トレイ	○	—	○

ひとこと

第2/第3/第4/第5トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

用紙種類 給紙口／その他	特殊紙			
	官製 はがき	OHP フィルム	ラベル 用紙	封筒
シングル手差しトレイ	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○
第1トレイ	○*	○	○	○
第2トレイ	—	—	—	—
第3トレイ	—	—	—	—
第4トレイ	—	—	—	—
第5トレイ	—	—	—	—

○：セット可

—：セット不可

※第1トレイにはがきをセットする場合、設定メニューで第1トレイの設定をしてください。また、コンピューターから第1トレイのはがきにプリントする場合にも、本機の操作パネルで設定をする必要があります。設定のしかたについては、「官製はがきにコピーする（第1トレイ使用）」(p. 4-50)をごらんください。

■ 用紙サイズ

不定形紙

給紙口	用紙幅	用紙長
シングル手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
マルチ手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第1トレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第2トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第3トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第4トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第5トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm

ひとこと

第2/第3/第4/第5トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。第2/第3/第4/第5トレイの用紙サイズ設定を変更したい場合は、担当サービス技術者にお問い合わせください。

定形紙

用紙サイズ 給紙口／その他	A3 □	B4 □	A4 □	A4 □	B5 □	B5 □	A5 □	A5 □
シングル手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第1トレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第2トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第3トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第4トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第5トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○

○：セット可

—：セット不可

■ 用紙セット枚数

用紙種類 坪量 (g/m ²) 給紙口／その他	普通紙	厚紙	再生紙
	60～90 g/m ²	91～157 g/m ²	60～90 g/m ²
シングル手差しトレイ	1枚	1枚	1枚
マルチ手差しトレイ	100枚	20枚	100枚
第1トレイ	300枚	20枚	300枚
第2トレイ	300枚	—	300枚
第3トレイ	300枚	—	300枚
第4トレイ	300枚	—	300枚
第5トレイ	300枚	—	300枚

ひとこと

第2/第3/第4/第5トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

用紙種類 給紙口／その他	特殊紙			
	官製はがき	OHPフィルム	ラベル用紙	封筒
シングル手差しトレイ	1枚	1枚	1枚	1枚
マルチ手差しトレイ	20枚	20枚	20枚	10枚
第1トレイ	20枚	20枚	20枚	10枚
第2トレイ	—	—	—	—
第3トレイ	—	—	—	—
第4トレイ	—	—	—	—
第5トレイ	—	—	—	—

—：セット不可

■ コピー／プリントに適さない用紙

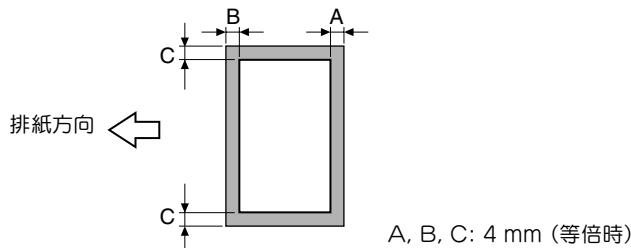
以下に示す用紙は使用しないでください。コピー／プリント品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙したOHP フィルム
白紙状態で排出されたOHP フィルムであっても再使用できません
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後に長期経過した用紙
- 吸湿した用紙
- バインダー用の穴があいている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどで綴じられている用紙
- ラベルが貼ってある用紙
- リボンやフック、ボタン等の付いている用紙

3.2 画像コピー／プリント領域

以下に示す領域の画像はコピー／プリントされませんので注意してください。

- 用紙の後端より 4 mm (等倍時) のエリア (A)
- 用紙の先端より 4 mm (等倍時) のエリア (B)
- 用紙の端より 4 mm (等倍時) のエリア (C)



コンピューターからプリントする場合については、「プリンタドライバユーザーズガイド」をご覧ください。オプションのイメージコントローラ IC-206 を装着している場合は、「イメージコントローラ IC-206 ユーザーズガイド」をご覧ください。

3.3 用紙の保管

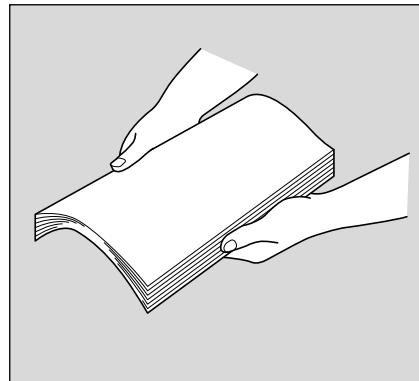
用紙は以下の注意点を守って取り扱ってください。

- 用紙を保管するときには、次のような場所は避けてください。
 - 直射日光の当たるところ
 - 火気のあるところ
 - 湿気のあるところ
 - ほこりのあるところ
- 包みから取り出した用紙はポリ袋に入れ、必ず冷暗所で保管してください。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

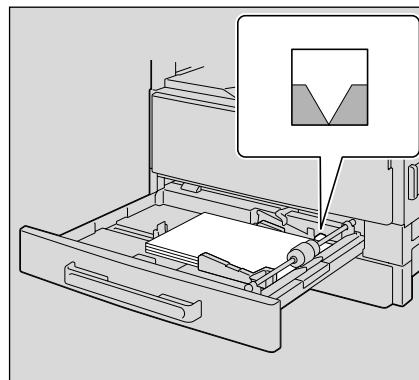
3.4 用紙のセットのしかた

用紙をセットするときに、以下の注意事項を必ず守ってください。

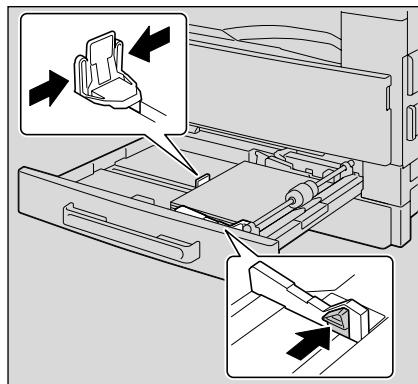
- 用紙がカールしている（反っている）場合は、用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。



- 用紙は▼マークまたは規定枚数を超えないようにセットしてください。



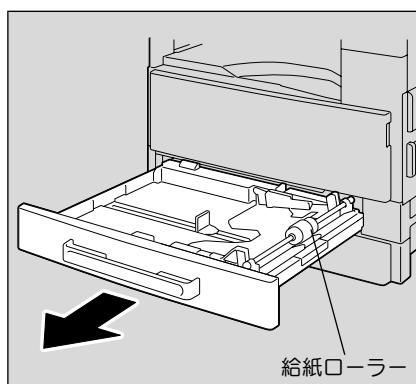
- ガイド板を確実に用紙の端面にあわせてください。



■ 第1トレイに用紙をセットする

1

第1トレイを引き出します。

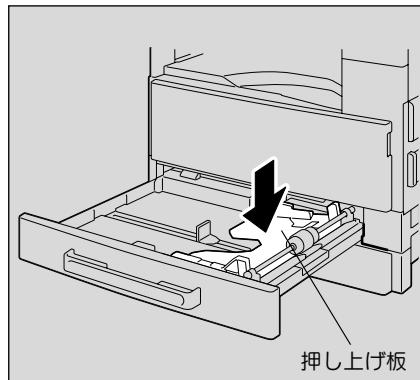


給紙ローラーの表面には手
を触れないように注意して
ください。

3.4 用紙のセットのしかた

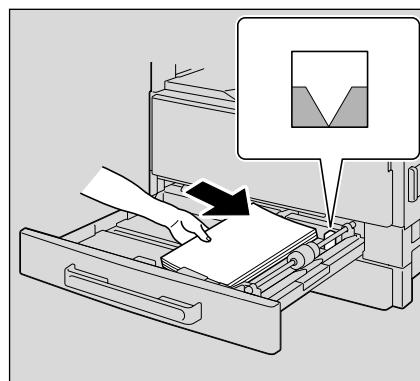
2

押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3

用紙をセットします。



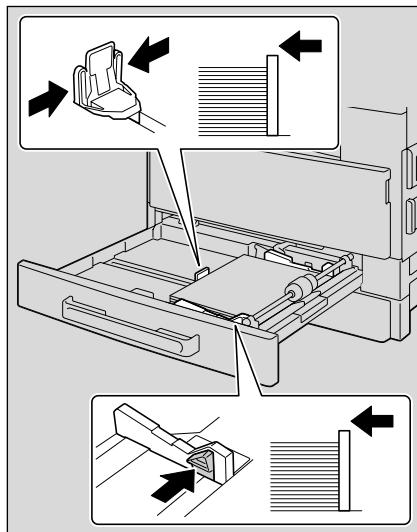
用紙は▼マークをこえない
ようにセットしてください。



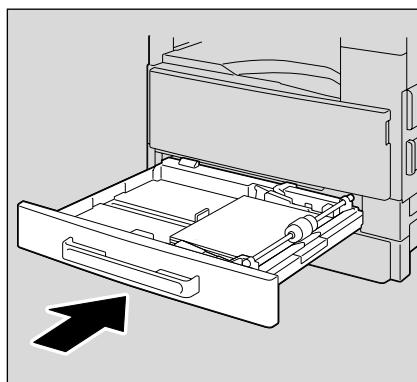
ガイド板は、必ず用紙の端
面にあわせてください。

4

用紙のサイズにあわせ、ガイド板を調整します。

**5**

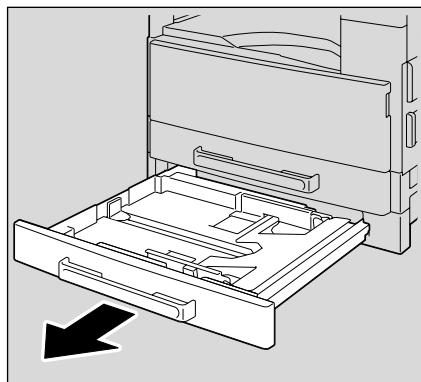
第1トレイをもとに戻します。



■ 第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする

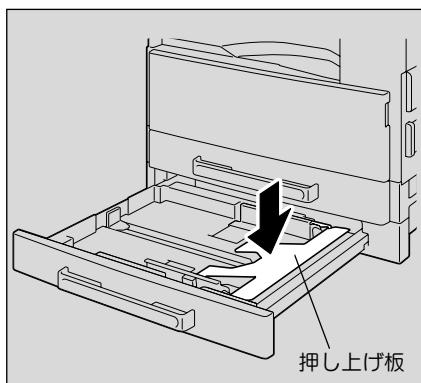
1

トレイを引き出します。



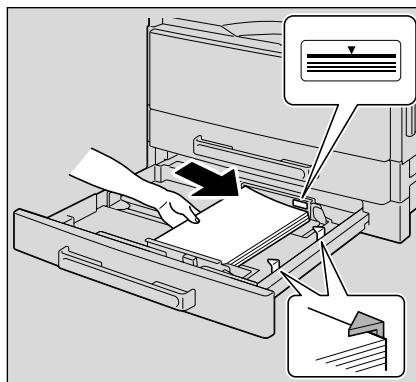
2

押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3

用紙をセットします。

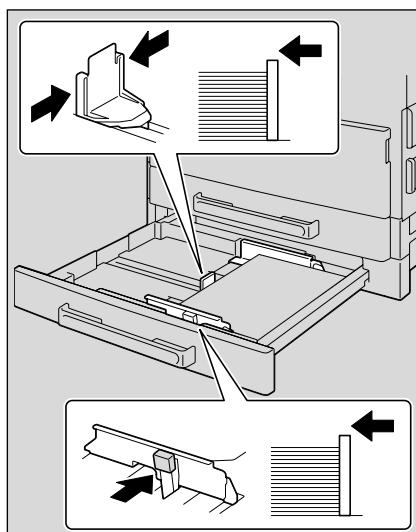


用紙は▼マークをこえない
ように、ツメの下にセット
してください。

3

4

用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。

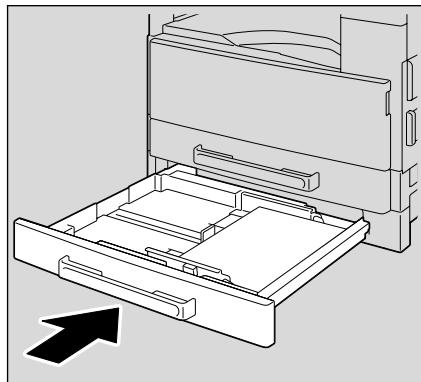


ガイド板は、必ず用紙の端
面にあわせてください。

3.4 用紙のセットのしかた

5

トレイをもとに戻します。



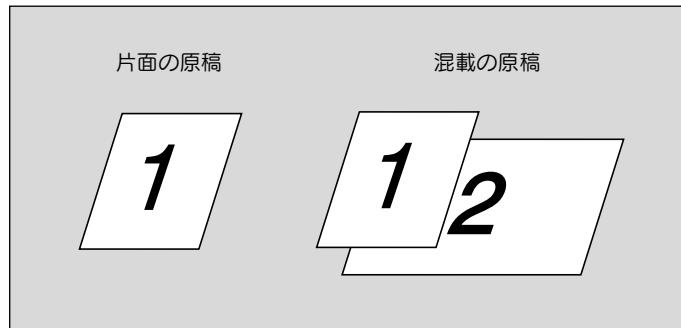
3.5 原稿について

■ 原稿送り装置を使用する場合

原稿送り装置は、多数の原稿を1枚ずつ送り出して読み込み、読み込み終わると自動的に排出する装置です。この装置の機能を十分発揮させるために、適正な原稿をご使用ください。

適正な原稿を使用しないと、原稿づまりや原稿破損、本機の故障の原因となります。

■ 原稿のタイプ



原稿セット方法	原稿種類	原稿サイズ
原稿送り装置の場合	シート原稿 片面原稿 (50 g/m ² ~ 110 g/m ²) 混載原稿 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)	A3 □、B4 □、A4 □/□、 B5 □/□、A5 □/□ 原稿幅 : 90 mm ~ 297 mm 原稿長さ : 210 mm ~ 420 mm 混載原稿の場合以下の組み 合わせができます。 A3 □ と A4 □ B4 □ と B5 □
原稿ガラスの場合	シート原稿、 ブック原稿、 立体物 最大質量 3 kg	A3 □、B4 □、A4 □/□、 B5 □/□、A5 □/□ 原稿幅 : 297 mm まで 原稿長さ : 432 mm まで

■ 原稿についての注意

以下のような原稿は原稿つまりや原稿破損、本機の故障の原因になるため、原稿送り装置に適していません。原稿ガラス上に原稿をセットしてください。

- 折り目のついた原稿（2つ折り、Z折りなど）
- 第2原図などの透明度の高い原稿
- とじ穴のあいた原稿（とじ穴の数が2個～4個）
- ルーズリーフなどの、とじ穴が多い原稿
- 感熱紙やカーボン紙など、原稿表面にコーティング処理されている原稿
- インクジェットプリンター用の用紙
- 本機でコピー／プリントした直後の用紙
- 反り返った原稿
- しわや破れのある原稿
- OHPフィルム



原稿ガラス上に、不定形サイズの原稿をセットしたときは、自動用紙、自動倍率機能が使用できません。
不定形サイズの原稿をセットしたときは、【用紙】を押してコピーする用紙を選択するか、【倍率】を押してコピー倍率を選択してください。(p. 4-54)

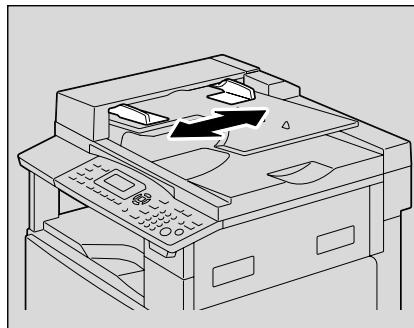
3.6 原稿のセットのしかた

原稿のセットのしかたには、原稿送り装置にセットする方法と、原稿ガラス上にセットする方法があります。原稿の種類にあわせて最適な方法で原稿をセットしてください。

■ 原稿送り装置に原稿をセットする

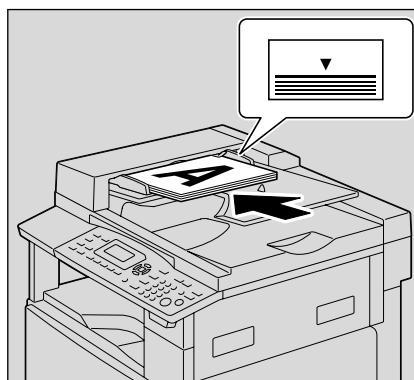
1

原稿セットガイドを開きます。



2

原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



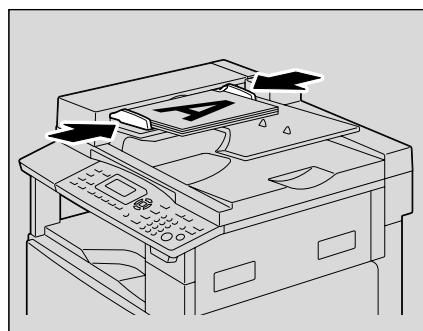
必ず下へください

- ・原稿のセット枚数は最大50枚までです。
- ・原稿は▼マークをこえないようにセットしてください。

3.6 原稿のセットのしかた

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



必ず守ってください

原稿を正しくセットしない
と、原稿が斜め送りされる
原因になります。

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

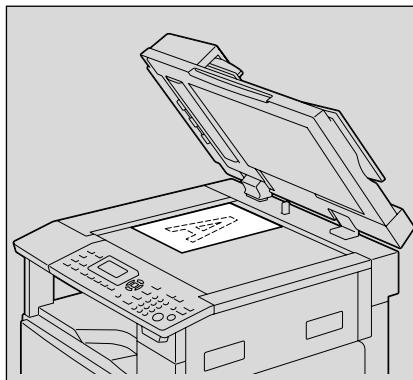
普通紙や原稿送り装置に適さない原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1

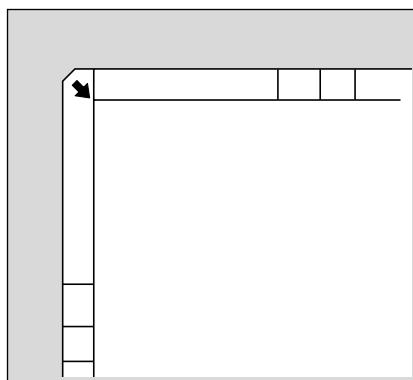
原稿送り装置を開きます。

2

原稿のコピーする面を下に向けてセットします。



- 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3

原稿送り装置を静かに閉じます。

3

■ 透明度の高い原稿をセットする

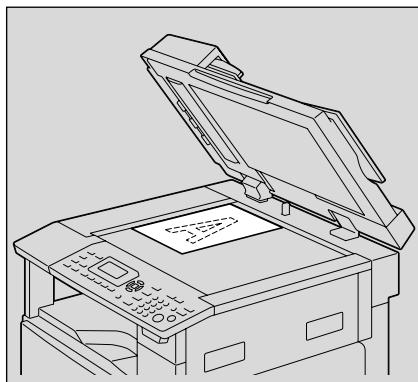
OHP フィルム、トレーシングペーパー、第 2 原図などの透明度の高い原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1

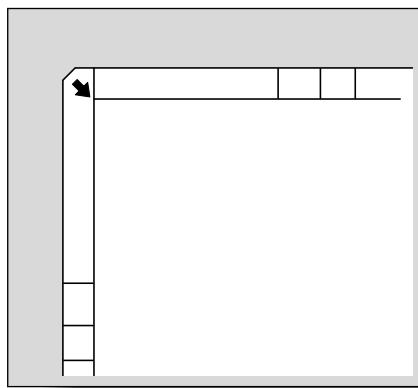
原稿送り装置を開きます。

2

原稿のコピーする面を下に向けてセットします。

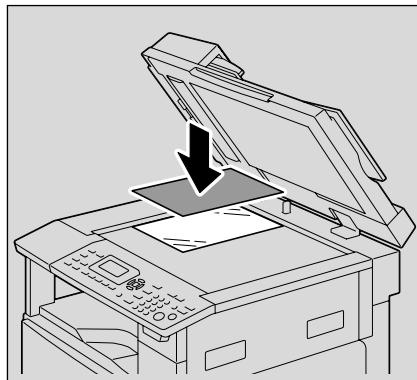


- 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3

原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。

**3****4**

原稿送り装置を静かに閉じます。

■ ブック原稿をセットする

本や雑誌など、綴じてある見開き原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

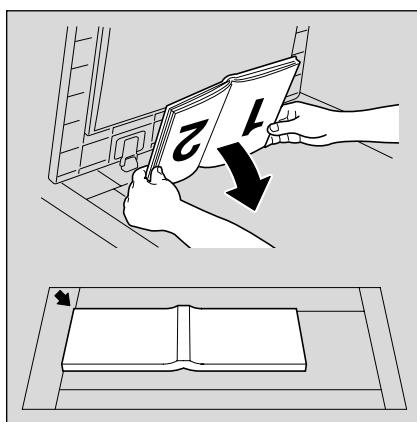
1

原稿送り装置を開きます。

2

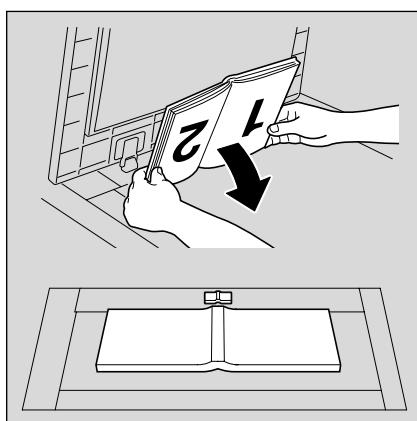
ブック原稿を原稿ガラスにセットします。

- 見開きコピーの場合、原稿スケール左奥側の ▲ (矢印) マークにあわせます。



原稿ガラスの上には 3 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また、ブック原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。

- ブック分割コピーの場合、原稿の天部（上側）を奥側にし、ブック原稿の中央を奥側にある原稿スケールの ▲ マークにあわせます。

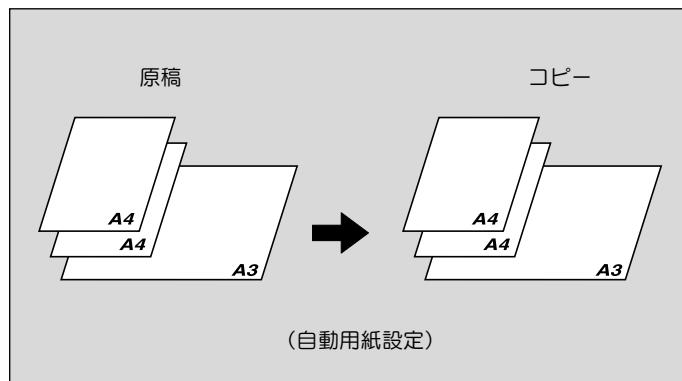


3

原稿送り装置を静かに閉じます。

■ サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿）

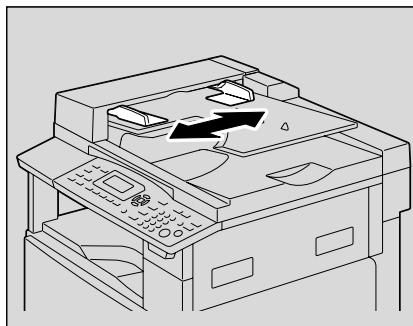
混載原稿とは、原稿送り装置にサイズの異なる原稿を一度にセットしてコピーをとる機能です。



原稿の幅が同じ場合のみ混載原稿コピーができます。
原稿の組み合わせは以下のとおりです。
A3 □ と A4 □、B4 □ と
B5 □

1

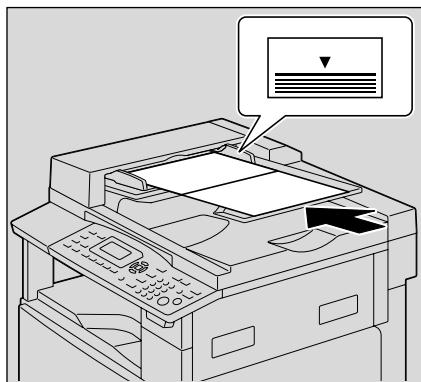
原稿セットガイドを開きます。



3.6 原稿のセットのしかた

2

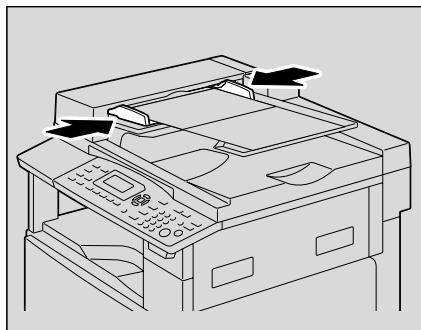
原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



- ・原稿のセット枚数は最大50枚までです。
- ・原稿は▼マークをこえないうようにセットしてください。

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



原稿を正しくセットしないと原稿が斜め送りされる原因となります。

4

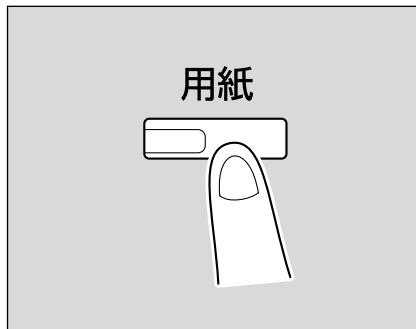
【混載原稿】を押します。

混載原稿ランプが点灯します。



5

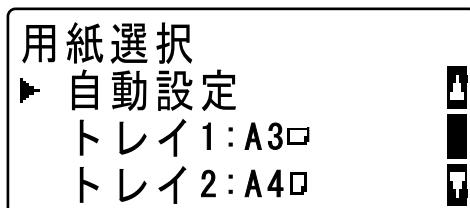
【用紙】を押します。



3

6

【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。

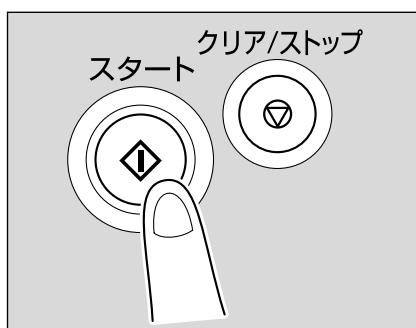


基本画面に戻ります。

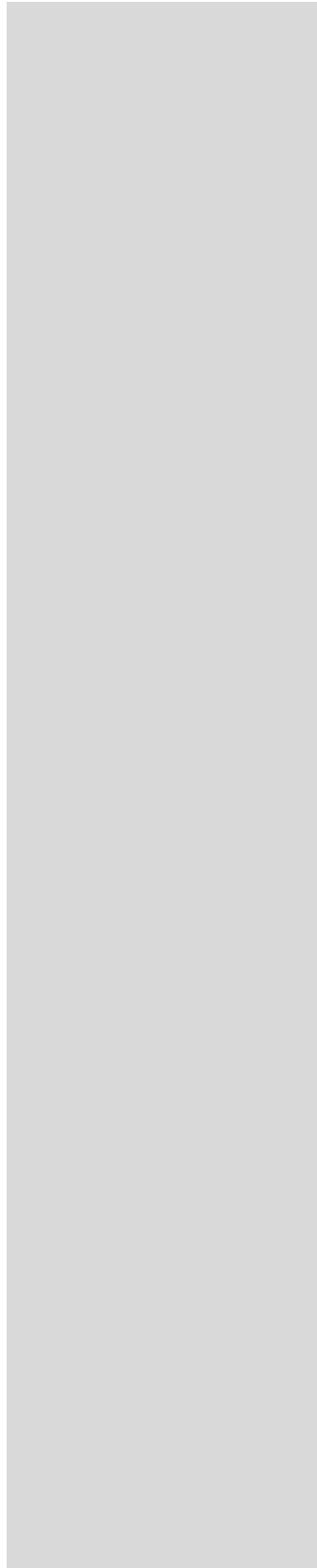
- ディスプレイの1行目に「自動」が表示されているのを確認します。

7

【スタート】を押します。



3.6 原稿のセットのしかた



第4章 コピーのとりかた

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

4.1	コピーする	4-2
4.2	コピーの停止／再開／消去について	4-10
4.3	用紙の選択のしかた	4-11
4.4	手差しでコピーする	4-14
4.5	いろいろな用紙にコピーする	4-32
4.6	倍率を指定してコピーする	4-54
4.7	コピー濃度を変更してコピーする	4-62
4.8	割込んでコピーする	4-65
4.9	マシンカウンタを確認する	4-67

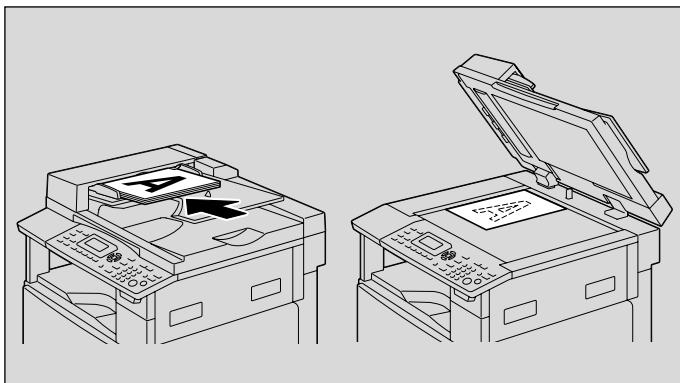
4.1 コピーする

原稿をセットし、コピーをとるための基本的な操作手順を説明します。

■ コピーの基本的なとりかた

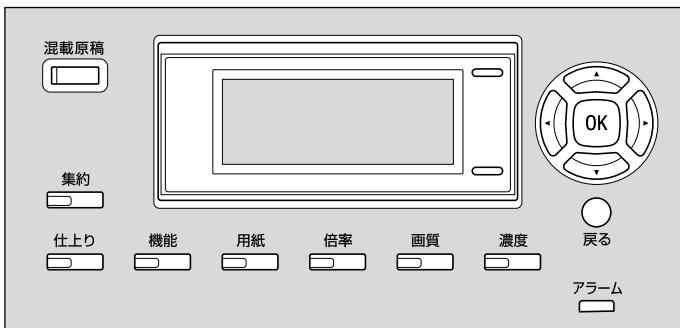
1

原稿をセットします。



2

操作パネルで、必要な機能を設定します。



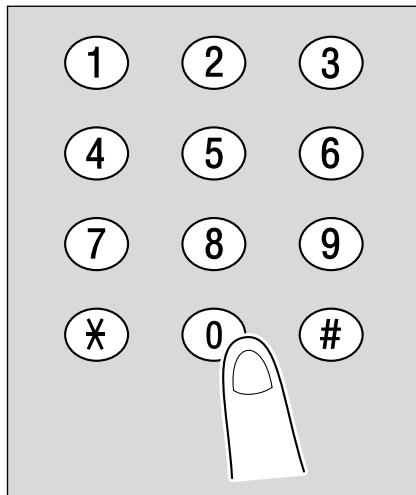
「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。



- ・「用紙の選択のしかた」
(p. 4-11) をごらんください。
- ・「倍率を指定してコピーする」
(p. 4-54) をごらんください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」
(p. 4-62) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」
(p. 5-1) をごらんください。

3

テンキーでコピー部数を設定します。



- ・コピー部数は、1枚から99枚までの間で設定します。
- ・【クリア / ストップ】を押すと設定した部数はクリアされます。

4

4

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。



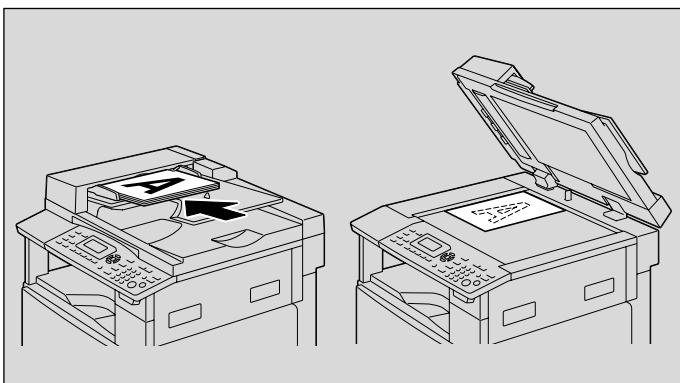
コピーを途中で中斷する場合は、【クリア / ストップ】を押してください。

■ 定形サイズの原稿を異なる定形サイズに縮小 ／拡大する

ここでは A4 サイズの原稿を B4 サイズに拡大してコピーする例を説明します。

1

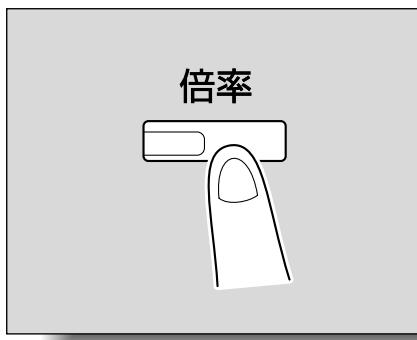
原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

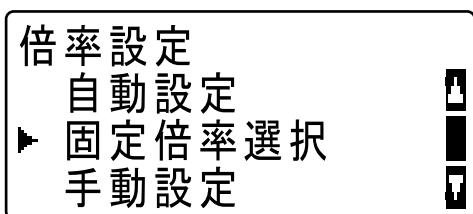
2

【倍率】を押します。



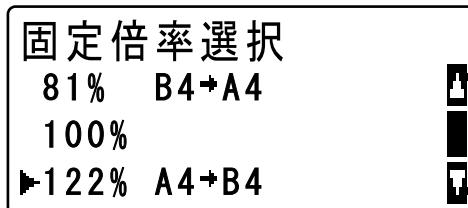
3

【▲】【▼】で「固定倍率選択」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「122% A4→B4」を選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

5

コピーする用紙のサイズを確認します。

- 「自動」と表示されているときは、トレイにB4の用紙がセットされていることを確認します。
- 「自動」と表示されないときは、【用紙】を押してB4の用紙がセットされているトレイを選択してください。



6

必要に応じてその他の項目を設定します。

7

【スタート】を押します。



トレイを選択するには、「用紙の選択のしかた」(p. 4-11)をごらんください。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1)をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をごらんください。

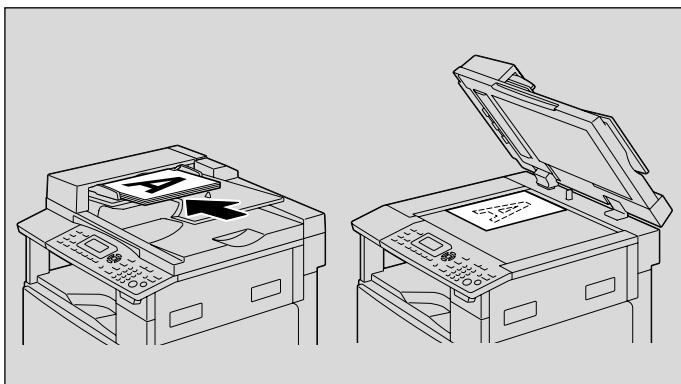
4

■ 原稿に合った画質を設定する

コピーする原稿にあわせて、「文字」、「写真」、「文字／写真」を指定すると、原稿を鮮明にコピーできます。

1

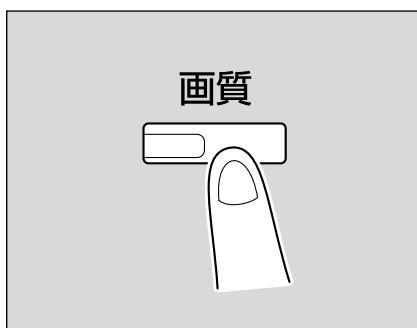
原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

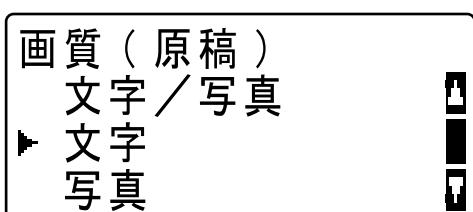
2

【画質】を押します。



3

【▲】【▼】で「文字／写真」「文字」「写真」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

【スタート】を押します。



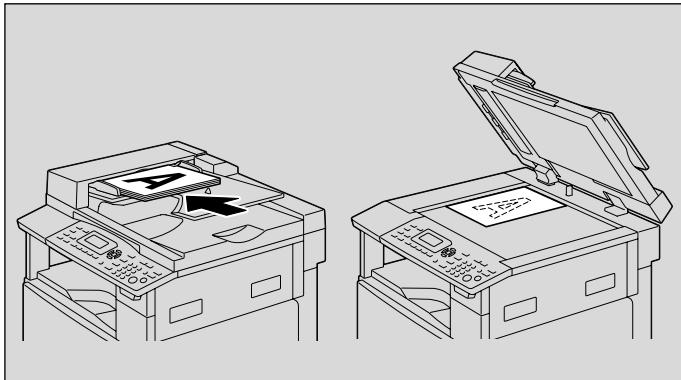
- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

■ 濃度を設定する

1

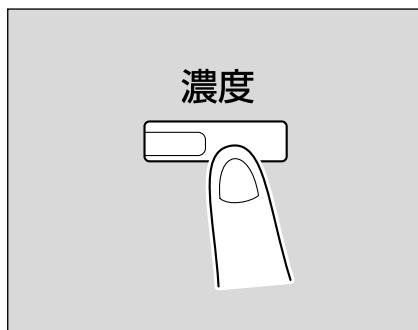
原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

2

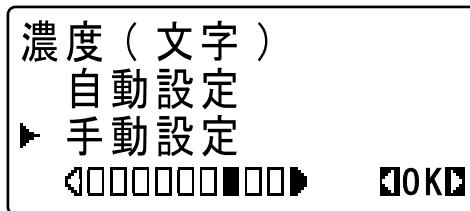
【濃度】を押します。



3

【▲】【▼】で「自動設定」「手動設定」のいずれかを選択します。

- 「自動設定」を選択した場合、【OK】を押します。
- 「手動設定」を選択した場合、【◀】【▶】で濃度を9段階から選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

【スタート】を押します。

4



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4.2 コピーの停止／再開／消去について

コピー中のジョブは、以下の手順で中断できます。

1

コピーの設定をし【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

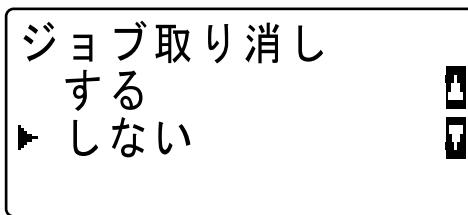
2

コピー中に【クリア / ストップ】を押します。

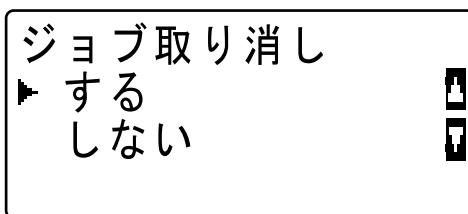


「>> 暫くお待ちください」と表示され、ジョブが停止します。

- 停止中のジョブを再開する場合は、「しない」を選択し、【OK】を押します。



- 停止中のジョブを消去する場合は、「する」を選択し、【OK】を押します。



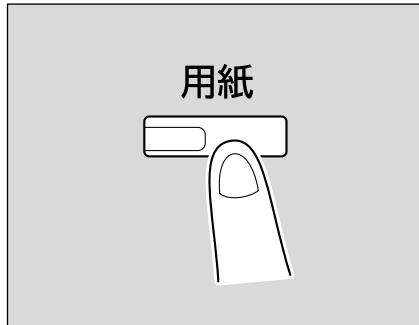
4.3 用紙の選択のしかた

1

原稿をセットします。

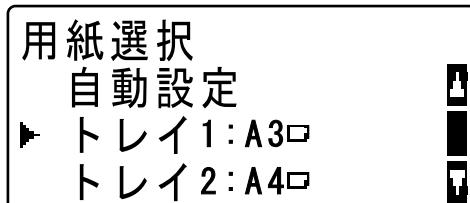
2

【用紙】を選択します。



3

【▲】【▼】で「自動設定」または各トレイのいずれかを選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

4



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-54) をごらんください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-62) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5

【スタート】を押します。



「自動設定」を選択して【スタート】を押したときに、ディスプレイに「最適用紙がありません」と表示された場合は、トレイに適切な用紙がセットされていません。適切なサイズの用紙をセットするか、いずれかのトレイを選択し、再度【スタート】を押してください。

■ オートトレイチェンジ機能

オートトレイチェンジ機能とは、コピー／プリント中に現在選択中のトレイに用紙がなくなった場合、他のトレイに自動的に切り替えてコピー／プリントを続ける機能です。

現在選択中のトレイとは別のトレイ（シングル手差しトレイを除く）が以下の条件のときオートトレイチェンジがはたらきます。

- 同じサイズの用紙がセットされているとき
- 同じ種類の用紙がセットされているとき
- 用紙が同じ向きにセットされているとき
- 各トレイにセットされている用紙の種類が「普通紙」、「再生紙」のとき



- ・シングル手差しトレイに用紙がセットされているときは、オートトレイチェンジは機能しません。
- ・オプションのマルチ手差しトレイと第2/第3/第4/第5トレイを装着すれば、最大で1,600枚の連続コピー／プリントができます。大量の連続コピー／プリントをする場合は、全てのトレイ（シングル手差しトレイを除く）で左記の条件をそろえて用紙をセットしてください。
- ・すべてのトレイに用紙がなくなった場合、画面の表示にしたがって用紙を補給してください。画面表示されたトレイ以外のトレイに用紙をセットしても、コピー／プリントが再開されないことがあります。

■ トレイチェンジの順序

オートトレイチェンジ機能が動作する場合、以下の優先順位でトレイが選択されます。

第1トレイ ⇒ 第2トレイ ⇒ 第3トレイ ⇒ 第4トレイ ⇒ 第5トレイ ⇒ マルチ手差しトレイ



- ・第1トレイ、またはマルチ手差しトレイに特殊紙(OHPフィルム、ラベル用紙など)の設定をしている場合は、そのトレイはオートトレイチェンジ機能の対象になりません。特殊紙の設定方法については、それぞれ「第1トレイ用紙の設定をする」(p. 6-22)、「手差しコピーのとりかた(マルチ手差しトレイ)」(p. 4-29)をごらんください。
- ・専用紙に設定されているトレイは、オートトレイチェンジ機能の対象なりません。専用紙の設定方法については、「トレイの特殊紙設定をする」(p. 6-24)をごらんください。
- ・設定メニューで優先トレイの設定をすると、そのトレイが優先的に選択されます。設定方法については、「優先トレイの設定をする」(p. 6-48)をごらんください。

4.4 手差しでコピーする

トレイにセットされていないサイズの用紙にコピーする場合や、OHP フィルム、官製はがき、厚紙などの特殊紙にコピーする場合に手差しトレイを使用します。

■ 手差しコピーできる用紙

種類：

- 普通紙、再生紙（紙厚：60 g/m² ~ 90 g/m²）
- 特殊紙
 - 厚紙（紙厚：91 g/m² ~ 157 g/m²）
 - OHP フィルム
 - 官製はがき
 - ラベル用紙
 - 封筒

サイズ：

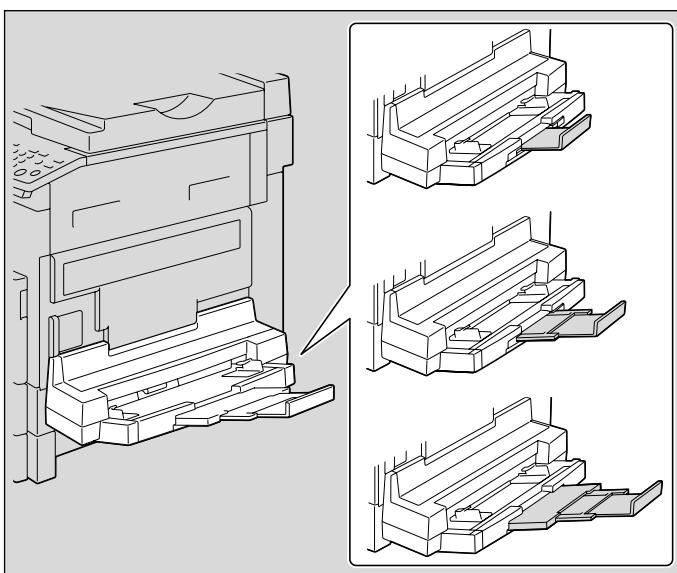
- 最大サイズ：297 mm × 432 mm
- 最小サイズ：90 mm × 140 mm



シングル手差しトレイを使ってコピーをするときは、用紙を1枚ずつセットしてください。



マルチ手差しトレイ（オプション）装着時の用紙セット枚数については、p. 3-4をごらんください。



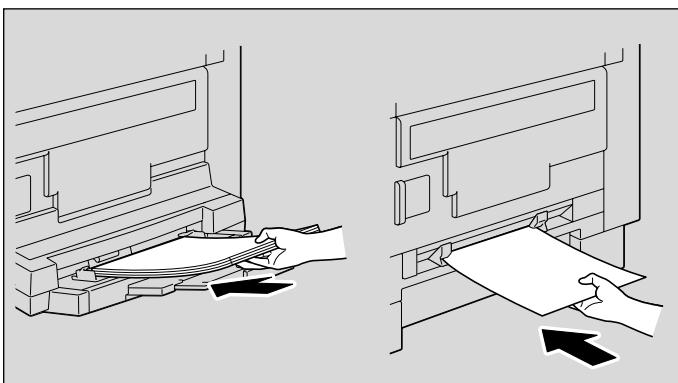
■ 手差しトレイに普通紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は100枚までです。▼マークをこえないようにセットしてください。

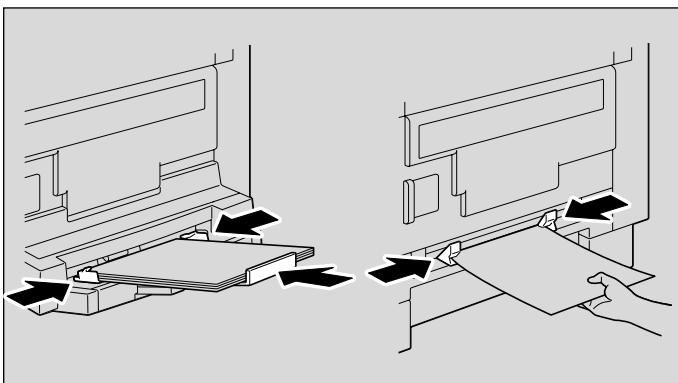
1

手差しトレイに用紙をセットします。



2

用紙サイズにあわせ、ガイドと補助トレイを調整します。



普通紙以外の用紙をセットしたときは、操作パネルで用紙種類の設定が必要です。



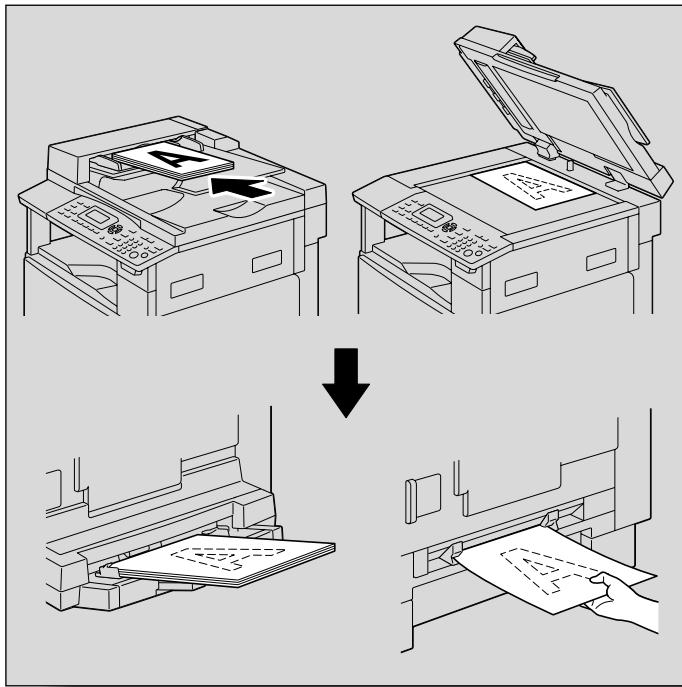
- ・コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- ・必ず用紙のカール（反り）をおおしてからセットしてください。



用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」(p. 4-26) または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」(p. 4-29) の手順4～7をごらんください。

4.4 手差しでコピーする

原稿画像の向きと、用紙に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようにになります。



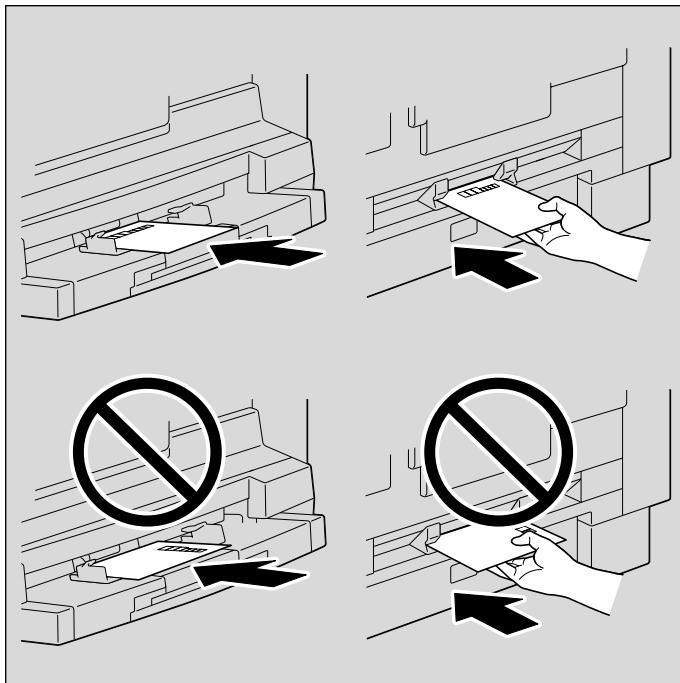
■ 手差しトレイに官製はがきをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

図のように □ 方向にし、コピーする面を下向きにセットします。



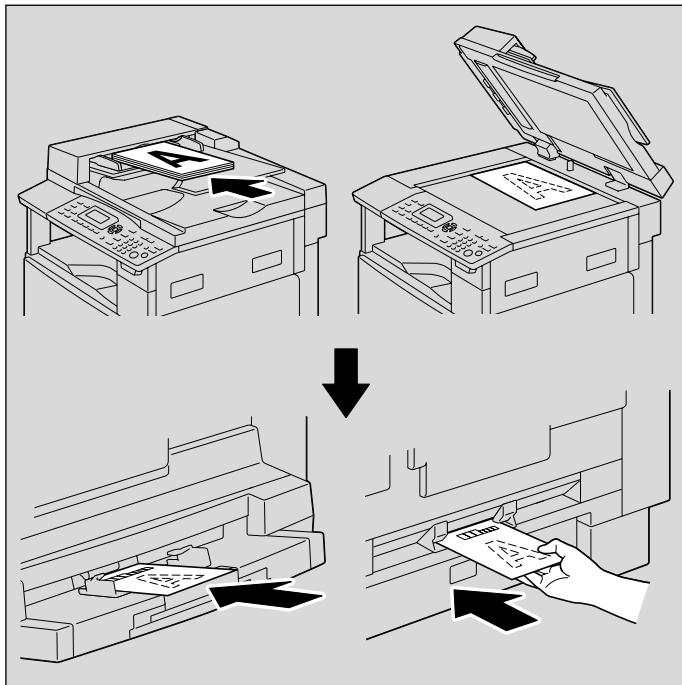
- ・官製はがきは、□方向にセットしないでください。
- ・官製はがきをセットした後は、操作パネルで用紙種類を設定してください。



用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」(p. 4-26) または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」(p. 4-29) の手順4～7をごらんください。

4.4 手差しでコピーする

原稿画像の向きと、ハガキに印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



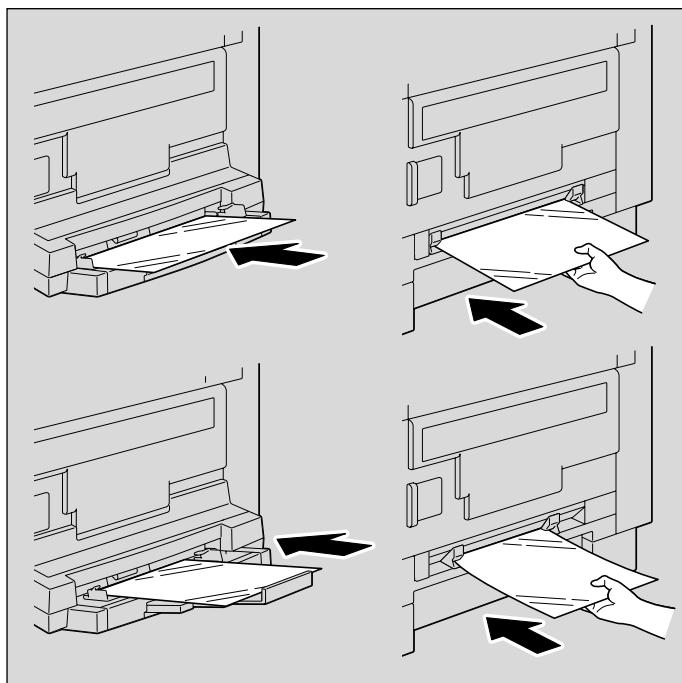
■ 手差しトレイにOHP フィルムをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

原稿にあわせ □ 方向または ■ 方向にセットします。



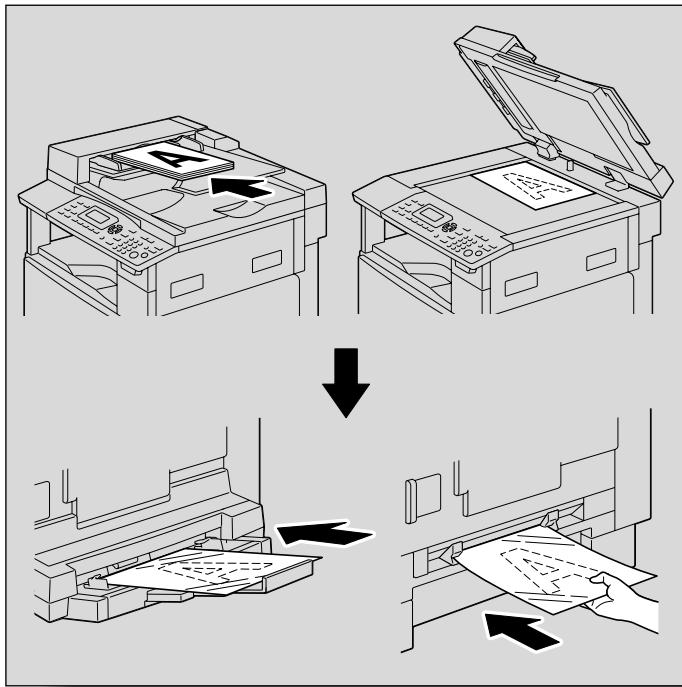
OHP フィルムをセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。



用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」(p. 4-26) または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」(p. 4-29) の手順4～7をごらんください。

4.4 手差しでコピーする

原稿画像の向きと、OHP に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。

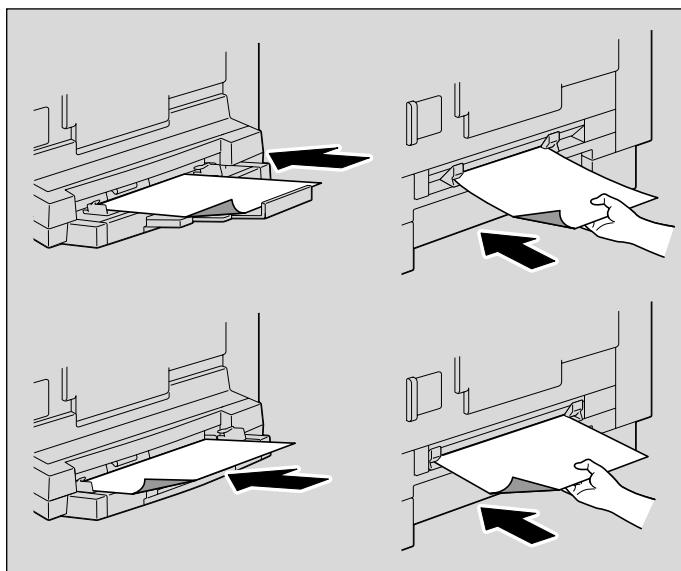


■ 手差しトレイにラベル用紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

原稿にあわせ□方向または▣方向にし、コピーする面を下向きにセットします。



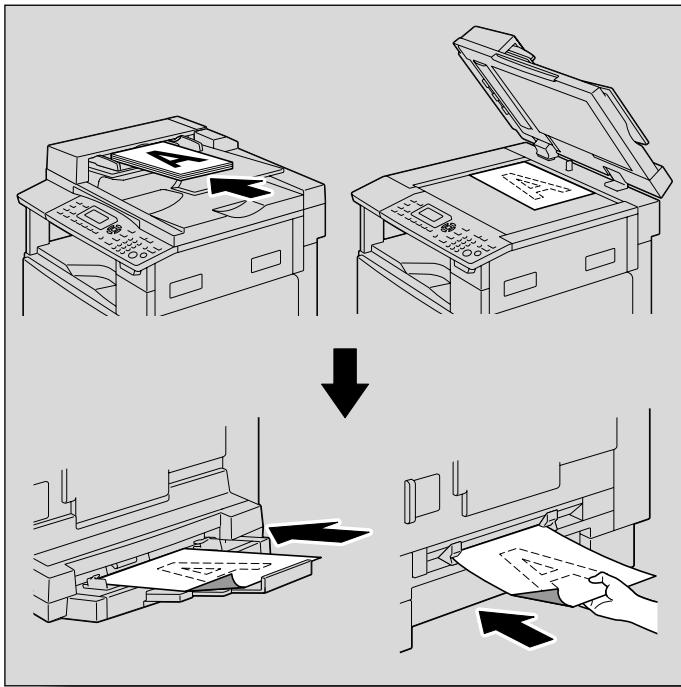
ラベル用紙をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。



用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」(p. 4-26) または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」(p. 4-29) の手順4～7をごらんください。

4.4 手差しでコピーする

原稿画像の向きと、ラベル用紙に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようにになります。

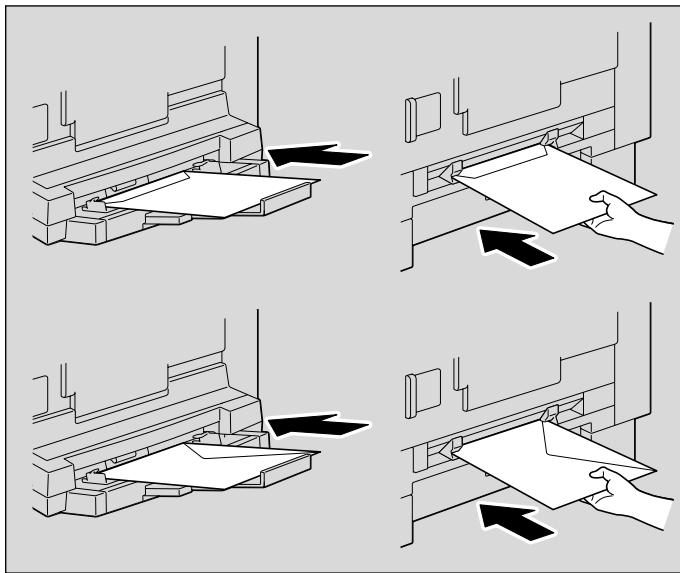


■ 手差しトレイに封筒をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は10枚までです。

1

図のように封印部を上向きにしてセットします。

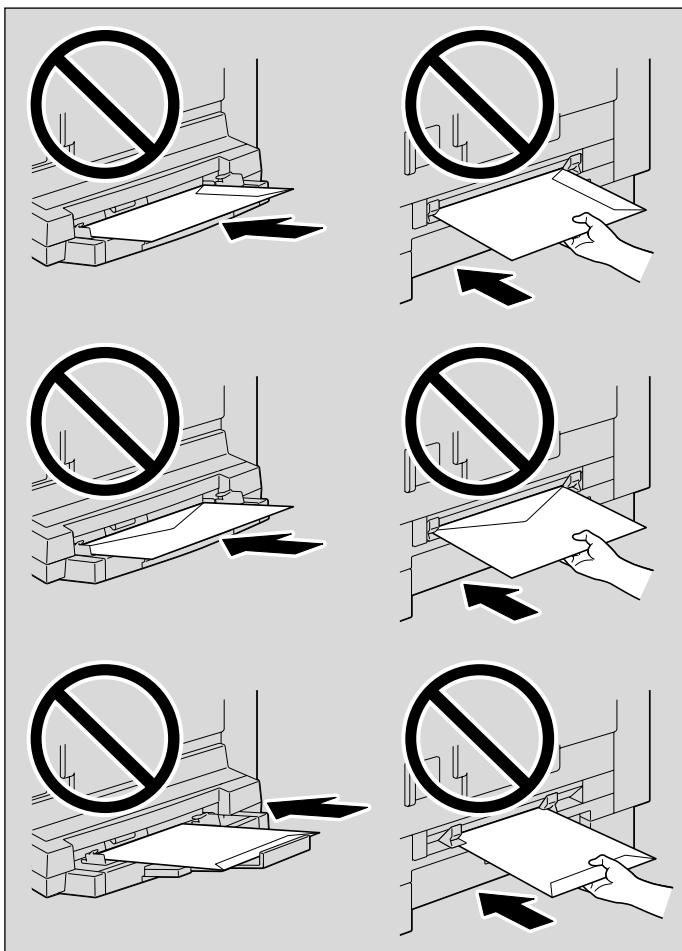


- ・封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し封筒の折り目をしっかりと押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、しわになったり、紙づまりの原因になります。
- ・封筒をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。



用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」(p. 4-26) または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」(p. 4-29) の手順4～7をごらんください。

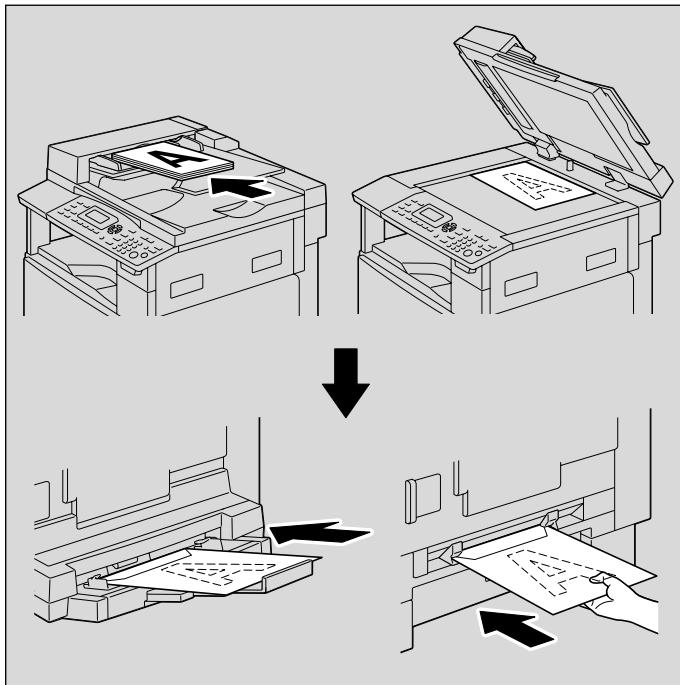
4.4 手差しでコピーする



必ず守ってください

- ・封筒は □ 方向にセットしないでください。
- ・封印部を下側に向けてセットしないでください。
- ・封印部を後端にしてセットしないでください。

原稿画像の向きと、封筒に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



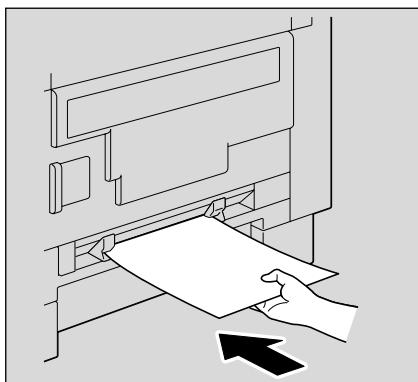
■ 手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）

1

原稿をセットします。

2

用紙（1枚）はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

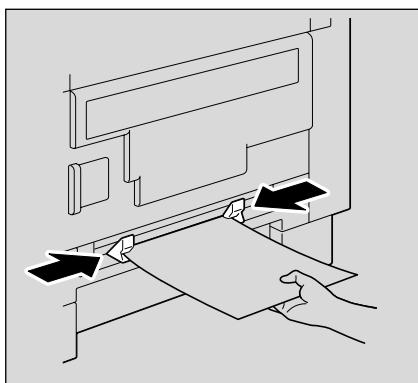


厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール（反り）をなおしてからセットしてください。

手差し用紙設定画面が表示されます。

3

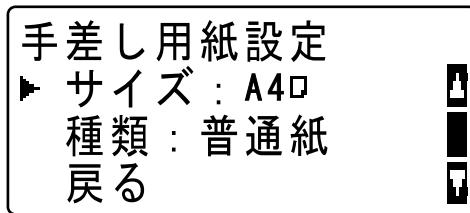
ガイドを用紙サイズにあわせて調整します。



4

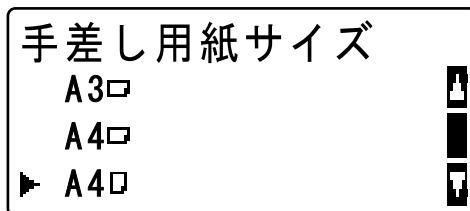
④

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



⑤

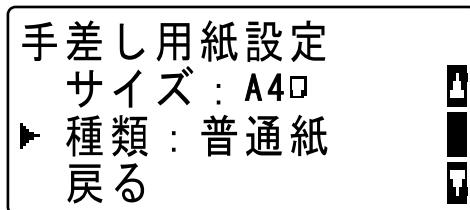
【▲】【▼】で適切な用紙サイズを選択し、【OK】を押します。



手差し用紙設定画面に戻ります。

⑥

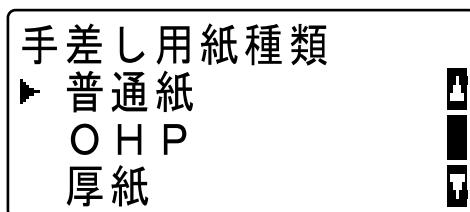
【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



⑦

【▲】【▼】で適切な用紙種類を選択し、【OK】を押します。

- 用紙種類は、「普通紙」「OHP」「厚紙」「封筒 / ハガキ」から選択できます。



手差し用紙設定画面に戻ります。

4.4 手差しでコピーする

8

「戻る」を選択します。

基本画面が表示されます。

ひとこと

サイズ、種類の設定を変更したい場合は、セットした用紙を取り出し、再度手順2～8の作業を行ってください。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-54) をごらんください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-62) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- ・同じ条件で2枚目以降のコピーをする場合、用紙をシングル手差しトレイにセットすると自動的にコピーを開始します。
- ・厚紙、官製はがき、OHPフィルム、封筒に連続してコピーしたい場合は、第1トレイに用紙をセットしてください。

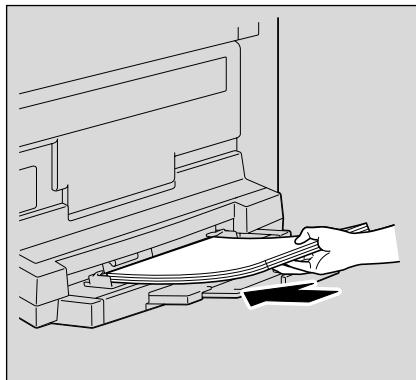
■ 手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）

1

原稿をセットします。

2

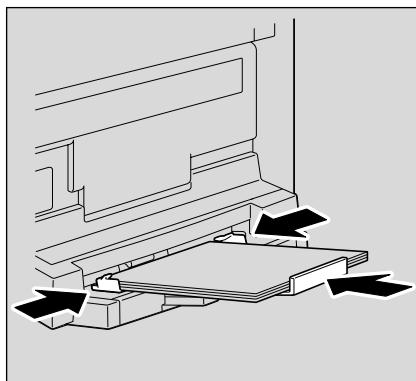
用紙はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。



手差し用紙設定画面が表示されます。

3

ガイドと補助トレイを用紙サイズにあわせて調整します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

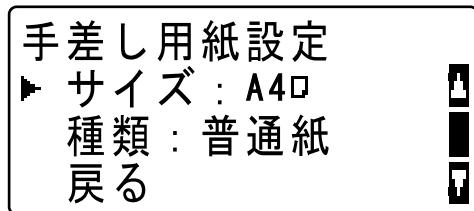


厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール
(反り) をなおしてからセットしてください。

4.4 手差しでコピーする

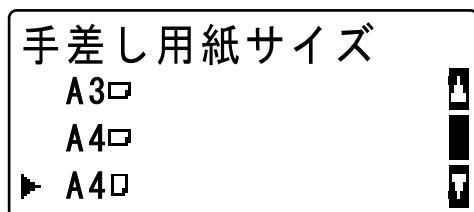
4

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



5

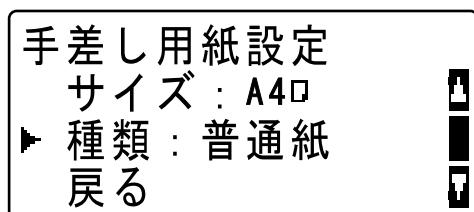
【▲】【▼】で適切な用紙サイズを選択し、【OK】を押します。



手差し用紙設定画面に戻ります。

6

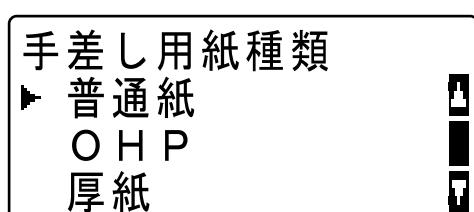
【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



7

【▲】【▼】で適切な用紙種類を選択し、【OK】を押します。

○ 用紙種類は、「普通紙」「OHP」「厚紙」「封筒／
ハガキ」から選択できます。



手差し用紙設定画面に戻ります。

8

「戻る」を選択します。

基本画面が表示されます。

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。

ひとこと

サイズ、種類の設定を変更したい場合は、セットした用紙を取り出し、再度手順2～8の作業を行ってください。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-54) をごらんください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-62) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

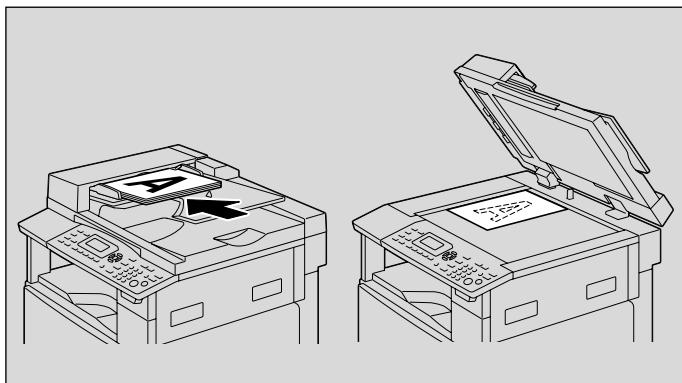
4.5 いろいろな用紙にコピーする

■ OHP フィルムにコピーする

ここでは第 1 トレイに OHP フィルムをセットしてコピーする例を説明します。

1

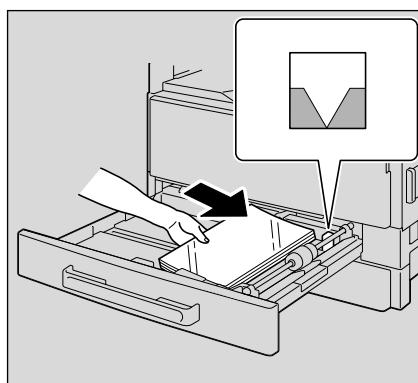
A4 サイズの原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

2

第 1 トレイのガイドを調整し、OHP フィルムをセットします。



OHP フィルムをセットするときは、原稿にあわせ □ 方向、または □ 方向にセットします。



OHP フィルムは 20 枚までセットできます。

3

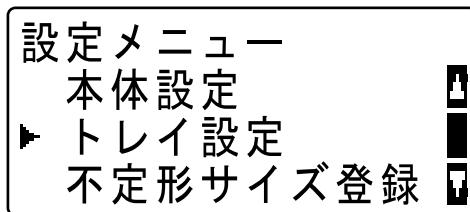
【設定メニュー】を押します。

**4**

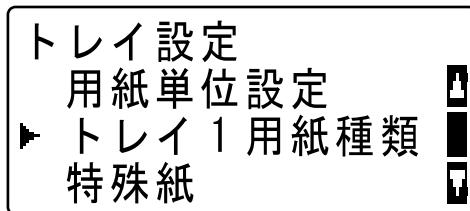
設定メニュー画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。

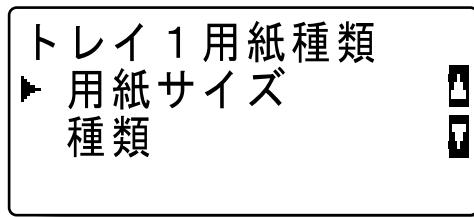
**5**

【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。



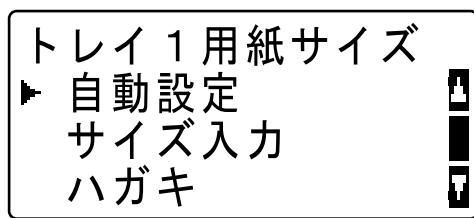
6

【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



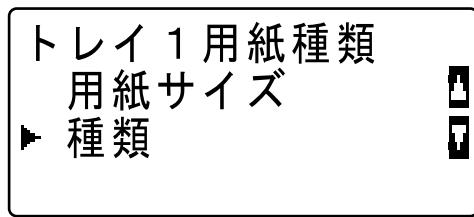
7

【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



8

【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



9

【▲】【▼】で「OHP」を選択し、【OK】を押します。



10

【戻る】を2回押します。

11

必要に応じてその他の項目を設定します。

12

【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

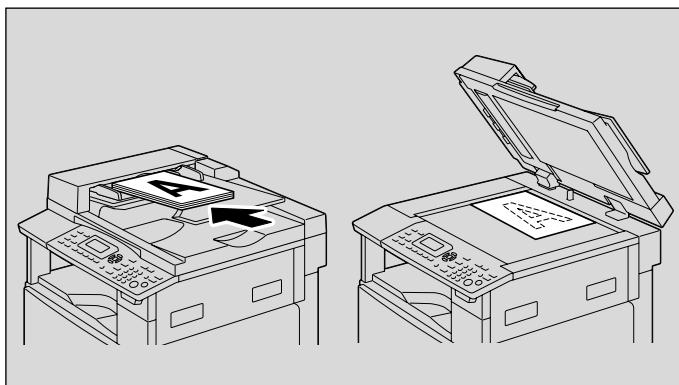
4

■ ラベル用紙にコピーする

ここでは第1トレイに200 mm × 250 mmのラベル用紙をセットしてコピーする例を説明します。

1

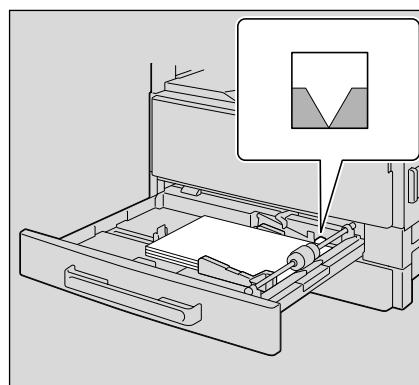
原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

2

第1トレイのガイドを調整し、ラベル用紙をセットします。



ラベル用紙をセットするときは、図のようにコピーする面を上に向けてセットしてください。

3

【設定メニュー】を押します。

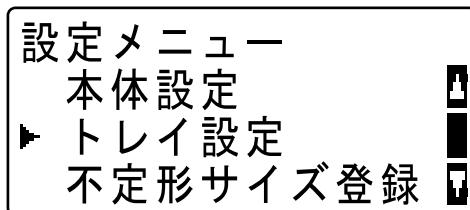


4

設定メニュー画面が表示されます。

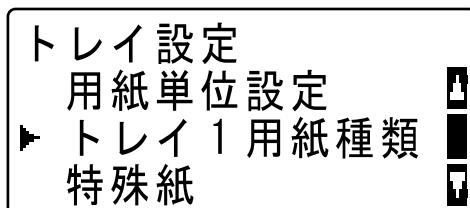
4

【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。



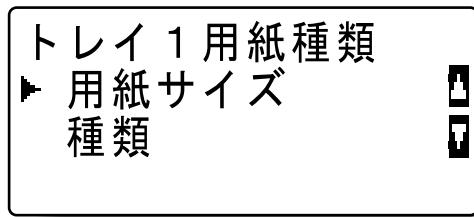
5

【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。



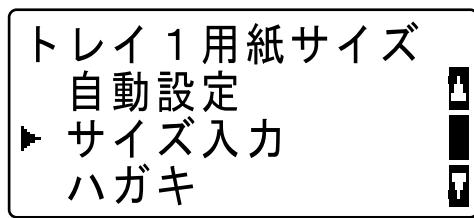
6

【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



7

【▲】【▼】で「サイズ入力」を選択し、【OK】を押します。



8

テンキーで長さ (X) を「200」と入力し、【OK】を押します。



9

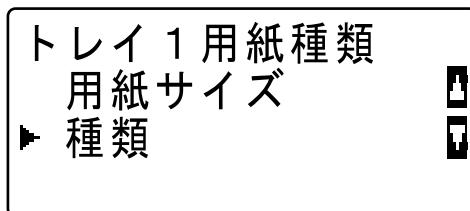
テンキーで幅 (Y) を「250」と入力し、【OK】を押します。



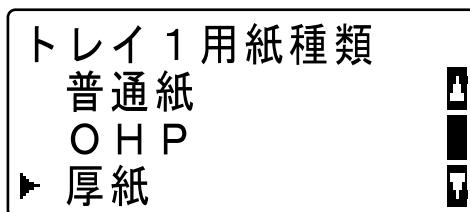
トレイ設定画面に戻ります。

10

【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。

**11**

【▲】【▼】で「厚紙」を選択し、【OK】を押します。

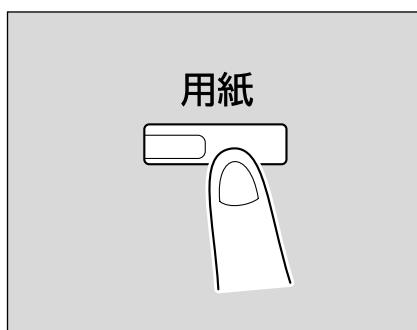
**12**

【戻る】を2回押します。

基本画面に戻ります。

13

【用紙】を押し、第1トレイを選択します。

**14**

必要に応じてその他の項目を設定します。

15

【スタート】を押します。



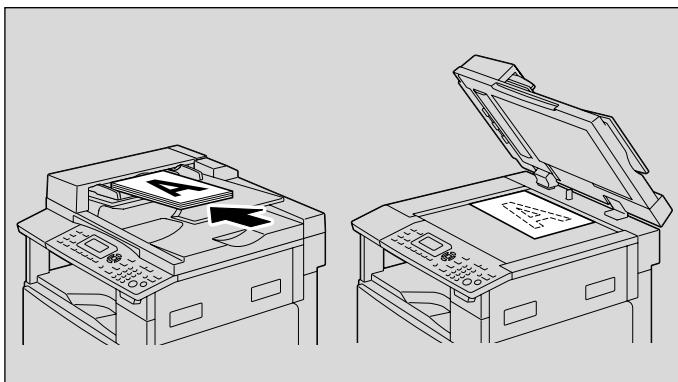
- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

■ 不定形サイズの用紙にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに
250 mm × 180 mm の不定形サイズの用紙をセットしてコピー
する例を説明します。

1

原稿をセットします。



ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。

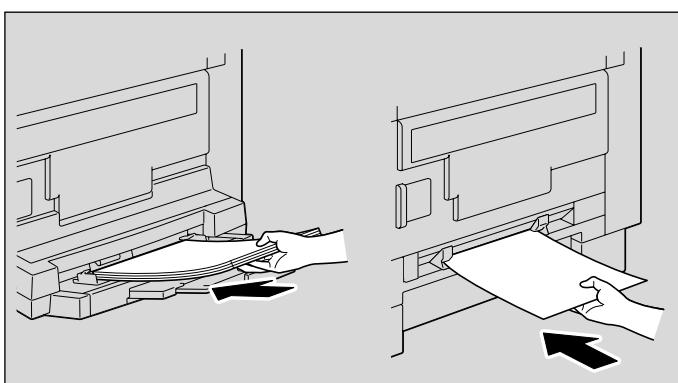
原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

2

手差しトレイのガイドを調整し、用紙をセットします。

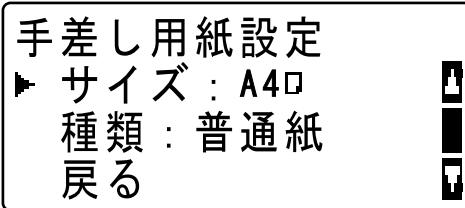


- ・コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- ・シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。
- ・マルチ手差しトレイにセットできる用紙は100枚までです。
- ▼マークをこえないようにセットしてください。

手差し用紙設定画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。

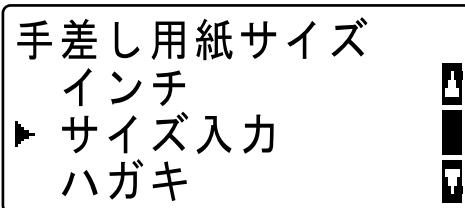


4

設定メニュー画面が表示されます。

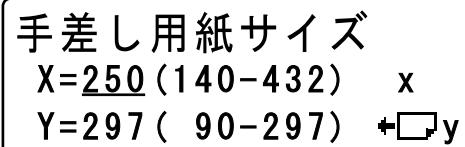
4

【▲】【▼】で「サイズ入力」を選択し、【OK】を押します。



5

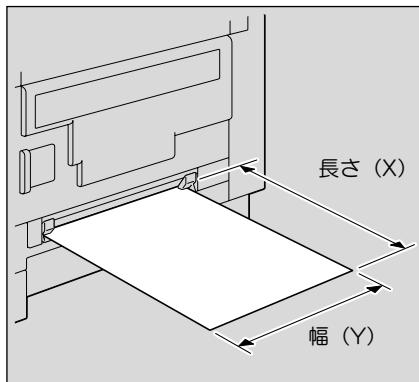
テンキーで長さ (X) を「250」と入力し、【OK】を押します。



詳しく説明します

- 用紙の長さ (X) は 140mm から 432mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



6

テンキーで幅 (Y) を「180」と入力し、【OK】を押します。

手差し用紙サイズ
X=250(140-432) x
Y=180(90-297) ←□y

詳しく説明します

- 用紙の幅 (Y) は 90mm から 297mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア/ストップ】を押してください。

手差し用紙設定画面に戻ります。

7

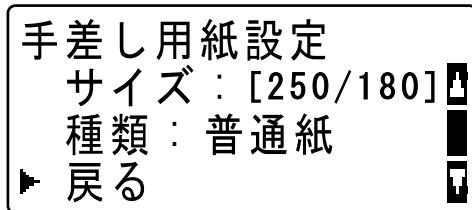
3 行目に「種類：普通紙」と表示されていることを確認します。

- 用紙種類が普通紙以外に設定されている場合は、「種類」を選択し、「普通紙」を選択してください。

手差し用紙種類
► 普通紙
○ O H P
厚紙

8

【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



基本画面が表示されます。

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

ひとこと

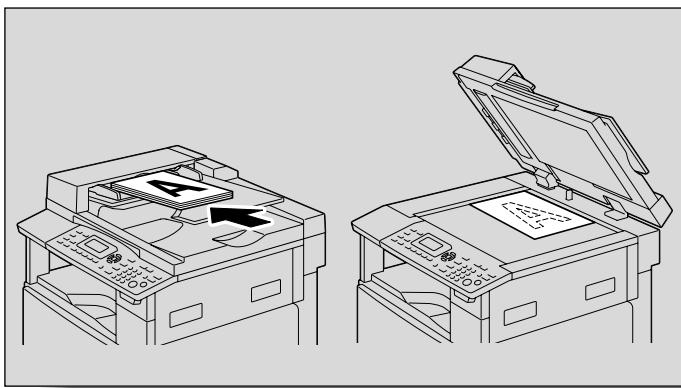
シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

■ 封筒にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 200 mm × 150 mm の封筒をセットしてコピーする例を説明します。

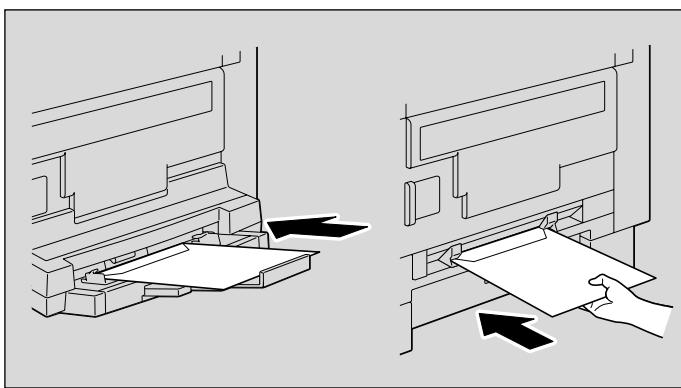
1

原稿をセットします。



2

手差しトレイのガイドを調整し、封筒をセットします。



手差し用紙設定画面が表示されます。

ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。

原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。



・ 封筒をセットするときは、コピーする面が下向きになるよう図のように封印部を上に向けてセットします。

・ 封筒をセットするときは、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかりと押さえてください。

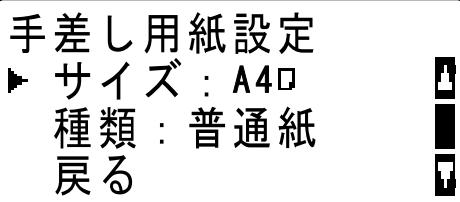
・ シングル手差しトレイにセットできる封筒は 1 枚です。

・ マルチ手差しトレイにセットできる封筒は 10 枚までです。

▼マークをこえないようにセットしてください。

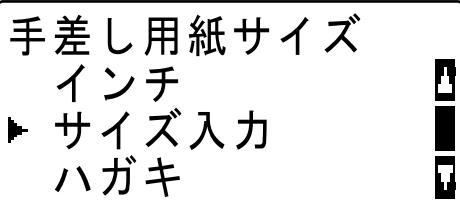
③

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



④

【▲】【▼】で「サイズ入力」を選択し、【OK】を押します。



⑤

テンキーで長さ（X）を「200」と入力し、【OK】を押します。



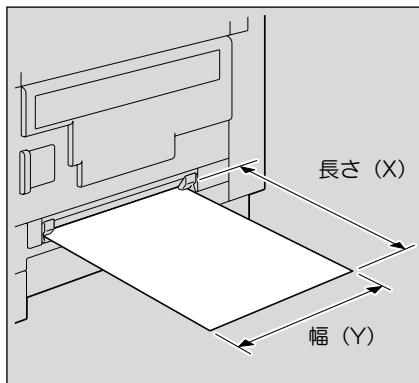
詳しく説明します

- 用紙の長さ（X）は140mmから432mmの範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

4

4.5 いろいろな用紙にコピーする

- 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



6

テンキーで幅 (Y) を「150」と入力し、【OK】を押します。

手差し用紙サイズ
X=200(140-432) x
Y=150(90-297) ←□y

詳しく説明します

- 用紙の幅 (Y) は 90mm から 297mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

手差し用紙設定画面に戻ります。

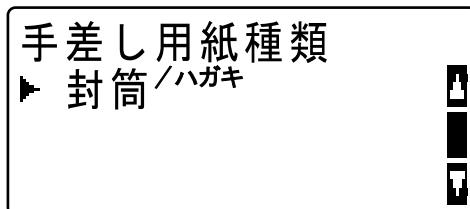
7

【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。

手差し用紙設定
サイズ：[200/150] ←
► 種類：普通紙
戻る

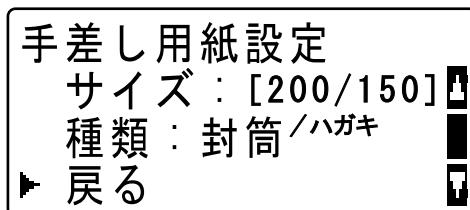
8

【▲】【▼】で「封筒／ハガキ」を選択し、【OK】を押します。



9

【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



基本画面が表示されます。

10

必要に応じてその他の項目を設定します。

11

【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

ひとこと

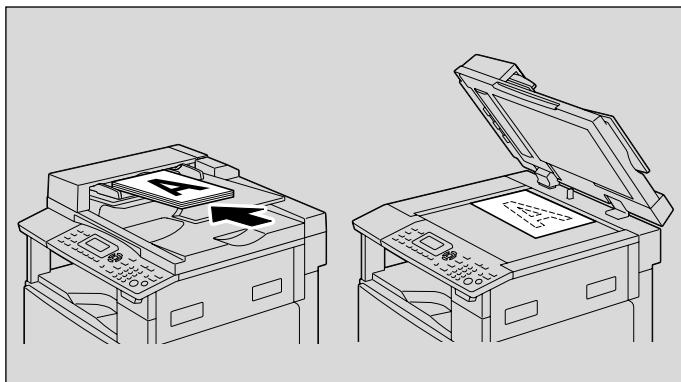
シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

■ 官製はがきにコピーする（手差しトレイ使用）

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 148 mm × 100 mm の官製はがきをセットしてコピーする例を説明します。

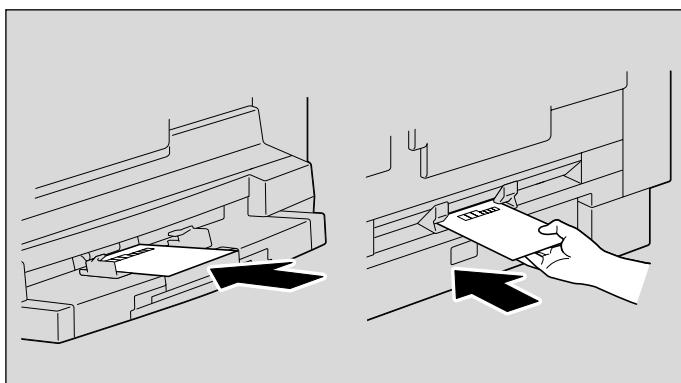
1

原稿をセットします。



2

手差しトレイのガイドを調整し、官製はがきをセットします。



手差し用紙設定画面が表示されます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をご覧ください。



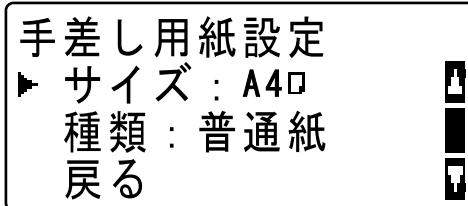
- ・官製はがきは、原稿ガラス上にセットします。本機の原稿送り装置には、はがき（厚紙）をセットできません。
- ・ハガキサイズの原稿は、原稿ガラス上に □ 方向にセットしてください。



- ・官製はがきをセットするときは、図のように □ 方向にセットします。
- ・印刷する面を下に向けてセットしてください。
- ・シングル手差しトレイにセットできる官製はがきは 1 枚です。
- ・マルチ手差しトレイにセットできる官製はがきは 20 枚までです。
- ▼マークをこえないよう
にセットしてください。

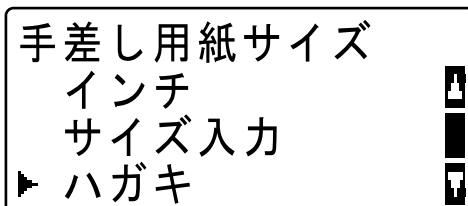
3

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



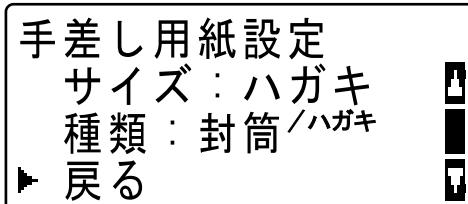
4

【▲】【▼】で「ハガキ」を選択し、【OK】を押します。



5

【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



基本画面が表示されます。

6

必要に応じてその他の項目を設定します。

7

【スタート】を押します。

ひとこと

「用紙サイズ」で「ハガキ」を選択すると、「種類」は自動で「封筒 / ハガキ」になります。

参照

- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

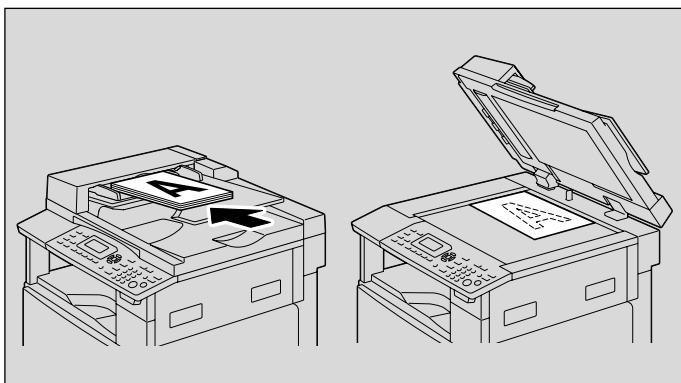
4

■ 官製はがきにコピーする（第1トレイ使用）

ここでは第1トレイに 148 mm × 100 mm の官製はがきをセットしてコピーする例を説明します。

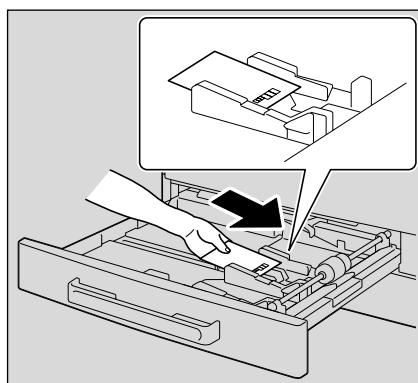
1

原稿をセットします。



2

第1トレイのガイドを調整し、官製はがきをセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。



- ・官製はがきは、原稿ガラス上にセットします。本機の原稿送り装置には、はがき（厚紙）をセットできません。
- ・ハガキサイズの原稿は、原稿ガラス上に □ 方向にセットしてください。



- ・官製はがきをセットするときは、図のように □ 方向にセットします。
- ・印刷する面を上に向けてセットしてください。
- ・官製はがきは 20 枚までセットできます。

3

【設定メニュー】を押します。

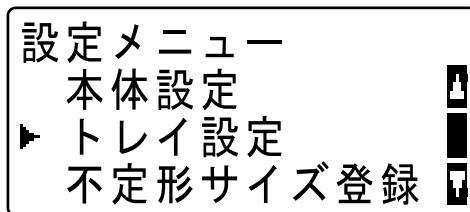


4

設定メニュー画面が表示されます。

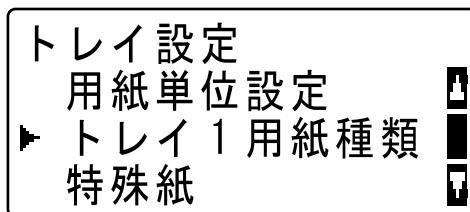
4

【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。



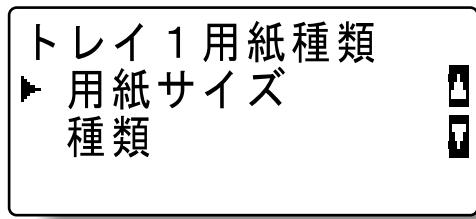
5

【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。



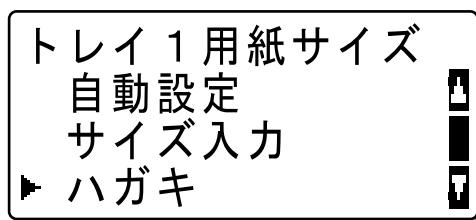
6

【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



7

【▲】【▼】で「ハガキ」を選択し、【OK】を押します。



ひとこと

「用紙サイズ」で「ハガキ」を選択すると、「種類」は自動で「封筒 / ハガキ」になります。

トレイ 1 用紙種類画面に戻ります。

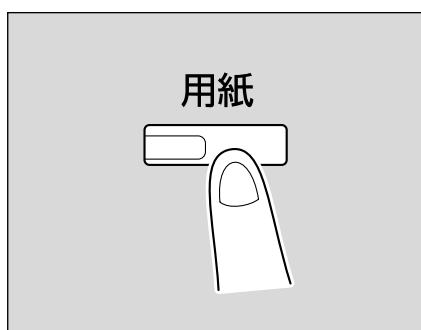
8

【戻る】を 2 回押します。

基本画面に戻ります。

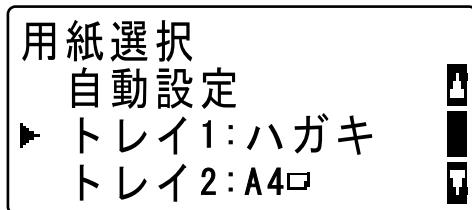
9

【用紙】を押します。



10

【▲】【▼】で「トレイ 1」を選択し、【OK】を押します。

**11**

必要に応じてその他の項目を設定します。

12

【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

4.6 倍率を指定してコピーする

倍率を指定することにより、コピーの拡大や縮小ができます。

■ 倍率設定の種類

倍率の種類	説明
等倍	原稿と同じ大きさ（100%）でコピーします。
自動設定	セットされた原稿と選択した用紙をもとに、最適なコピー倍率が自動選択されます。
固定倍率	通常よく使用する、定形サイズの原稿から異なる定形サイズの用紙にコピーする場合の、最適な倍率が設定されています。 25% 50% 70% (A3 → A4、B4 → B5) 81% (B4 → A4、B5 → A5) 122% (A4 → B4、A5 → B5) 141% (A4 → A3、B5 → B4) 200% 400%
手動設定	倍率を 25 ~ 400% の範囲で設定できます。 テンキーで倍率を直接入力できます。【▲】 【▼】を押すと、1% 刻みで倍率が増減します。
縦横変倍	原稿の幅方向と長さ方向を異なった倍率でコピーします。 幅方向：50% ~ 200% の範囲で設定できます。 長さ方向：50% ~ 100% の範囲で設定できます。 テンキーで倍率を直接入力できます。

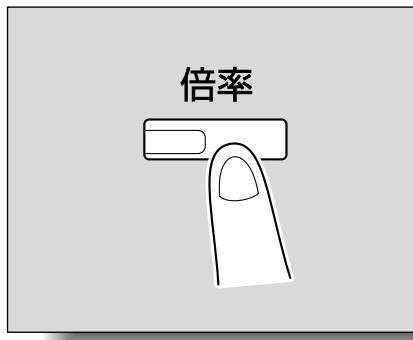
■ 自動倍率の設定のしかた

1

原稿をセットします。

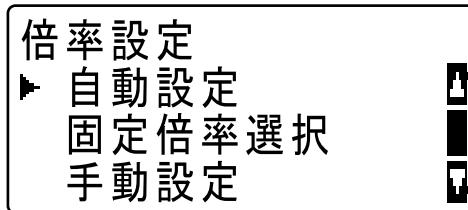
2

【倍率】を押します。



3

【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

4



- ・「コピーをとるまえに」
(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

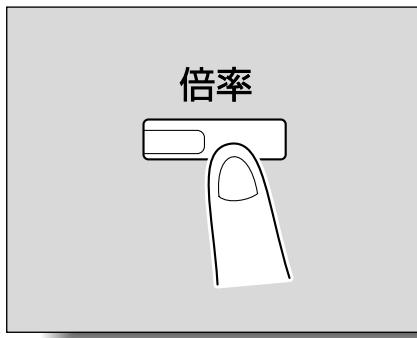
■ 固定倍率の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

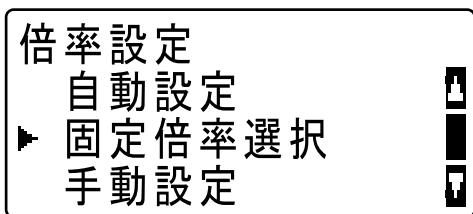
【倍率】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

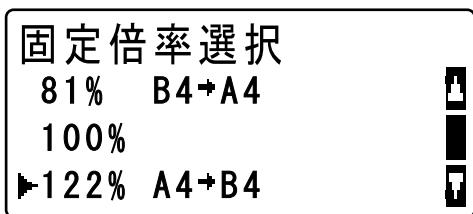
3

【▲】【▼】で「固定倍率選択」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で倍率を選択し、【OK】を押します。



5

必要に応じてその他の項目を設定します。

6

【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

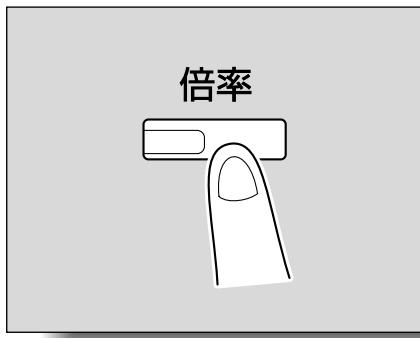
■ 手動倍率の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

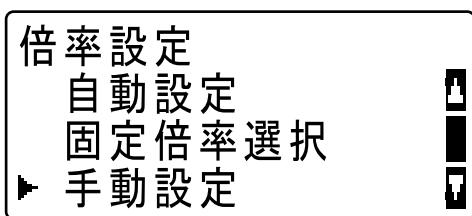
【倍率】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

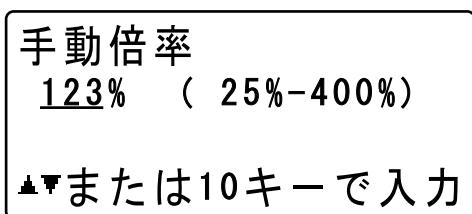
3

【▲】【▼】で「手動設定」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】またはテンキーで倍率を設定し、【OK】を押します。



【▲】【▼】で設定する場合、
1% 刻みで設定できます。

5

必要に応じてその他の項目を設定します。

6

【スタート】を押します。



- ・「用紙の選択のしかた」(p. 4-11) をごらんください。
- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

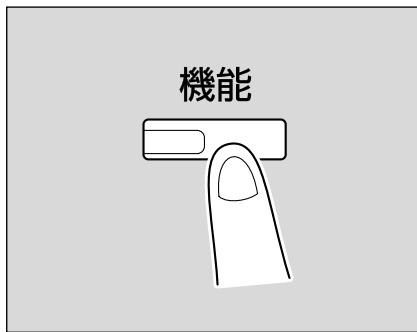
■ 縦横変倍の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【機能】を押します。

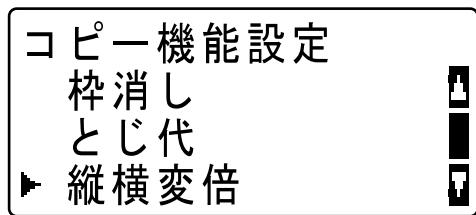


「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

コピー機能設定画面が表示されます。

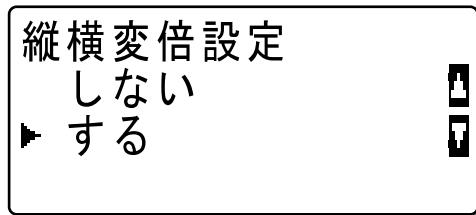
3

【▲】【▼】で「縦横変倍」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



5

テンキーで長さ方向（X）の倍率を設定し、【OK】を押します。

縦横変倍設定
 X=100 (50-100) 
 Y=100 (50-200) 

ひとこと

設定した倍率を訂正するときは【クリア / ストップ】を押し、設定しなおします。

6

テンキーで幅方向（Y）の倍率を設定し、【OK】を押します。

縦横変倍設定
 X=100 (50-100) 
 Y=141 (50-200) 

ひとこと

設定した倍率を訂正するときは【クリア / ストップ】を押し、設定しなおします。

7

【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

8

必要に応じてその他の項目を設定します。

9

【スタート】を押します。



- ・「用紙の選択のしかた」(p. 4-11) をごらんください。
- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4.7 コピー濃度を変更してコピーする

原稿種類とコピー濃度の設定

● 文字モード：

文字原稿のときに選択します。輪郭を強調し、文字原稿をくっきり表現します。

自動濃度調整と9段階の手動濃度調整ができます。

○ 自動濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。

○ 手動濃度調整：コピーする原稿に合わせて【◀】(うすく)、【▶】(こく)を使用して調整します。

● 写真モード：

写真などのハーフトーン（中間色）部の多い原稿をコピーする場合に選択します。

写真モードのときは自動濃度調整はできません。

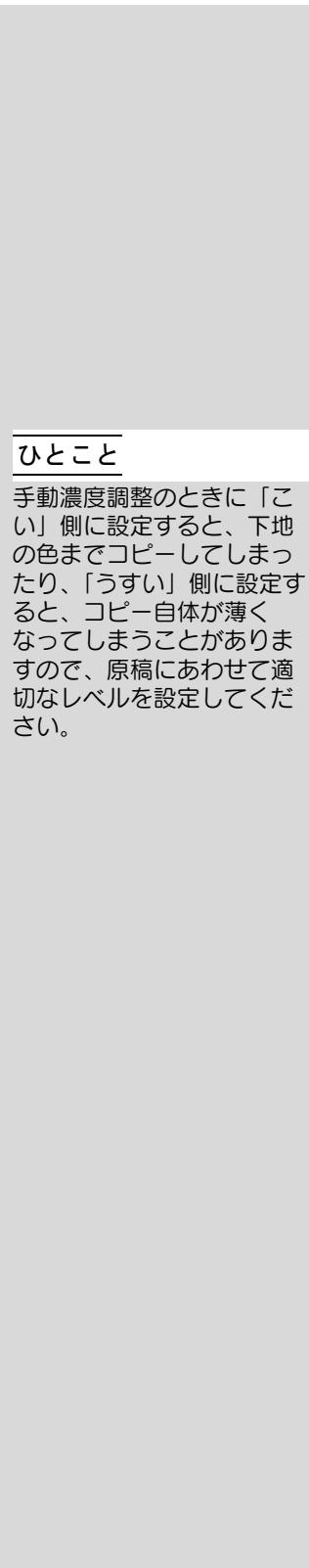
● 文字／写真モード：

文字と写真の混在する原稿の場合に選択します。

自動濃度調整と9段階の手動濃度調整ができます。

○ 自動濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。

○ 手動濃度調整：新聞や雑誌などをコピーするときの裏書きを防止したい場合は、【◀】(うすく)を使用して調整します。画像の明るい部分の淡い色を再現したい場合は、【▶】(こく)を使用して調整します。



ひとこと

手動濃度調整のときに「こい」側に設定すると、下地の色までコピーしてしまったり、「うすい」側に設定すると、コピー自体が薄くなってしまうことがありますので、原稿にあわせて適切なレベルを設定してください。

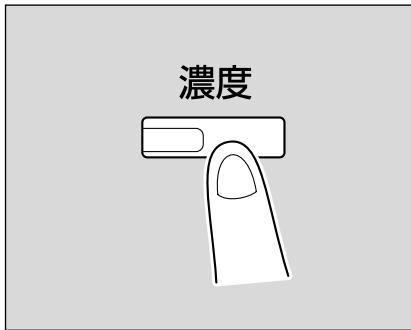
■ コピー濃度の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

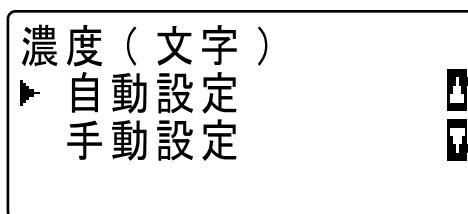
【濃度】を押します。



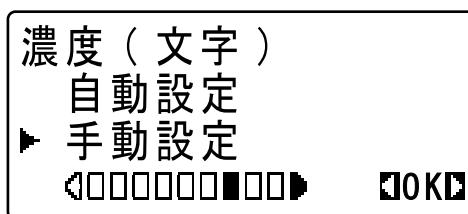
濃度画面が表示されます。

3

- 【▲】【▼】で「自動設定」「手動設定」を選択します。
○「自動設定」を選択した場合、【OK】を押します。



- 「手動設定」を選択した場合、【◀】【▶】で濃度を 9 段階から選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

4

ひとこと

画質を「写真」に設定している場合は、自動設定を選択できません。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。



- ・「用紙の選択のしかた」(p. 4-11) をごらんください。
- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5

【スタート】を押します。

4.8 割込んでコピーする

連続コピー、PCプリント中に【割込み】を押すことにより、急ぎのコピーをとることができます。

■ 割込み設定のしかた

1

【割込み】を押します。

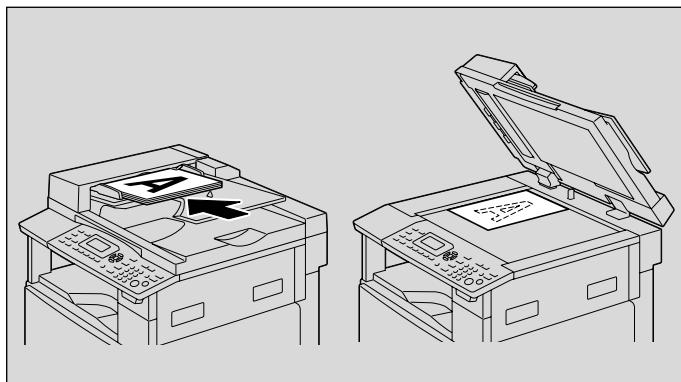
割込みランプが点灯し、コピー／プリント動作は停止します。



2

原稿を入れ替えます。

○ PCプリント中は、原稿をセットします。



割込み前のコピーモードにより、割込みコピーができないことがあります。また、割込み設定中は組み合わせできない機能があります。

詳しくは、「おもな機能の組み合わせ一覧表」(p. 9-7)をごらんください。

原稿ガラスを使用して2in1、4in1を行っているときは、割込みコピーはできません。

ひとこと

【割込み】を押すと、パネルの設定は初期モードになります。

4

3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

割込みコピーを開始します。

5

割込みコピー終了後、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、割込み前のモードに戻ります。

PC プリント中の場合は、自動的にプリントが再開されます。

○ コピーの場合は、手順 6 に進みます。

6

手順 2 で入れ替えた原稿をセットしなおします。

7

【スタート】を押します。

中断したコピーが再開されます。



- ・「用紙の選択のしかた」(p. 4-11) をごらんください。
- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-54) をごらんください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-62) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4.9 マシンカウンタを確認する

本機を設置した時点からの累積プリント枚数を、【確認】から確認できます。

■ マシンカウンタで確認できる項目

マシンカウンタ	内容
トータル	本機の設置時からの総プリント枚数が表示されます。
サイズ	サイズカウントとして設定された用紙サイズの総コピー／プリント枚数が表示されます。 (どの用紙サイズをカウントするかはサービス技術者が設定します。)
スキャン	本機の設置時からの総読み取り回数が表示されます。 (コピー時の読み取り回数は含みません。)
送信枚数	本機の設置時からのファクス送信枚数が表示されます。
受信枚数	本機の設置時からのファクス受信枚数が表示されます。

1

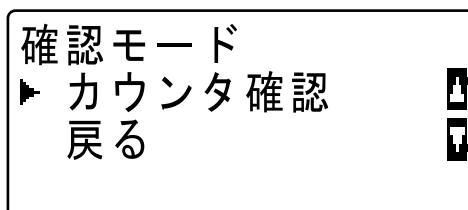
基本画面で【確認】を押します。



確認モード画面が表示されます。

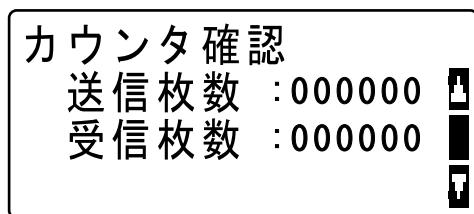
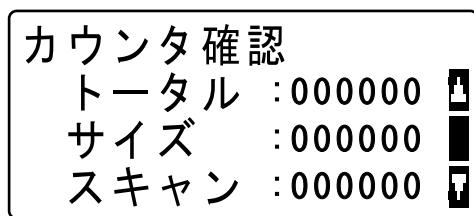
2

【▲】【▼】で「カウンタ確認」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】 【▼】 で各カウント値を確認します。



4

【OK】 を押します。

確認モード画面に戻ります。

5

【戻る】 を押します。

基本画面に戻ります。

第5章 一歩進んだコピーのとりかた

5

仕上がりの設定や、コピーモードの登録などさまざまなコピーのとりかたについて説明します。

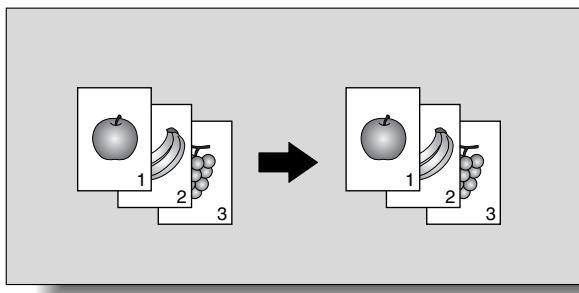
5.1	仕上り設定について（ソート、グループ）	5-2
5.2	2in1、4in1 コピーの設定について	5-8
5.3	ブック分割コピーの設定について	5-13
5.4	原稿の一部を消してコピーする（イレース）	5-16
5.5	白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）	5-19
5.6	とじ代をつけてコピーする	5-21
5.7	コピー設定を登録する	5-24
5.8	ID（部門）番号を使ってコピーする	5-27

5.1 仕上り設定について（ソート、グループ）

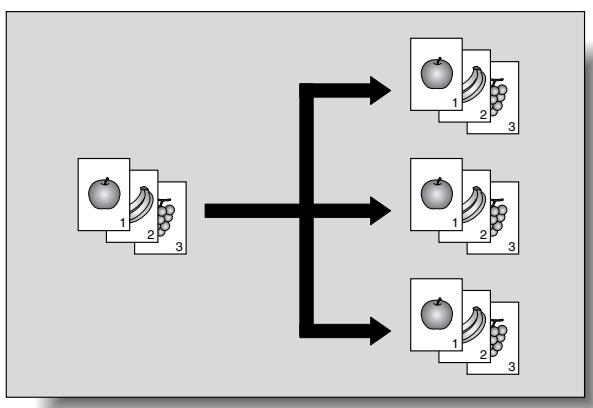
2部以上のコピー／プリントを行うときに、1部ずつをページ順にコピー（ソート）したり、ページごとにまとめてコピー（グループ）したりできます。

■ 仕上りの種類

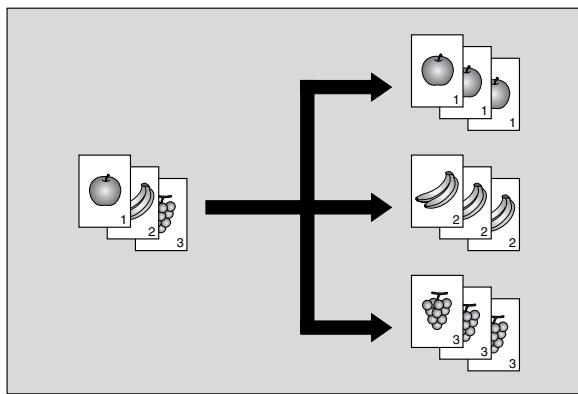
- ノンソート：
仕分けを行わずにコピーします。



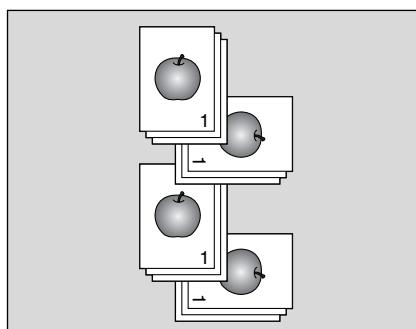
- ソート：
複数の原稿を自動的に1部ずつ仕分けをして、コピーします。



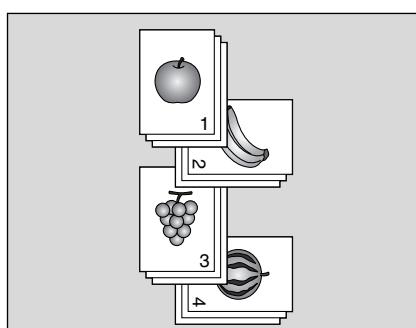
- グループ：
複数枚の原稿をページ単位に仕分けしてコピーします。



- 交互ソート：
1部ごとに□と■の用紙を交互に給紙して仕分けします。



- 交互グループ：
ページごとに□と■の用紙を交互に給紙して仕分けします。



詳しく説明します

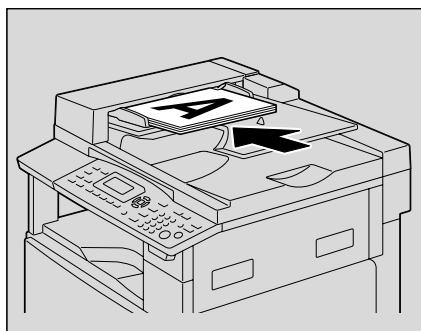
交互に排出する場合は以下の条件が必要です。

- ・A4またはB5の用紙を使用する
- ・サイズと種類の同じ用紙を□方向と■方向にセットする
- ・自動用紙に設定する
- ・混載原稿を設定しない
- ・設定メニューの「交互排紙」で「する」を設定する (p. 6-64)

■ 仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）

1

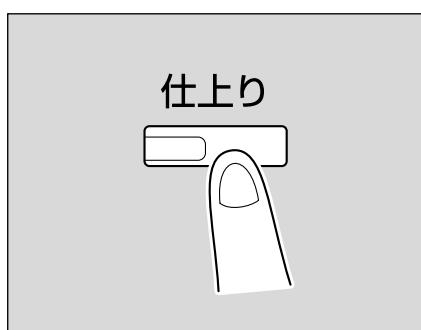
原稿送り装置に原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

2

【仕上り】を押します。

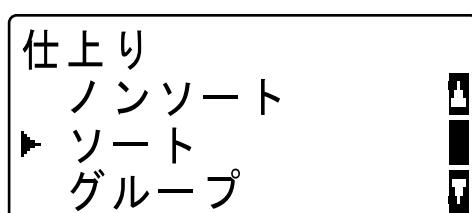


ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。

3

【▲】【▼】で「ソート」「グループ」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



仕上りランプが点灯します。

4

必要に応じその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5

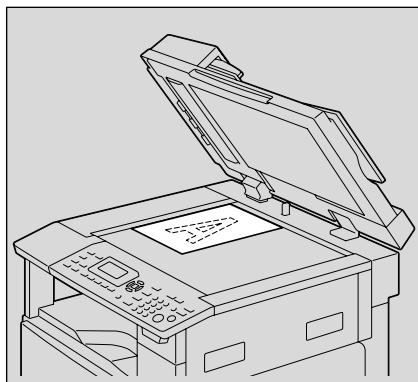
■ 仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）

1

原稿送り装置を開きます。

2

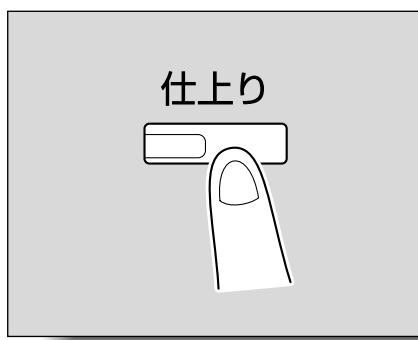
原稿ガラスに原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

3

【仕上り】を押します。



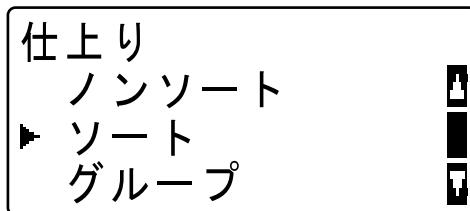
ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。

仕上り設定画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で「ソート」「グループ」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

**ひとこと**

自動原稿送り装置が装着されていない場合は、「グループ」は表示されません。

5

必要に応じその他の項目を設定します。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

7

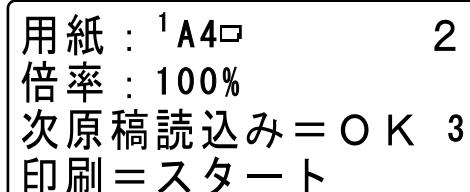
次の原稿を原稿ガラスにセットして【OK】を押します。

○原稿の枚数分、この操作を繰り返します。

読み込み原稿枚数が表示されます。

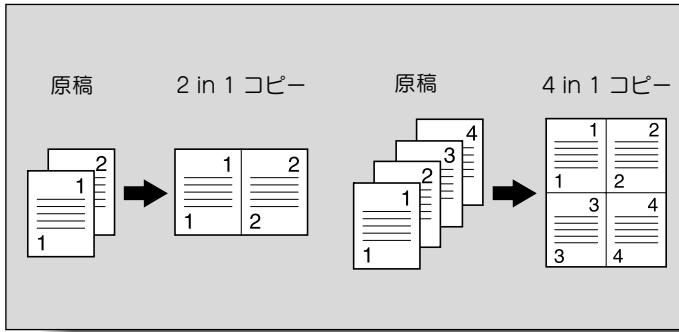
5**参照**

- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

**8**

【スタート】を押します。

5.2 2in1、4in1 コピーの設定について



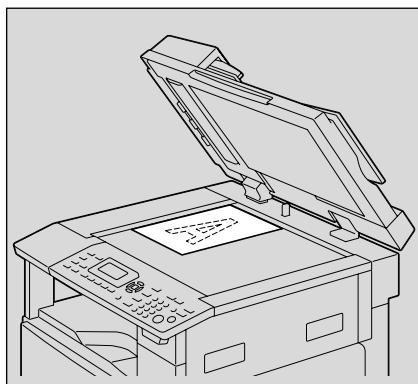
■ 原稿ガラスの場合

1

原稿送り装置を開きます。

2

原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。



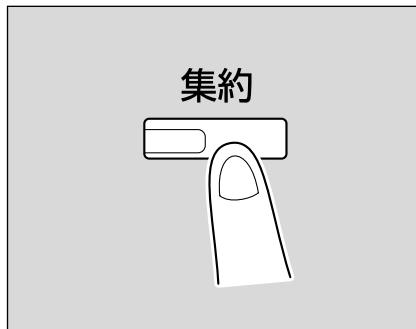
原稿ガラスを使用して
2in1、4in1 コピーを行っ
ているときは、割込みコ
ピーはできません。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

3

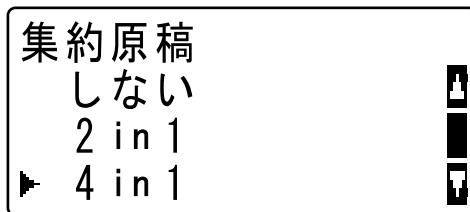
【集約】を押します。



5

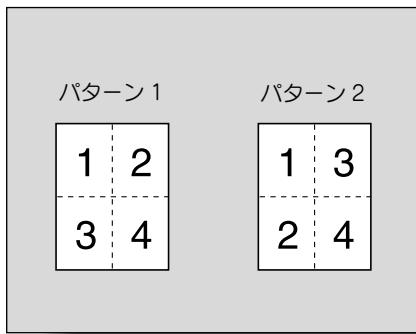
集約原稿画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で「2in1」「4in1」のいずれかを選択し、
【OK】を押します。

○4in1 コピーではコピー順序を下図の 2 つから選択できます。

工場出荷時の設定は「パターン 1」です。



設定のしかたについては、
設定メニューの「4in1 ページ順の設定をする」(p. 6-61) をごらんください。

集約ランプが点灯します。

5

必要に応じてその他の項目を設定します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

7

次の原稿を原稿ガラスにセットして【OK】を押します。

○ 原稿の枚数分、この操作を繰り返します。

読み込み原稿枚数が表示されます。



複数部設定した場合は【仕上り】を押し「ソート」を選択してください。

用紙 : ¹A4□ 1
倍率 : 50%
次原稿読み込み=OK 3
印刷=スタート

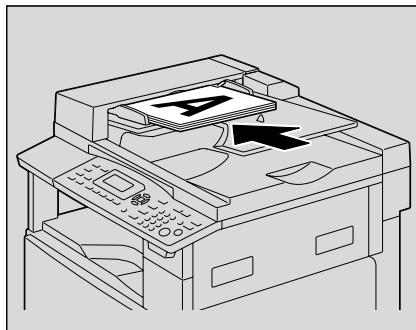
8

すべての原稿の読み込みが終了したら【スタート】を押します。

■ 原稿送り装置の場合

1

原稿送り装置に原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

2

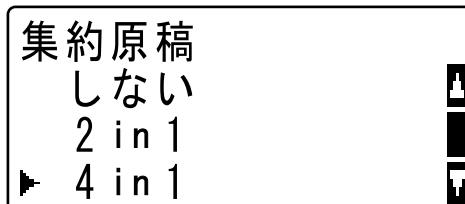
【集約】を押します。



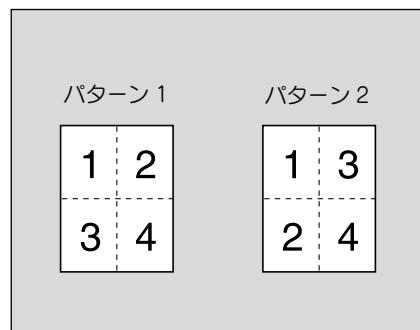
集約原稿画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で「2in1」「4in1」を選択し、【OK】を押します。



- 4in1 コピーではコピー順序を下図の2つから選択できます。
工場出荷時の設定は「パターン 1」です。



- ・ 設定のしかたについては
設定メニューの「4in1
ページ順の設定をする」
(p. 6-61) をごらんください。

集約ランプが点灯します。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

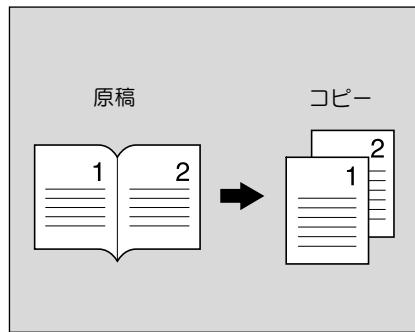
テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」
(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5.3 ブック分割コピーの設定について

5

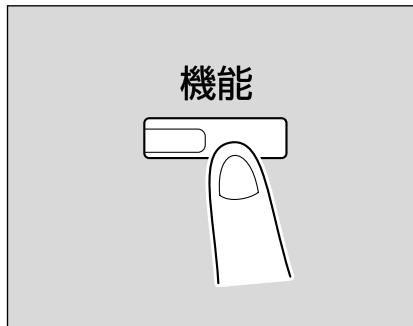


1

原稿をセットします。

2

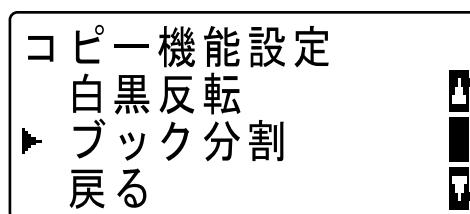
【機能】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

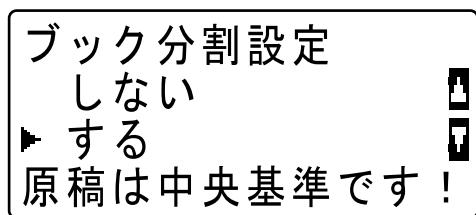
3

【▲】【▼】で「ブック分割」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「ブック分割」に「✓」がつきます。

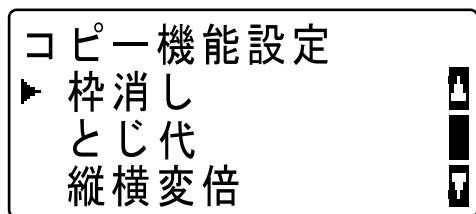


設定メニューで原稿タイプを変更できます。工場出荷時は、原稿が左とじに設定されています。右とじの原稿をコピーする場合は、設定メニューの「ブックとじ位置を選択する」(p. 6-53) で設定を変更してください。

5

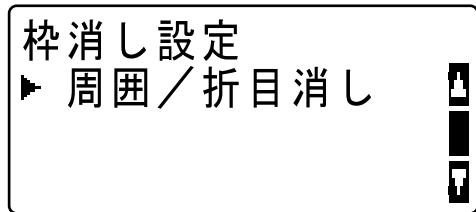
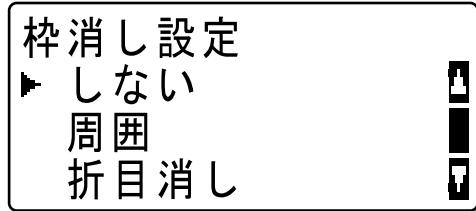
原稿の周囲や中央部を消去したいときは、コピー機能設定画面で「枠消し」を選択し、【OK】を押します。

○ コピーを開始するときは手順 7 に進んでください。



6

【▲】【▼】で「周囲」「折目消し」「周囲／折目消し」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「枠消し」に「✓」がつきます。



枠消しの種類は、次のページの表を参考にしてください。



- ・ 枠イレース幅（消去する幅）は 5mm ~ 20mm の間を 1mm 単位で設定できます。工場出荷時の設定は 10mm です。
- ・ 折目イレース幅は 10mm 固定です。
- ・ 枠イレース幅を変更したい場合は、設定メニューの「イレース幅の調整をする」(p. 6-55) で変更してください。

7

【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

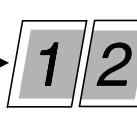
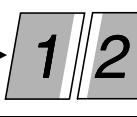
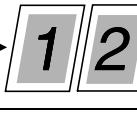
8

必要に応じてその他の項目を設定します。

9

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

■ 枠／折目消しの種類について

イレースの種類	説明	仕上がり
周囲 (ブックフレーム イレース)	原稿の周囲を消去してコピーします。	原稿  → コピー 
折目消し (ブックセンター イレース)	原稿のセンターを消去してコピーします。	原稿  → コピー 
周囲／折目消し (ブックフレーム +センターイレー ス)	原稿の周囲と中央部を消去してコピーします。	原稿  → コピー 



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

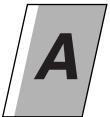
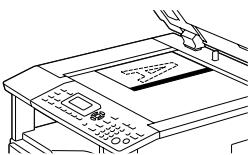
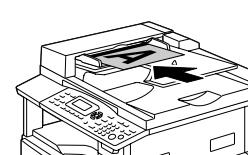
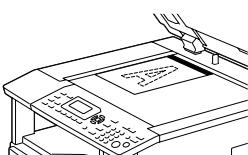
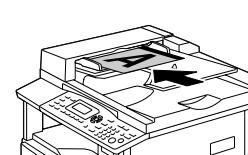
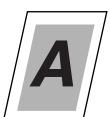
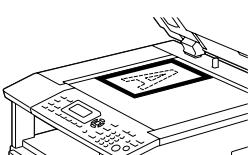
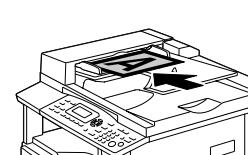
5

5.4 原稿の一部を消してコピーする（イレース）

原稿の縁の汚れなどを消去してコピーできます。

■ イレース位置でのご注意

イレースモードでコピーを行う場合は原稿をセットする方向に注意してください。

仕上がり	原稿ガラス	原稿送り装置
左イレース 		
上イレース 		
枠イレース 		

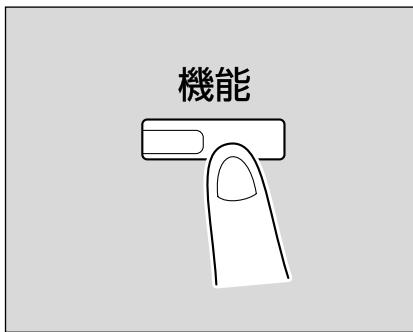
■ イレース設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【機能】を押します。



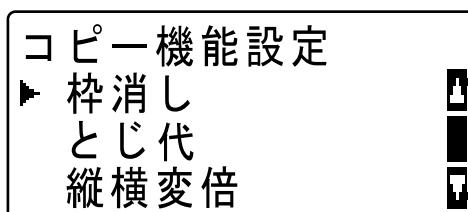
「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

5

コピー機能設定画面が表示されます。

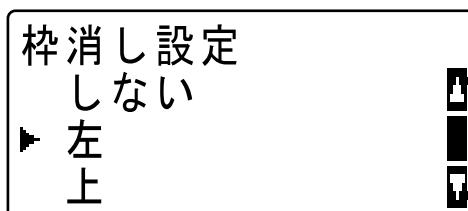
3

【▲】【▼】で「枠消し」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「左」「上」「周囲」のいずれかを選択し、
【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「枠消し」に「✓」がつきます。

5

【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

6

必要に応じその他の項目を設定します。

7

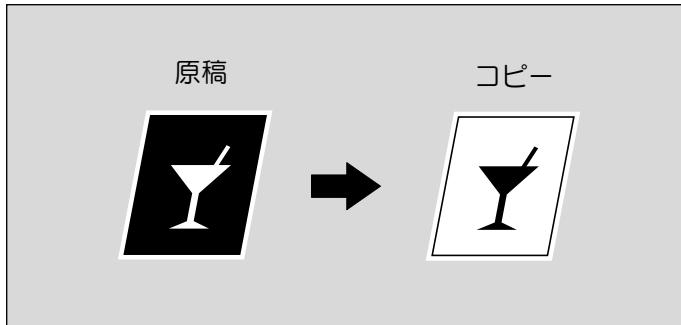
テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」
(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5.5 白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）

原稿の白色部（下地）と黒色部（文字）を反転してコピーできます。



5

■ ネガポジ反転の設定のしかた

1

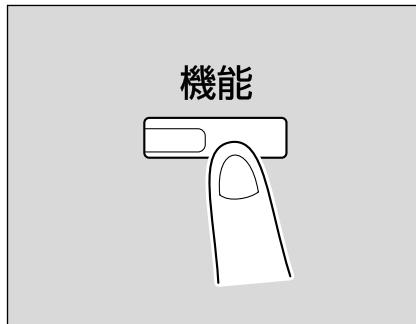
原稿をセットします。

2

【機能】を押します。



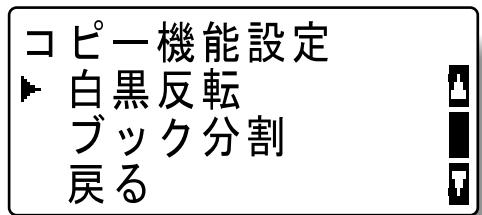
「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。



コピー機能設定画面が表示されます。

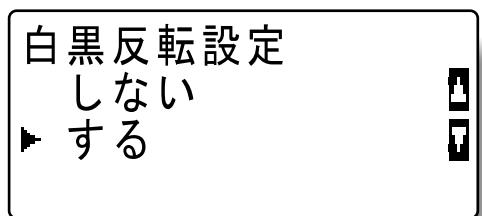
3

【▲】【▼】で「白黒反転」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「白黒反転」に「✓」がつきます。

5

【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

6

必要に応じその他の項目を設定します。

7

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

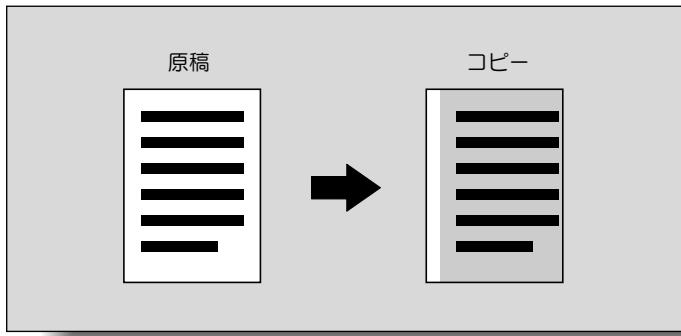


- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5.6 とじ代をつけてコピーする

ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつけてコピーできます。

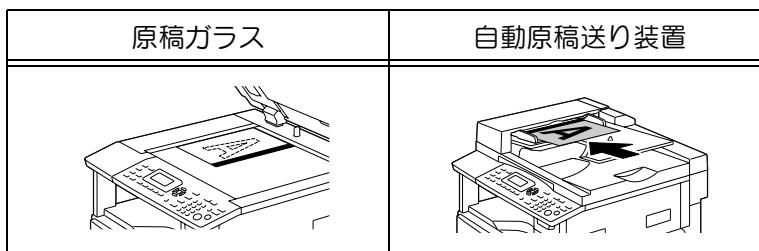
- 左とじ代：原稿の画像を右方向にずらして（シフトさせて）左側にとじ代をつくりコピーします。



5

■ とじ代位置のご注意

とじ代をつけてコピーする場合は原稿をセットする方向に注意してください。



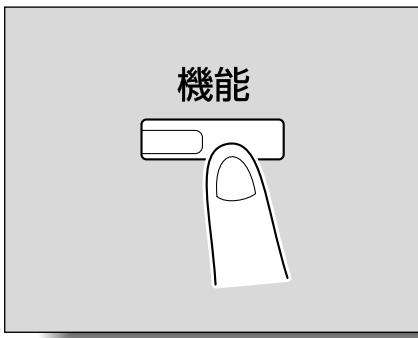
■ とじ代の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

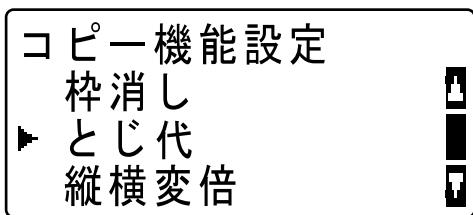
【機能】を押します。



コピー機能設定画面が表示されます。

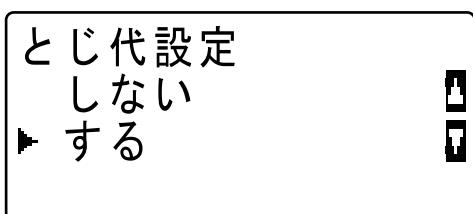
3

【▲】【▼】で「とじ代」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「とじ代」に「✓」がつきます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。



詳しく説明します

- ・とじ代幅は、0mm～20mmの範囲で1mm単位の設定ができます。工場出荷時の設定は10mmです。
- ・とじ代幅を変更したい場合は、設定メニューの「とじ代幅の調整をする」(p. 6-54)をごらんください。

5

【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

機能ランプが点灯します。

6

必要に応じその他の項目を設定します。

7

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

5

5.7 コピー設定を登録する

よく使用するコピー mode を登録しておき、必要に応じて呼び出すことができます。コピー設定は 2 つまで登録できます。

登録できる設定項目は次のとおりです。

- コピー枚数
- 選択トレイ（「自動」含む）
- 画質
- 濃度（「自動」含む）
- 【機能】各項目（枠消し、とじ代、縦横変倍、白黒反転、ブック分割）
- 混載原稿
- 集約

トレイに設定された用紙が不定形の場合、不定形サイズは登録されません。不定形サイズの登録については、「不定形サイズ登録」(p. 6-25) をごらんください。

■ コピー設定の登録のしかた

1

各種項目の設定をします。

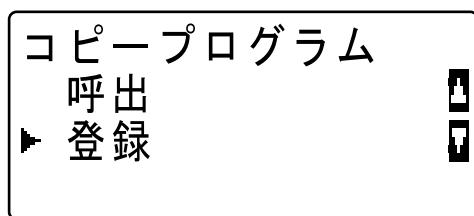
2

【プログラム】を押します。



3

【▲】【▼】で「登録」を選択し、【OK】を押します。



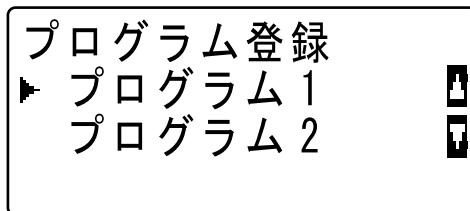
ウォームアップ中および割込みモード中に設定の登録を行うことはできません。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

【▲】【▼】で登録するプログラム番号を選択し、【OK】を押します。



詳しく説明します

すでに設定が登録されているプログラム番号に新たにコピー設定の登録を行うと、前のコピー設定は消去されます。

現在のコピー設定が登録されます。

5

■ コピー設定を呼び出してコピーする

1

原稿をセットします。

2

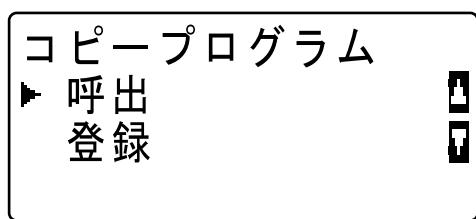
【プログラム】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-17) をごらんください。

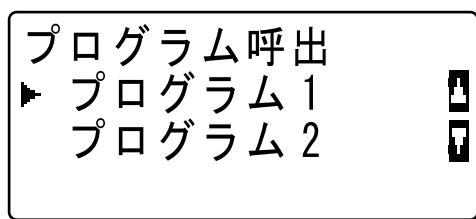
3

【▲】【▼】で「呼出」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で登録するプログラム番号を選択し、【OK】を押します。



5

【スタート】を押します。

5.8 ID（部門）番号を使ってコピーする

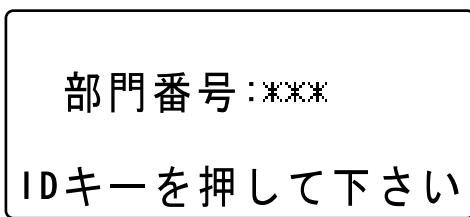
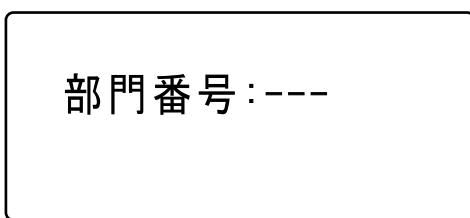
ID（部門）番号を登録しておくと、特定の人だけが本機を使えるように設定したり、部門ごとにコピー枚数を管理したりできます。

ここではID（部門）番号を入力し、コピーする方法を説明します。

■ ID（部門）番号の入力のしかた

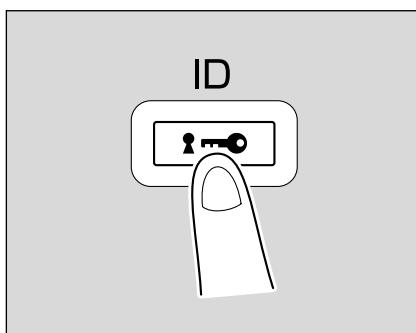
1

3桁のID（部門）番号をテンキーで入力します。



2

【ID】を押します。



画面がID入力画面から基本画面に切り替わり、コピー可能となります。



詳しく説明します

ID（部門）番号が登録されている場合は、本機を使用する前にID（部門）番号を入力しないと使用できません。

この機能を使用する場合は、設定メニューの管理者設定で部門管理の設定をしてください。詳しくはp. 6-38をごらんください。

ひとこと

ID（部門）番号を訂正する場合は、【クリア/ストップ】を押してから入力しなおしてください。

5

5.8 ID（部門）番号を使ってコピーする

3

原稿をセットし、コピーの設定をします。

4

【スタート】を押します。

5

コピーが終了したら、再度【ID】を押します。



- ・「コピーをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。



第6章 設定メニュー／コピー設定

6

設定メニューで設定ができるコピー／プリント機能の項目について説明します。

6.1	設定メニュー	6-2
6.2	設定メニュー／コピー設定一覧	6-3
6.3	本体設定	6-5
6.4	トレイ設定	6-19
6.5	不定形サイズ登録	6-25
6.6	ユーザー保守	6-27
6.7	管理者設定	6-30
6.8	コピー設定 1	6-46
6.9	コピー設定 2	6-57

6.1 設定メニュー

設定メニューには、8の項目があります。

No.	名称	説明	参照ページ
1	本体設定	本機の動作環境に関する設定を行います。	p. 6-5
2	トレイ設定	第1トレイにセットされている用紙のサイズと種類を指定します。また、トレイごとに自動トレイ切替えの設定を行うことができます。	p. 6-19
3	不定形サイズ登録	不定形サイズを2種類まで登録します。	p. 6-25
4	ユーザー保守	機能低下を防ぐための保守動作を実行します。	p. 6-27
5	管理者設定	管理者が部門ごとに管理するための設定やリモートモニタの設定を行います。	p. 6-30
6	コピー設定1	各コピー機能の初期設定を指定します。	p. 6-46
7	コピー設定2		p. 6-57
8	スキャナ設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。	—



オプションの装着状態によって、設定できない項目があります。設定できない項目を選択すると、エラーメッセージが表示されます。

6.2 設定メニュー／コピー設定一覧

※ 太字は工場出荷時の設定を示します。

メニュー	サブメニュー	設定項目
本体設定	オートリセット	しない / 30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分
	スリープモード	1分～240分（初期値：15分）
	オートパワーオフ	しない / する（15分～240分）
	画質（ADF）	モード1 / モード2
	画質（原稿ガラス）	モード1 / モード2
	プリント濃度	□□□□□
	LCD コントラスト	□□□□□
	キーリピート	開始までの時間（0.1秒 / 0.3秒 / 0.5秒 / 1.0秒 / 1.5秒 / 2.0秒 / 2.5秒 / 3.0秒） 間隔時間（0.1秒 / 0.3秒 / 0.5秒 / 1.0秒 / 1.5秒 / 2.0秒 / 2.5秒 / 3.0秒）
トレイ設定	用紙単位設定	（各トレイ）インチ / メトリック
	トレイ1用紙種類	サイズ（自動 / サイズ入力 / ハガキ） 種類（普通紙 / OHP / 厚紙 / 封筒・ハガキ）
	特殊紙	普通紙 / 再生紙 / 専用紙
	登録	登録サイズ1 X:140mm～432mm Y:90mm～297mm
ユーザー保守	ドラムドライ	—
	トナー補給	—
管理者設定	管理者番号の変更	000000～999999
	オートパワーオフ	禁止 / 許可
	部門管理設定	部門管理設定（する / しない） 部門番号登録（追加 / 確認 / 修正） 部門別カウンタ（表示 / 消去 / リスト）

6.2 設定メニュー／コピー設定一覧

メニュー	サブメニュー	設定項目
コピー設定 1	優先トレイ	トレイ 1/ トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4/ トレイ 5/ マルチ手差し
	優先画質	文字／写真 / 文字 / 写真
	優先濃度	自動設定 / 手動設定
	濃度レベル	自動設定 手動設定
	ブックとじ位置	左 / 右
	とじ代設定	0mm ~ 20mm (初期値： 10mm)
	枠消し設定	左 / 上 / 周囲 (5 ~ 20mm) (初期値： 10mm)
	小サイズ原稿許可	禁止 / 許可
コピー設定 2	優先コピーモード	自動用紙選択 / 自動倍率選択 / 手動設定
	優先仕上り	ノンソート / ソート / グループ
	4in1 ページ順	パターン 1/ パターン 2
	優先原稿混載	しない / する
	交互排紙許可	しない / する

6.3 本体設定

本体設定では以下の項目の設定を変更できます。

<本体設定の項目>

No.	本体設定	内容
1	オートリセット	コピー終了後または最後のキー操作後、オートリセット機能がはらくまでの時間を設定できます。オートリセットにより自動的に初期モードに戻り、基本画面が表示されます。 ・工場出荷時の設定は1分です。
2	スリープモード	本機を操作しなくなつてから節電状態になるまでの時間を設定できます。 ・工場出荷時の設定は15分です。
3	オートパワーオフ	本機を操作しなくなつてからオートパワーオフするまでの時間を設定できます。 ・工場出荷時の設定は「しない」です。
4	画質 (ADF)	オプションの原稿送り装置を使用する場合の画質レベルを設定できます。 モード1：コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 モード2：原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 ・工場出荷時の設定は「モード1」です。
5	画質 (原稿ガラス)	原稿ガラスにセットしてコピーする場合の画質レベルを設定できます。 モード1：原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 モード2：コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 ・工場出荷時の設定は「モード1」です。
6	プリント濃度	出力時の濃度レベルを5段階で設定できます。 ・工場出荷時の設定は(■■■■■)です。
7	LCD コントラスト	LCDディスプレイの明るさを調整できます。 ・工場出荷時の設定は(■■■■■)です。
8	キーリピート	キーを押しつづけて繰り返し入力が始まるまでの時間と、繰り返しの間隔時間を設定できます。 ・工場出荷時の設定は、開始時間「1秒」間隔時間「0.1秒」です。
9	言語選択	画面表示時の言語を「日本語」「英語」から選択できます。 ・工場出荷時の設定は「日本語」です。

6.3 本体設定

No.	本体設定	内容
10	スキャンしきい値	<p>オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合に設定できます。</p> <p>メモリーがいっぱいになり、原稿読み取りを中断するときのメモリー残量を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">・工場出荷時の設定は「512Kbyte」です。

■ 本体設定メニューを選択する

1

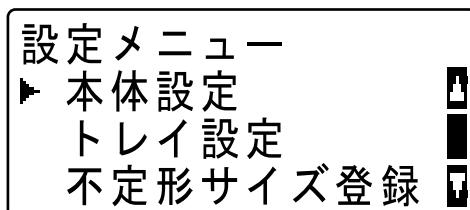
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「本体設定」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で本体設定メニューを選択します。

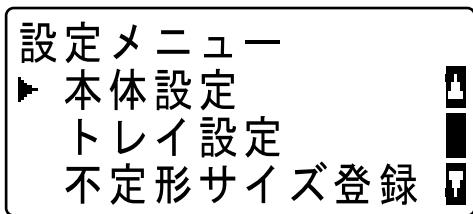
○本体設定メニューは以下のとおりです。

- オートリセット
- スリープモード
- オートパワーオフ
- 画質 (ADF)
- 画質 (原稿ガラス)
- プリント濃度
- LCD コントラスト
- キーリピート
- 言語選択
- スキャンしきい値

■ オートリセット設定を変更する

1

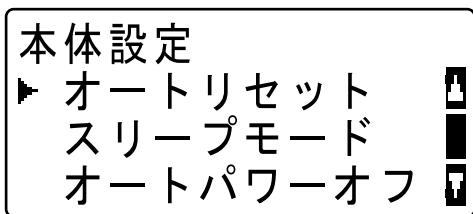
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

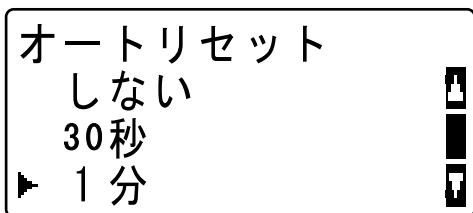
2

【▲】【▼】で「オートリセット」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「しない」「30秒」「1分」「2分」「3分」「4分」「5分」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

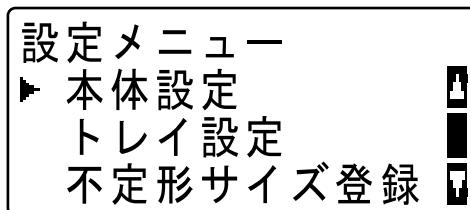


本体設定メニューに戻ります。

■ 低電力（スリープ）設定を変更する

1

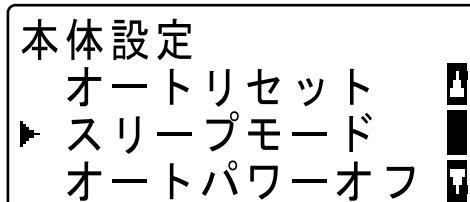
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

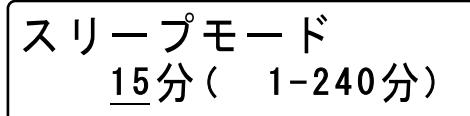
2

【▲】【▼】で「スリープモード」を選択し、【OK】を押します。



3

テンキーで、スリープ機能が有効になるまでの時間を入力し、【OK】を押します。



- ・タイマーは、1分～240分の間で設定します。
- ・数値を訂正したい場合は、【クリア/ストップ】を押して入力しなおします。

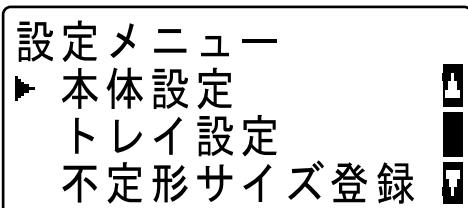
本体設定メニューに戻ります。

■ オートパワーオフ設定を変更する

オートパワーオフ機能の有効（する）／無効（しない）を設定します。有効（する）にする場合は、さらに機能がはたらくまでの時間を設定します。

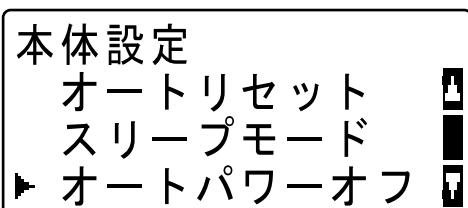
1

本体設定メニューを選択します。



2

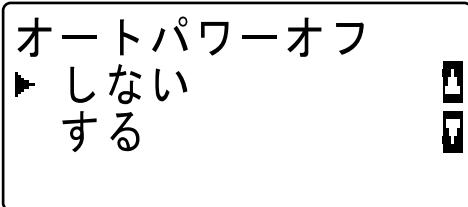
【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択します。

○「しない」を選択した場合は、【OK】を押します。



ひとこと

- ・オートパワーオフ機能で電源がオフになるとコピー／プリントできません。コピー／プリントをするときは電源をオンにしてください。
- ・「管理者設定」 - 「オートパワーオフ」を「禁止」に設定している場合は、オートパワーオフ機能を無効にできません。オートパワーオフ機能を無効にするには、あらかじめ「管理者設定」 - 「オートパワーオフ」を「許可」に設定しておいてください。詳しくは、「オートパワーオフ「しない」を選択できるようにする」(p. 6-36)をごらんください。

参照

「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7)をごらんください。

詳しく述べます

- ・タイマーは、15分～240分の間で設定します。
- ・数値を訂正したい場合は、【クリア／ストップ】を押して入力しなおします。

ひとこと

「管理者設定」 - 「オートパワーオフ」を「禁止」に設定している場合は、オートパワーオフ機能がはたらくまでの時間のみ設定します。

- 「する」を選択した場合は、テンキーでオートパワーオフ機能がはたらくまでの時間を入力し、【OK】を押します。

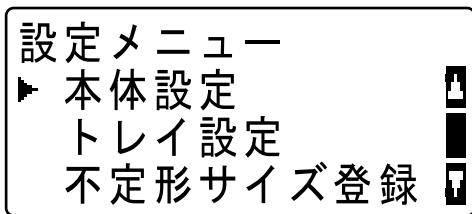
オートパワーオフ
しない
▶ する
30分(15-240分)

本体設定メニューに戻ります。

■ 原稿送り装置使用時の画質を変更する

1

本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

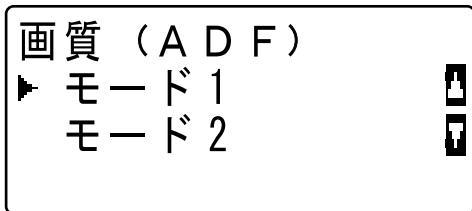
2

【▲】【▼】で「画質 (ADF)」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「モード 1」「モード 2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

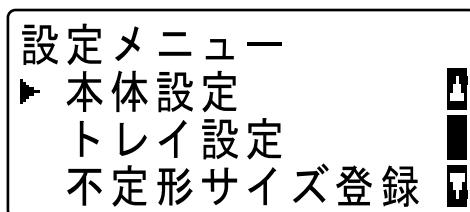


本体設定メニューに戻ります。

■ 原稿ガラス使用時の画質を変更する

1

本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

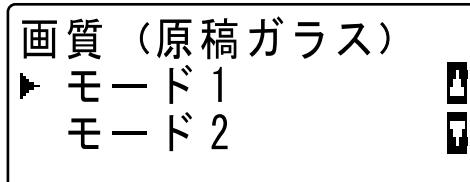
2

【▲】【▼】で「画質（原稿ガラス）」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「モード1」「モード2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

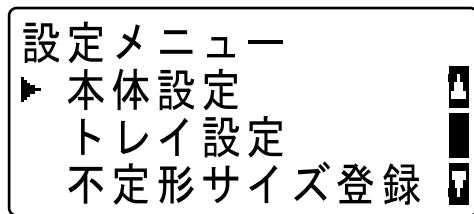


本体設定メニューに戻ります。

■ 濃度を変更する

1

本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

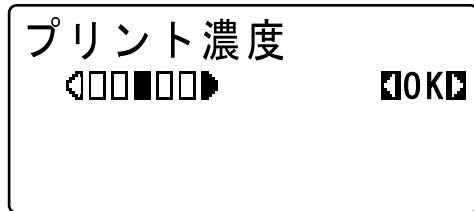
2

【▲】【▼】で「プリント濃度」を選択し、【OK】を押します。



3

【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。

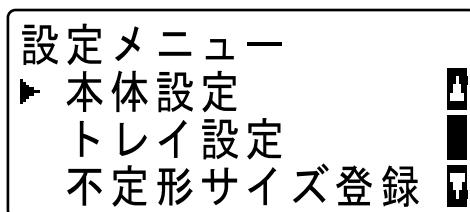


本体設定メニューに戻ります。

■ LCD コントラストを変更する

1

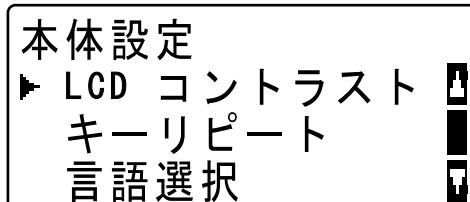
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

2

【▲】【▼】で「LCD コントラスト」を選択し、【OK】を押します。



3

【◀】【▶】でコントラストを選択し、【OK】を押します。

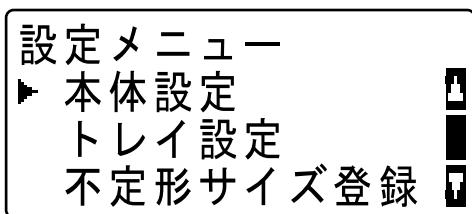


本体設定メニューに戻ります。

■ キーリピート設定を変更する

1

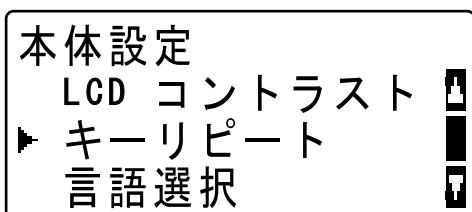
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

2

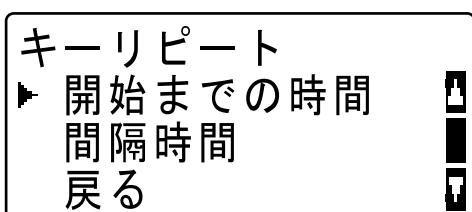
【▲】【▼】で「キーリピート」を選択し、【OK】を押します。



- 「開始までの時間」を設定する場合は、手順 3 に進みます。
- 「間隔時間」を設定する場合は、手順 5 に進みます。

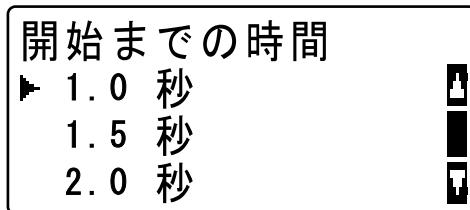
3

【▲】【▼】で「開始までの時間」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】でキーリピートを開始するまでの時間を選択し、【OK】を押します。

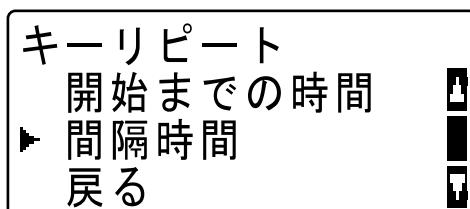


キーリピート設定画面に戻ります。

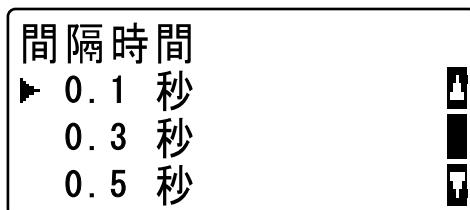
- 【戻る】を押すと、本体設定メニューに戻ります。
- 「間隔時間」を設定する場合は、次の手順に進みます。

5

【▲】【▼】で「間隔時間」を選択し、【OK】を押します。

**6**

【▲】【▼】で変化する間隔時間を選択し、【OK】を押します。



キーリピート設定画面に戻ります。

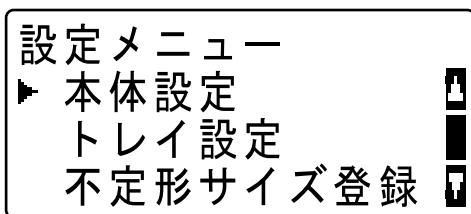
- 【戻る】を押すと、本体設定メニューに戻ります。

6

■ ディスプレイに表示される言語を変更する

1

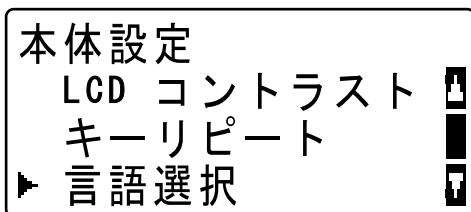
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

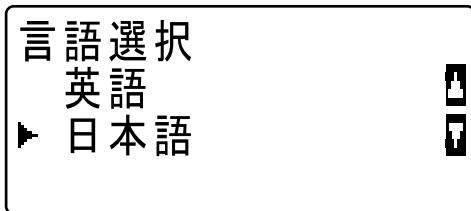
2

【▲】【▼】で「言語選択」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「英語」「日本語」のいずれかを選択し、
【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

6.4 トレイ設定

トレイ設定では各トレイに関する設定を変更できます。

<トレイ設定の項目>

No.	トレイ設定	内容
1	用紙単位設定	トレイごとに、用紙サイズの単位を設定します。A4、B5などのセンチ系用紙（メトリックサイズ）か、Letterなどのインチ系用紙かを選択します。適切に設定しておかないと、用紙サイズが自動検出されません。 ・工場出荷時の設定は「メトリック」です。
2	トレイ 1 用紙種類	第1トレイにセットする用紙のサイズと種類を設定します。用紙サイズは「自動設定」「サイズ入力」「ハガキ」「登録1／2」から選択し、「サイズ入力」を選択した場合は用紙サイズを入力します。用紙種類は「普通紙」「OHP フィルム」「厚紙」「封筒／ハガキ」から選択します。 ・工場出荷時の設定は「自動設定」「普通紙」です。
3	特殊紙	使用する用紙の種類にあわせて、各トレイを自動用紙選択／オートトレイチェンジの対象とするかしないかを設定できます。用紙の種類（「普通紙」「再生紙」「専用紙」）に応じて自動用紙選択／オートトレイチェンジの組み合わせが選択できます。 特殊紙をトレイにセットした場合は、「普通紙」「専用紙」「再生紙」の設定が必要です。 「普通紙」：自動用紙選択可能、オートトレイチェンジ可能 「再生紙」：自動用紙選択不可、オートトレイチェンジ可能 「専用紙」：自動用紙選択不可、オートトレイチェンジ不可 ・工場出荷時の設定は「普通紙」です。

■ トレイ設定メニューを選択する

1

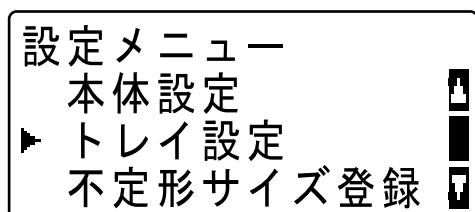
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。



トレイ設定画面が表示されます。

3

【▲】【▼】でトレイ設定メニューを選択し、【OK】を押します。

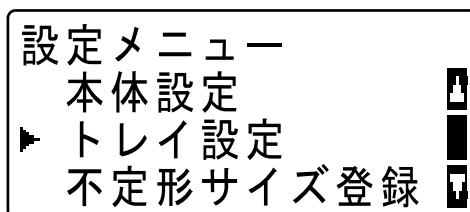
○トレイ設定メニューは次のとおりです。

- 用紙単位設定
- トレイ 1 用紙種類
- 特殊紙

■ 用紙サイズの単位を設定する

1

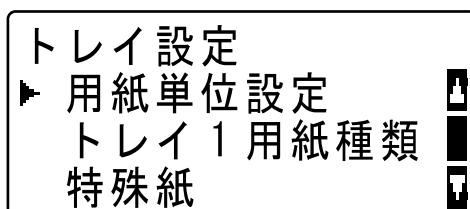
トレイ設定メニューを選択します。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 6-20) をごらんください。

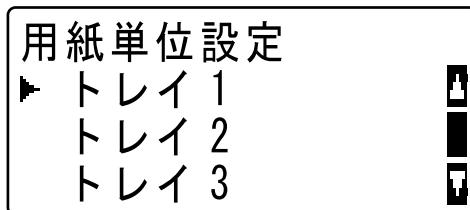
2

【▲】【▼】で「用紙単位設定」を選択し、【OK】を押します。



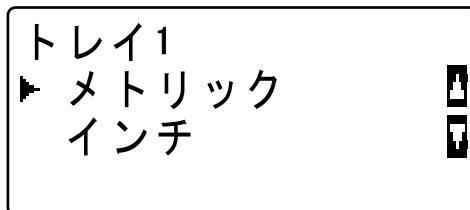
3

【▲】【▼】で設定するトレイを選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「メトリック」「インチ」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

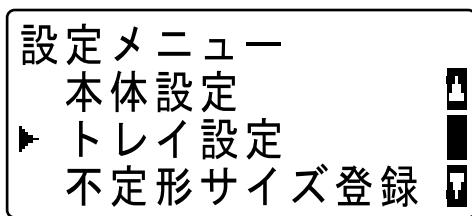


トレイ設定メニューに戻ります。

■ 第1トレイ用紙の設定をする

1

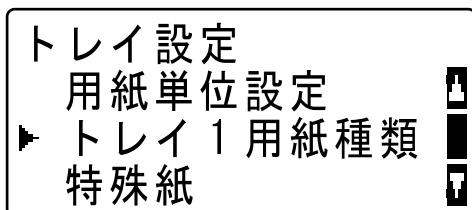
トレイ設定メニューを選択します。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 6-20) をごらんください。

2

【▲】【▼】で「トレイ1用紙種類」を選択し、【OK】を押します。

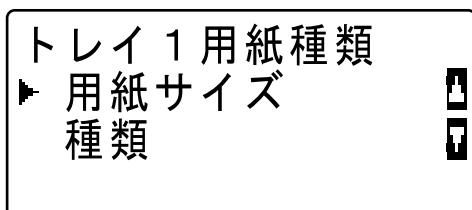


用紙サイズの種類を設定する場合は、手順3に進みます。

用紙種類を設定する場合は、手順5に進みます。

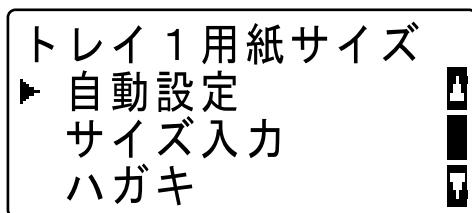
3

【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



4

- 【▲】【▼】で「自動設定」「サイズ入力」「ハガキ」「登録 1／2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



- 「サイズ入力」を選択した場合は、次の画面で X、Y の長さをテンキーで入力し、【OK】を押します。

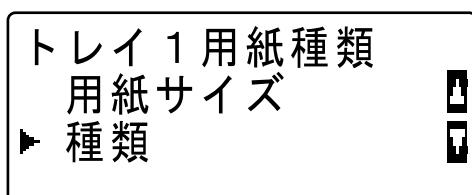


ひとこと

「登録 1／2」では、「不定形サイズ登録」で登録した「登録サイズ 1／2」をそれぞれ選択できます。不定形サイズの登録方法については、「不定形サイズ登録」(p. 6-25)をごらんください。

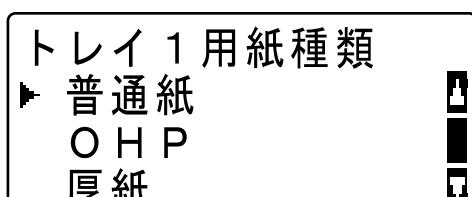
5

- 【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



6

- 【▲】【▼】で用紙の種類を選択し、【OK】を押します。

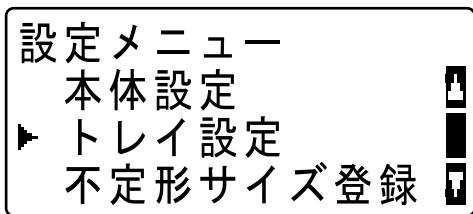


トレイ設定メニューに戻ります。

■ トレイの特殊紙設定をする

1

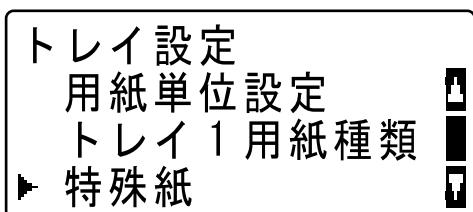
トレイ設定メニューを選択します。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 6-20) をごらんください。

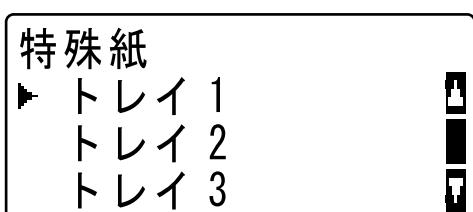
2

【▲】【▼】で「特殊紙」を選択し、【OK】を押します。



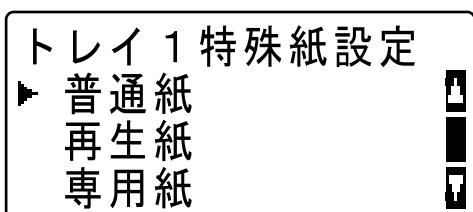
3

【▲】【▼】で設定するトレイを選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で特殊紙の種類を選択し、【OK】を押します。



トレイ設定メニューに戻ります。

6.5 不定形サイズ登録

不定形サイズ登録ではよく使う不定形サイズを2つまで登録できます。ここで登録された不定形サイズは、設定メニューの「トレイ設定」-「トレイ1用紙種類」-「用紙サイズ」でトレイ1の用紙サイズを設定するときに選択できます。

<不定形サイズ登録の項目>

No.	不定形サイズ登録	内容
1	登録サイズ1	よく使う用紙サイズを登録して、用紙サイズ設定の際に呼び出すことができます。 登録できるサイズは、 長さ方向：140mm～432mm 幅方向：90mm～297mm です。
2	登録サイズ2	

■ 不定形サイズを登録する

1

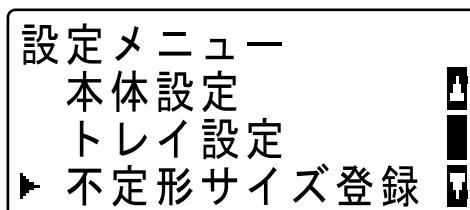
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「不定形サイズ登録」を選択し、【OK】を押します。

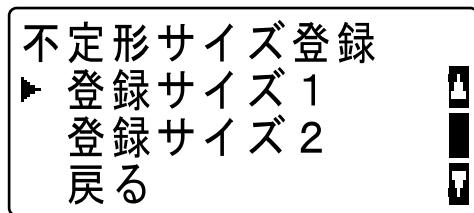


不定形サイズ登録画面が表示されます。

6

3

【▲】【▼】で登録する番号を選択し、【OK】を押します。



4

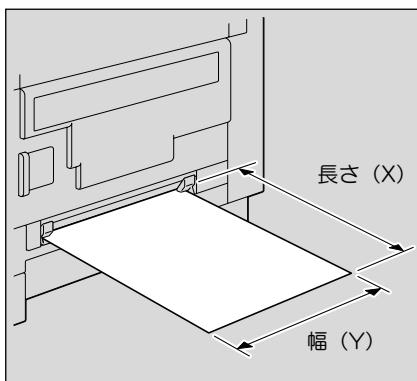
テンキーで長さ（X）を入力し、【OK】を押します。

ユーザー登録サイズ1
X=210(140-432) x
Y=297(90-297) y □ *



- 用紙の長さ（X）は 140mm から 432mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

○ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



5

テンキーで幅（Y）を入力し、【OK】を押します。

ユーザー登録サイズ1
X=210(140-432) x
Y=297(90-297) y □ *



- 用紙の幅（Y）は 90mm から 297mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

不定形サイズ登録画面に戻ります。

6.6 ユーザー保守

ユーザー保守では本機の機能低下を防ぐための保守動作を実行できます。

<ユーザー保守の項目>

No.	ユーザー保守	内容
1	ドラムドライ	室内温度が急激に変化した場合（とくに冬場の暖房使用時など）や湿度が高い場合に、本機内部の感光体の表面に結露が発生し、画像が不鮮明になってしまうことがあります。このような場合は、結露を除去するためにドラムドライ（露とり）機能を使用します。ドラムドライが終了するまで、約3分かかります。
2	トナー補給	黒い部分の多い原稿（写真など）やネガポジ反転コピーなどを多量にコピー／プリントした場合、トナーの自動供給機能が追いつかず、一時的に濃度が薄くなってしまうことがあります。このような場合に強制トナー補給機能を使うと、すぐにもとの濃度に戻すことができます。

■ ドラムドライ（露とり）

1

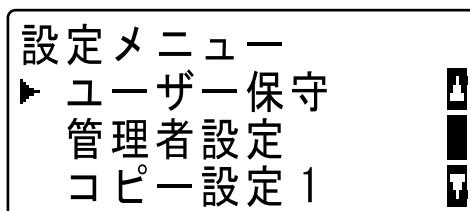
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

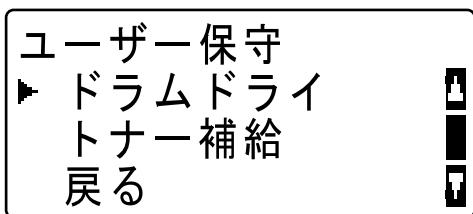
【▲】【▼】で「ユーザー保守」を選択し、【OK】を押します。



ユーザー保守メニューが表示されます。

3

【▼】【▲】で「ドラムドライ」を選択し、【OK】を押します。



ドラムドライが開始され、ユーザー保守メニューに戻ります。

■ トナー補給

1

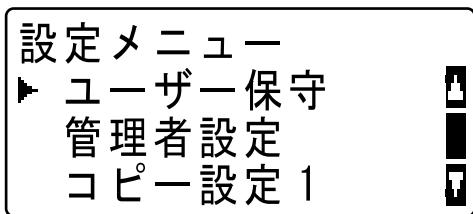
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

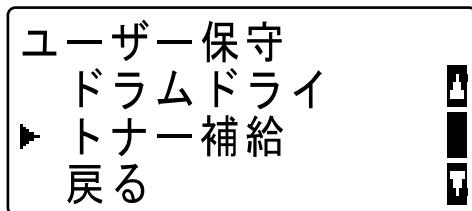
【▲】【▼】で「ユーザー保守」を選択し、【OK】を押します。



ユーザー保守メニューが表示されます。

3

【▼】【▲】で「トナー補給」を選択し、【OK】を押します。



トナー補給中に電源を OFF
にしたり、本機の前扉を開けたりしないでください。

ひとこと

トナーの濃度が十分である場合は、トナー補給は行われません。

トナー補給が開始され、ユーザー保守メニューに戻ります。

6

6.7 管理者設定

管理者設定は、本機を管理する方が使いになるモードです。管理者設定を選択した場合、管理者番号を入力する必要があります。

<管理者設定の項目>

No.	管理者設定	内容
1	管理者番号の変更	現在設定されている管理者番号を、別の番号に変更できます。
2	オートパワー オフ	本体設定でのオートパワーオフ設定を、「しない」にできる（「許可」）か、できない（「禁止」）かを選択できます。 ・工場出荷時の設定は「許可」です。
3	部門管理設定	部門ごとに管理するための設定をします。50部門まで管理できます。 ・部門管理をする／しない ・部門番号の登録 ・部門番号の変更／削除 ・部門別トータルカウンタ表示／カウンタ消去 ・部門別トータルカウンタをすべて消去
4	ネットワーク 設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 ネットワーク接続に必要な設定をします。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。
5	メール送信設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 Scan To E-mail などに必要な設定をします。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。
6	メール受信設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 POP BEFORE SMTP で認証を行う場合に設定します。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。
7	LDAP 設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 LDAP サーバーに登録されている相手先を、検索するための設定を行います。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

ひとこと

管理者番号の登録と設定について、サービス実施店にお問い合わせください。



本機を管理する方は、管理者番号を忘れないでください。

No.	管理者設定	内容
8	ユーザー設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 NTP サーバーおよびタイムゾーンの設定をします。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

■ 管理者設定を選択する

1

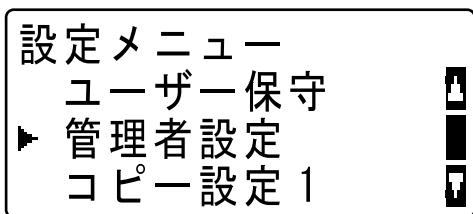
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

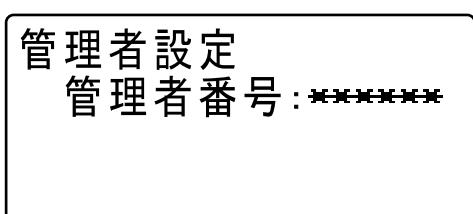
2

【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3

テンキーで管理者番号を入力し【OK】を押します。



詳しく説明します

- ・ 数値を訂正するときは、
【クリア / ストップ】を押
して入力しなおします。

管理者設定画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で管理者設定メニューを選択し、【OK】を押します。

- 管理者設定メニューは次のとおりです。

管理者番号の変更
オートパワーオフ
部門管理設定
ネットワーク設定
メール送信設定
メール受信設定
LDAP 設定
ユーザー設定

ひとこと

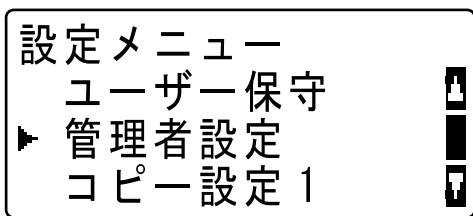
「ネットワーク設定」「メール送信設定」「メール受信設定」「LDAP 設定」「ユーザー設定」は、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合に表示されます。

6

■ 管理者番号を変更する

1

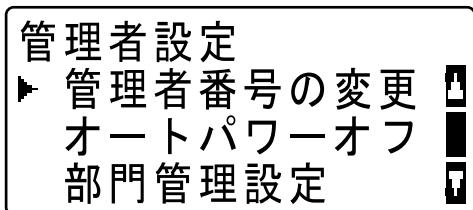
管理者設定を選択します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をご覧ください。

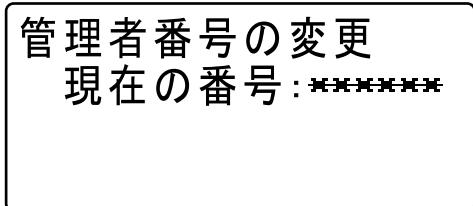
2

【▲】【▼】で「管理者番号の変更」を選択し、【OK】を押します。



3

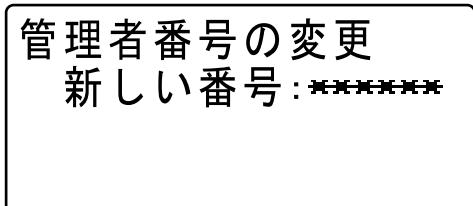
テンキーで現在の管理者番号を入力し【OK】を押します。



数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

4

テンキーで新しい管理者番号を入力し【OK】を押します。



5

確認のため、再度新しい管理者番号を入力し、【OK】を押します。

管理者番号の変更
番号の確認 : *****

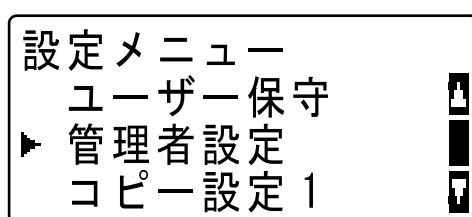
管理者設定メニューに戻ります。

6

■ オートパワーオフ「しない」を選択できるようにする

1

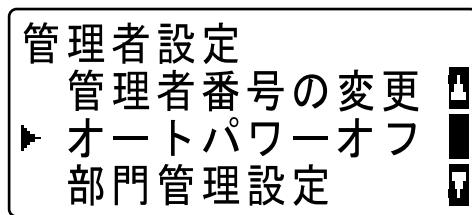
管理者設定を選択します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をごらんください。

2

【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



3

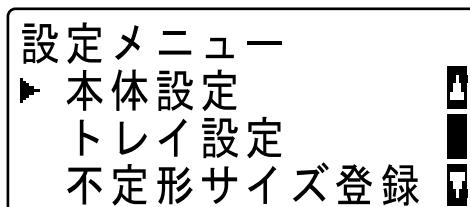
【▲】【▼】で「許可」を選択し、【OK】を押します。



管理者設定メニューに戻ります。

4

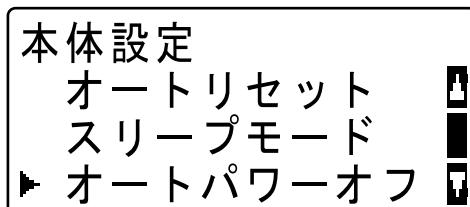
設定メニュー画面で本体設定を選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 6-7) をごらんください。

5

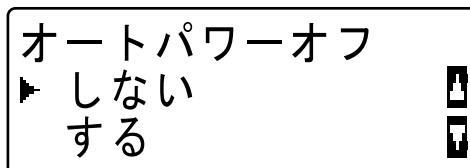
【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



6

6

【▲】【▼】で「しない」を選択し、【OK】を押します。

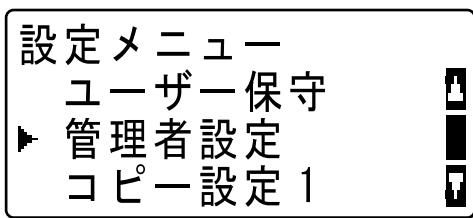


本体設定メニューに戻ります。

■ ID（部門）管理の設定をする

1

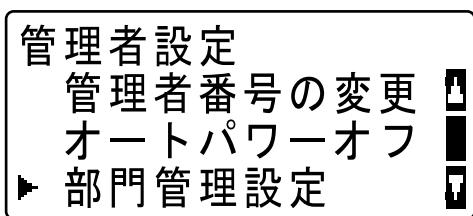
管理者設定を選択します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をごらんください。

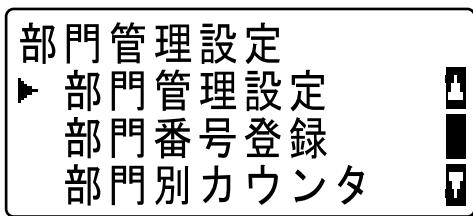
2

【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



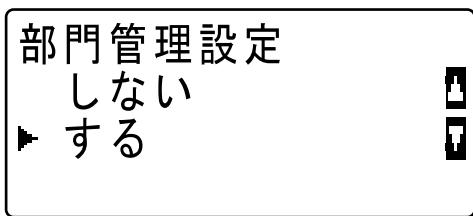
3

【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



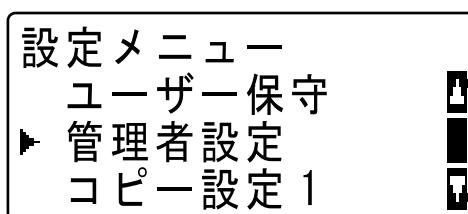
部門管理設定画面に戻ります。

■ ID（部門）を登録する

部門番号を登録します。部門番号は、50 部門まで登録できます

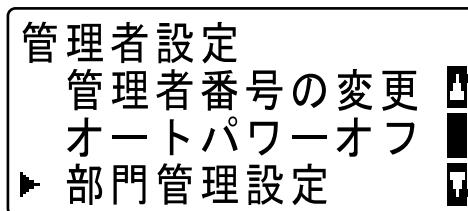
1

管理者設定を選択します。



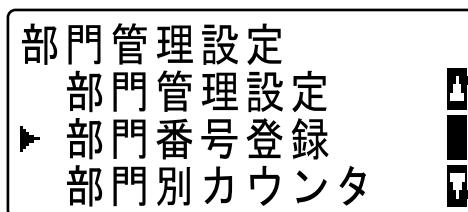
2

【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



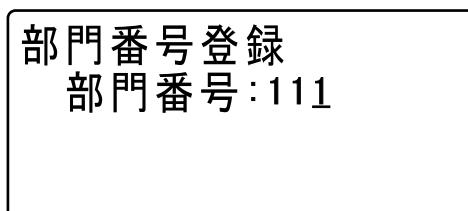
3

【▲】【▼】で「部門番号登録」を選択し、【OK】を押します。



4

テンキーで部門番号を入力し、【OK】を押します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をご覧ください。

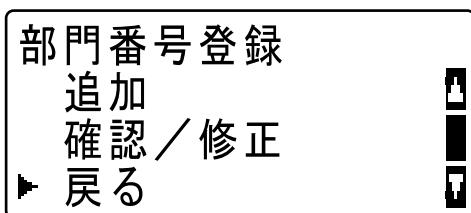


詳しく説明します

- ・ID（部門）番号は3桁で設定します。
- ・数値を訂正する場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

5

【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



ひとこと

「追加」を選択すると、続けてID(部門)番号を登録できます。

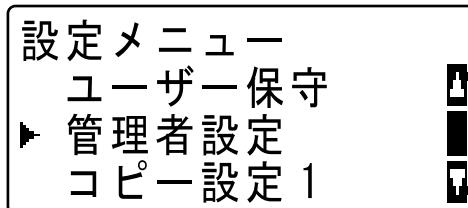
ID(部門)番号の登録が50部門を超えた場合、「50部門を超えました」のメッセージが表示されます。

部門管理設定画面に戻ります。

■ ID（部門）を変更／削除する

1

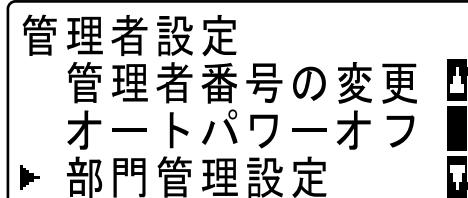
管理者設定を選択します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をご覧ください。

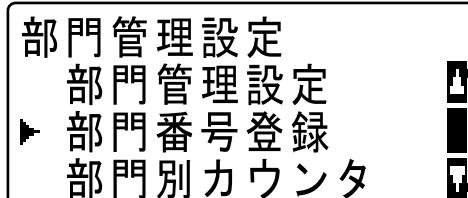
2

【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



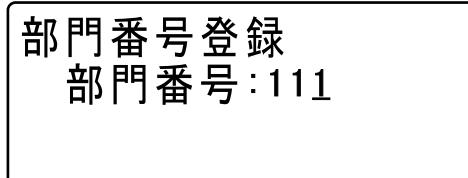
3

【▲】【▼】で「部門番号登録」を選択し、【OK】を押します。



4

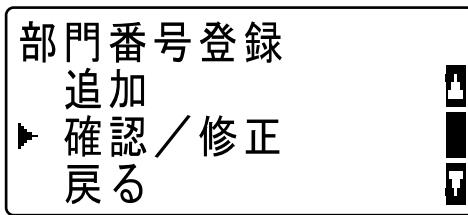
テンキーで変更または削除する番号を入力し、【OK】を押します。



- ・ID（部門）番号は3桁で設定します。
- ・数値を訂正する場合は、【クリア/ストップ】を押して入力しなおします。

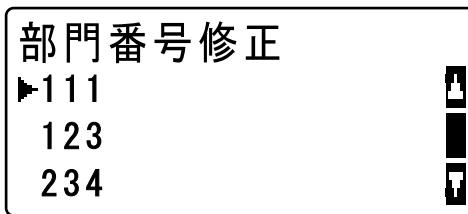
5

【▲】【▼】で「確認／修正」を選択し、【OK】を押します。



6

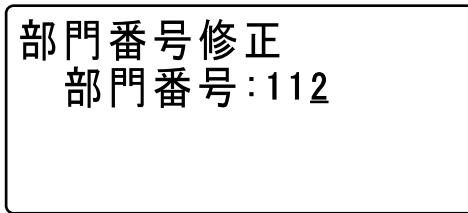
【▲】【▼】で変更または削除する番号を選択します。



- 番号を変更する場合は、【OK】を押し、次の手順に進みます。
- 番号を削除する場合は、【クリア / ストップ】を押し、出てくる画面で「する」を選択します。

7

テンキーで新しい番号を入力し、【OK】を押します。



入力したID（部門）番号が既に登録されている場合は「登録済みです」と表示されます。

- 続けて次の番号を変更／削除する場合は、手順 6、7 を繰り返します。

8

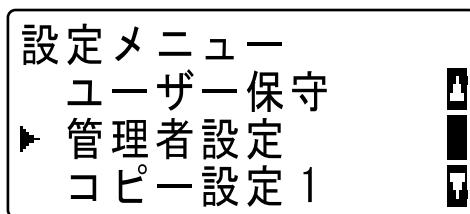
すべての変更／削除が終了したら、【戻る】を3回押します。

管理者設定メニューに戻ります。

■ ID（部門）別カウンタを表示／消去する

1

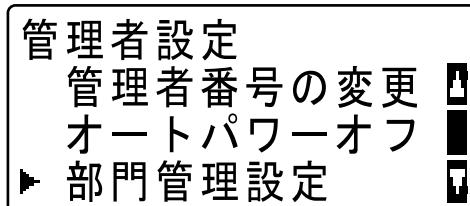
管理者設定を選択します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をご覧ください。

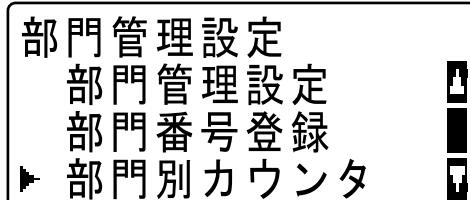
2

【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



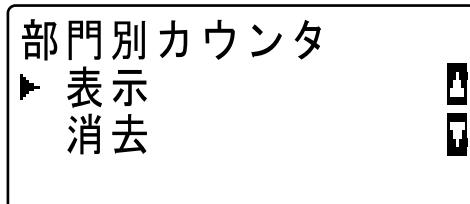
3

【▲】【▼】で「部門別カウンタ」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「表示」を選択し、【OK】を押します。



5

【▲】【▼】またはテンキーで表示する部門番号を入力し、【OK】を押します。

部門別カウンタ表示
部門番号:---

▲▼または10キーで入力

選択したID（部門）のトータルカウンタが表示されます。

6

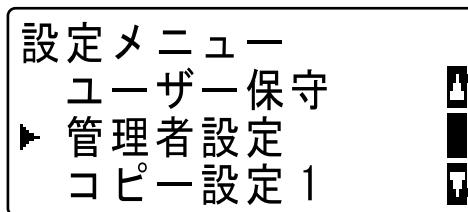
表示されているカウンターを消去する場合は、【クリア／ストップ】を押します。

選択したID（部門）のトータルカウンタが消去されます。

■ ID（部門）別カウンタをすべて消去する

1

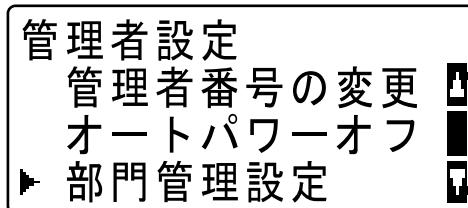
管理者設定を選択します。



「管理者設定を選択する」
(p. 6-32) をご覧ください。

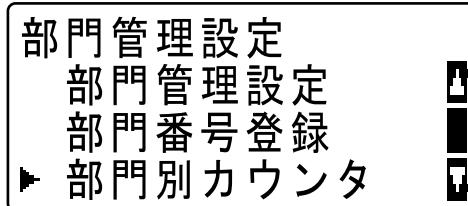
2

【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



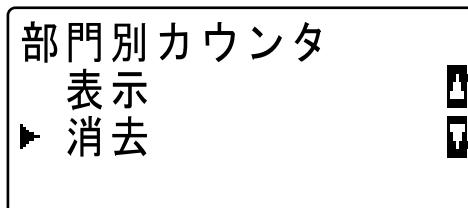
3

【▲】【▼】で「部門別カウンタ」を選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「消去」を選択し、【OK】を押します。



部門別カウンタ画面に戻ります。

6.8 コピー設定 1

電源を入れたときまたは「リセット」を押したときの設定を初期モードと呼びます。コピー設定 1、2 では、各種コピー機能の初期モードの設定を変更できます。

<コピー設定 1 の項目>

No.	コピー設定 1	内容
1	優先トレイ	自動倍率選択時、優先的に選択されるトレイを設定できます。 ・工場出荷時の設定は「トレイ 1」です。
2	優先画質	電源オン時やリセット時の画質を「文字」、「写真」「文字／写真」の中から設定できます。 ・工場出荷時の設定は「文字／写真」です。
3	優先濃度	電源オン時やリセット時の濃度を「自動設定」「手動設定」から設定できます。 ・工場出荷時の設定は「自動設定」です。
4	優先濃度レベル（自動）	自動濃度モード時の濃度レベル設定を 3 段階で設定できます。 ・工場出荷時の設定は  です。
5	優先濃度レベル（手動）	手動濃度モード時の濃度レベル設定を 9 段階で設定できます。 ・工場出荷時の設定は  です。
6	ブックとじ位置	ブック原稿を読み込む場合に、最初に読み込むページが左ページ（左とじ）か右ページ（右とじ）かを設定できます。 ・工場出荷時の設定は「左」です。
7	とじ代設定	用紙にとじ代（余白）をつくるとコピーするときのとじ代の幅を 0 mm ~ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 ・工場出荷時の設定は 10 mm です。
8	枠消し設定	枠／折目消しコピー時、左、上、周囲のイレース幅をそれぞれ 5 mm ~ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 ・工場出荷時の設定は、「左」、「上」、「周囲」ともに 10 mm です。
9	小サイズ原稿許可	用紙サイズが自動検出されない小さな原稿をセットした場合にコピー禁止するか許可するかを設定できます。 ・工場出荷時の設定は「禁止」です。

■ コピー設定 1 を選択する

1

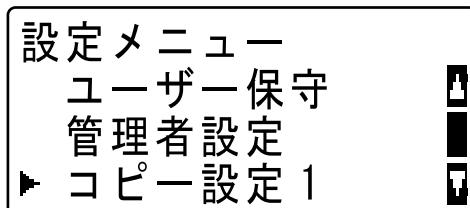
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「コピー設定 1」を選択し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューが表示されます。

3

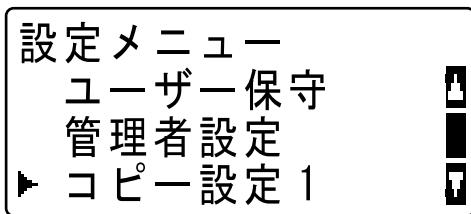
【▲】【▼】でコピー設定 1 メニューを選択し、【OK】を押します。

- コピー設定 1 メニューは次のとおりです。
 - 優先トレイ
 - 優先画質
 - 優先濃度
 - 優先濃度レベル（自動）
 - 優先濃度レベル（手動）
 - ブックとじ位置
 - とじ代設定
 - 枠消し設定
 - 小サイズ原稿許可

■ 優先トレイの設定をする

1

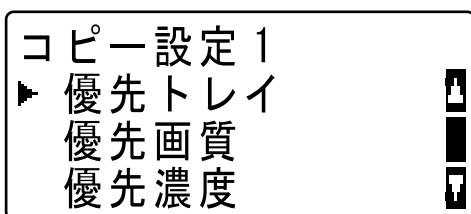
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

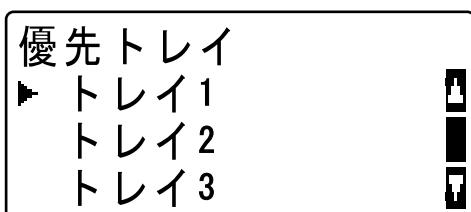
2

【▲】【▼】で「優先トレイ」を選択し、【OK】を押します。



3

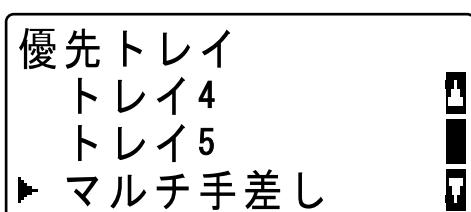
【▲】【▼】で優先して使用されるトレイを選択し、
【OK】を押します。



ひとこと

優先用紙に設定したトレイと同じサイズ、種類の用紙をセットしたトレイが複数ある場合に、これらのトレイの用紙をすべて使いきると、優先用紙設定をしていないトレイに用紙を補給するようメッセージが表示されることがあります。そのときは画面の表示にしたがって用紙を補給してください。

○マルチ手差しトレイを装着しているときは次の画面が表示されます。

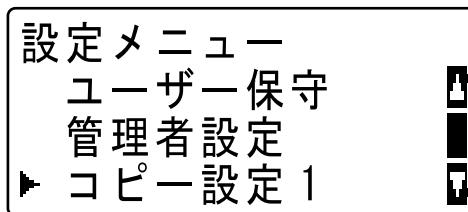


コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 優先画質の設定をする

1

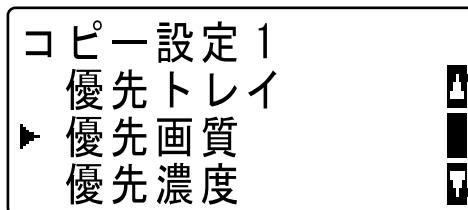
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

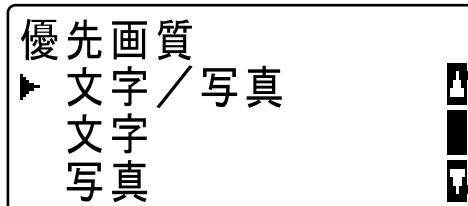
2

【▲】【▼】で「優先画質」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で優先して使用する画質を選択し、【OK】を押します。

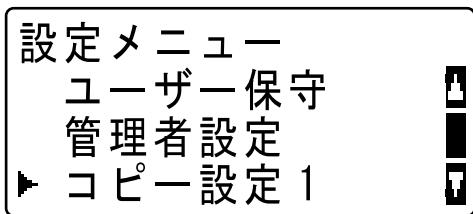


コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 優先濃度の設定をする

1

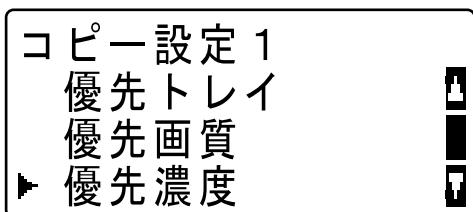
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をごらんください。

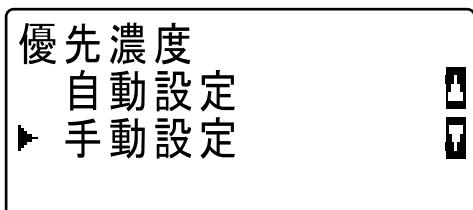
2

【▲】【▼】で「優先濃度」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「自動設定」「手動設定」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

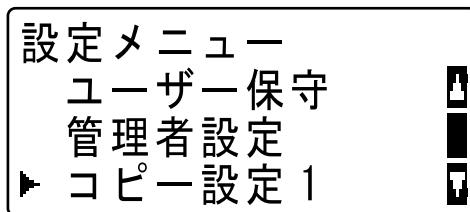


コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 優先濃度レベル（自動）の設定をする

1

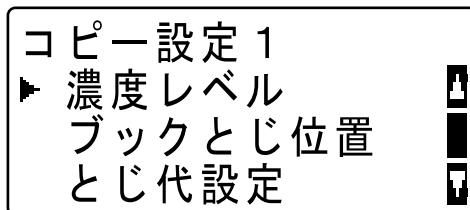
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

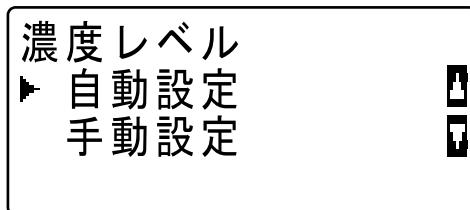
2

【▲】【▼】で「濃度レベル」を選択し、【OK】を押します。



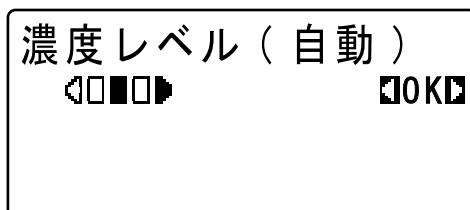
3

【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



4

【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。

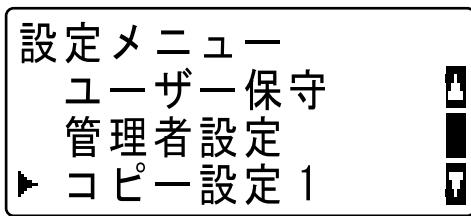


コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 優先濃度レベル（手動）の設定をする

1

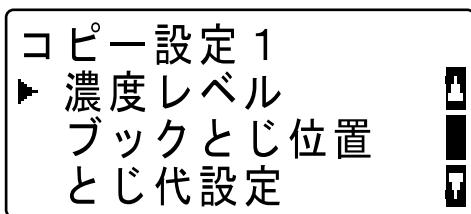
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

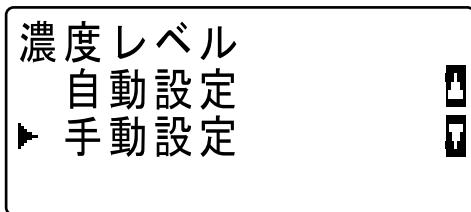
2

【▲】【▼】で「濃度レベル」を選択し、【OK】を押します。



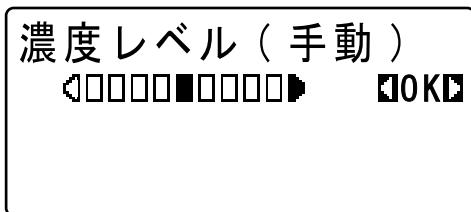
3

【▲】【▼】で「手動設定」を選択し、【OK】を押します。



4

【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。

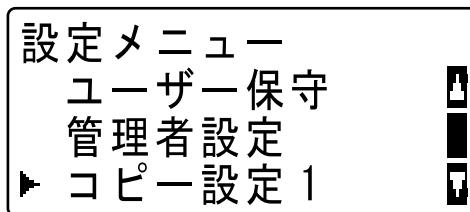


コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ ブックとじ位置を選択する

1

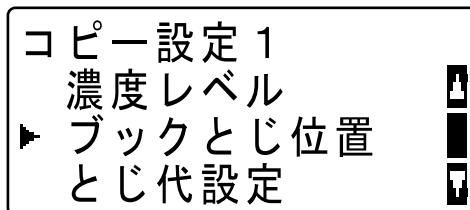
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

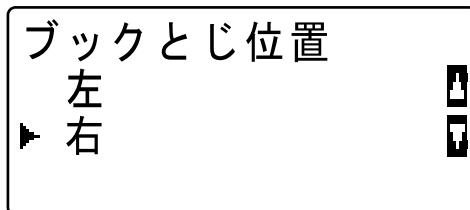
2

【▲】【▼】で「ブックとじ位置」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「左」「右」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

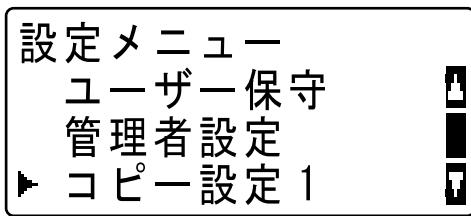


コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ とじ代幅の調整をする

1

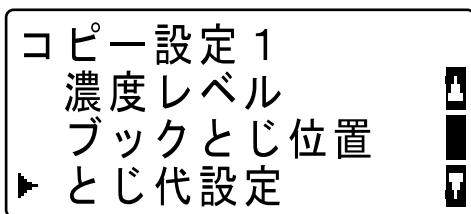
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

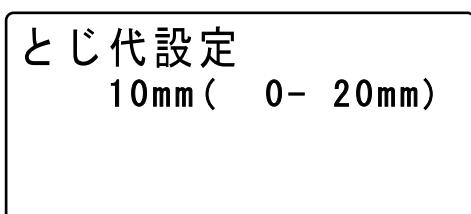
2

【▲】 【▼】 で「とじ代設定」を選択し、【OK】を押します。



3

テンキーでとじ代幅を入力し、【OK】を押します。



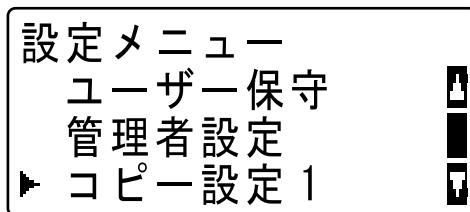
- ・とじ代幅は 0 mm ~ 20 mm の範囲で設定します。
- ・数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、テンキーで入力しなおします。

コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ イレース幅の調整をする

1

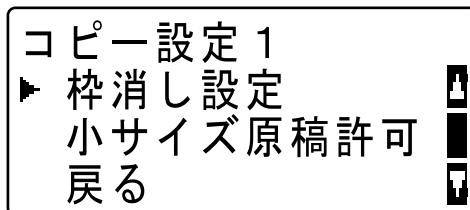
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

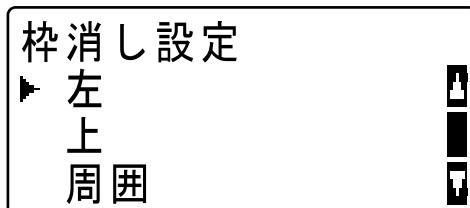
2

【▲】【▼】で「枠消し設定」を選択し、【OK】を押します。



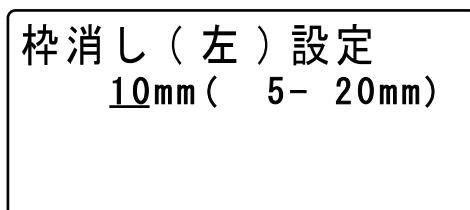
3

【▲】【▼】で「左」「上」「周囲」のいずれかを選択し、
【OK】を押します。



4

テンキーでイレース幅を入力し、【OK】を押します。



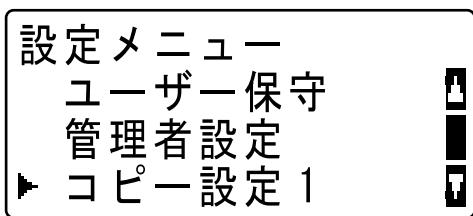
- ・イレース幅は 5 mm ~ 20 mm の範囲で設定します。
- ・数値を訂正したい場合は、
【クリア / ストップ】を押し、
テンキーで入力しなおします。

コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 小サイズ原稿の設定をする

1

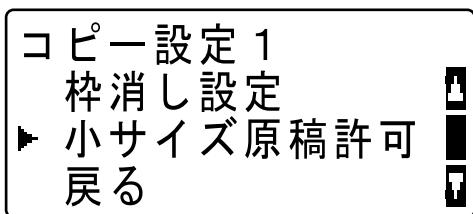
コピー設定 1 を選択します。



「コピー設定 1 を選択する」
(p. 6-47) をご覧ください。

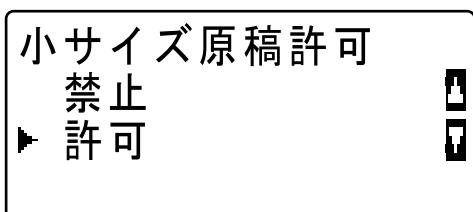
2

【▲】【▼】で「小サイズ原稿許可」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「許可」「禁止」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。

6.9 コピー設定 2

<コピー設定 2 の項目>

No.	コピー設定 2	内容
1	優先コピー モード	電源オン時やリセット時のコピーモード選択方法を、自動用紙、自動倍率、手動から設定できます。 ・工場出荷時の設定は「自動用紙選択」です。
2	優先仕上り	電源オン時やリセット時に優先される仕上りモードを「ノンソート」「ソート」「グループ」から設定できます。 ・工場出荷時の設定は「ノンソート」です。
3	4in1 ページ 順	4in1 モードでのコピー順序を次の 2 つから設定できます。 パターン 1 パターン 2  ・工場出荷時の設定は「パターン 1」です。
4	優先原稿混載	電源オン時やリセット時に混載原稿モードを選択するかどうかを設定できます。 オプションの自動原稿送り装置を装着している場合のみ設定できます。 ・工場出荷時の設定は「OFF」です。
5	交互排紙許可	交互排紙の条件が満たされている場合に、交互排紙するかしないかを設定できます。 ・工場出荷時の設定は「する」です。

■ コピー設定 2 を選択する

1

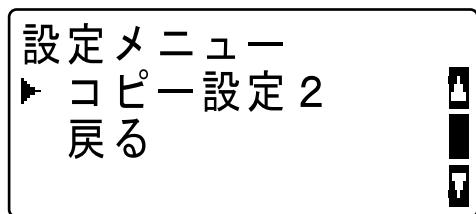
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「コピー設定 2」を選択し、【OK】を押します。



コピー設定 2 メニューが表示されます。

3

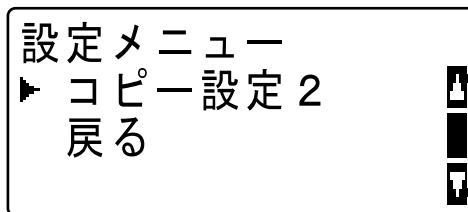
【▲】【▼】でコピー設定 2 メニューを選択し、【OK】を押します。

- コピー設定 2 メニューは次のとおりです。
 - 優先コピーモード
 - 優先仕上り
 - 4in1 ページ順
 - 優先原稿混載
 - 交互排紙許可

■ 優先コピーモードの設定をする

1

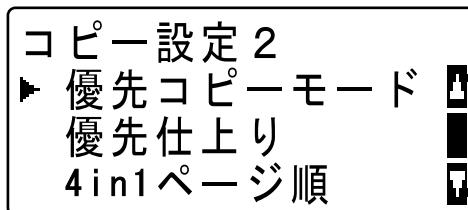
コピー設定 2 を選択します。



「コピー設定 2 を選択する」
(p. 6-58) をご覧ください。

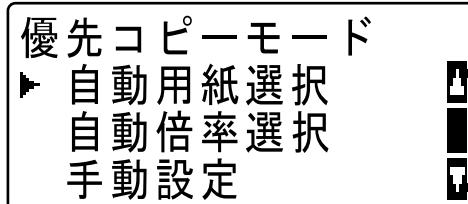
2

【▲】【▼】で「優先コピーモード」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「自動用紙選択」「自動倍率選択」「手動設定」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

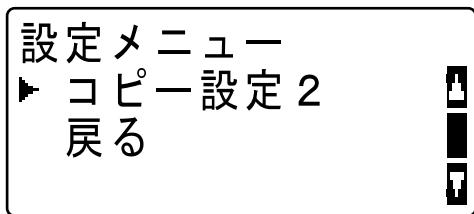


コピー設定 2 メニューに戻ります。

■ 優先仕上りの設定をする

1

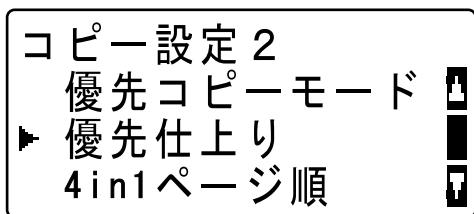
コピー設定 2 を選択します。



「コピー設定 2 を選択する」
(p. 6-58) をご覧ください。

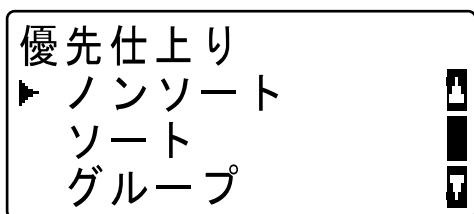
2

【▲】【▼】で「優先仕上り」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「ノンソート」「ソート」「グループ」を選択し、【OK】を押します。

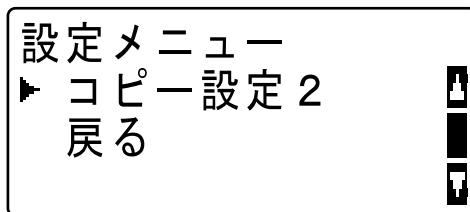


コピー設定 2 メニューに戻ります。

■ 4in1 ページ順の設定をする

1

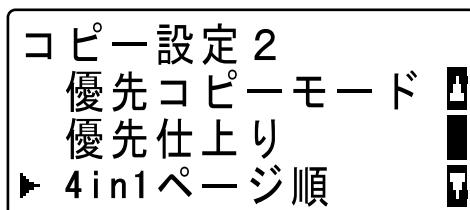
コピー設定 2 を選択します。



「コピー設定 2 を選択する」
(p. 6-58) をごらんください。

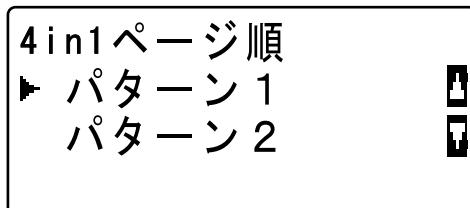
2

【▲】【▼】で「4in1 ページ順」を選択し、【OK】を押します。

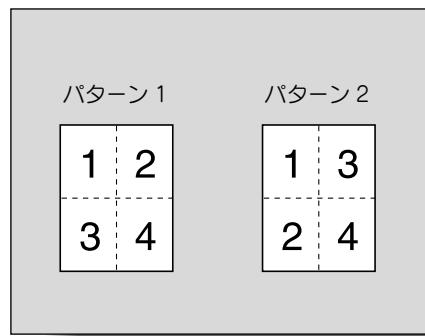


3

【▲】【▼】で「パターン 1」「パターン 2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



パターン 1、パターン 2 のページの並びは、それぞれ
次の通りです。

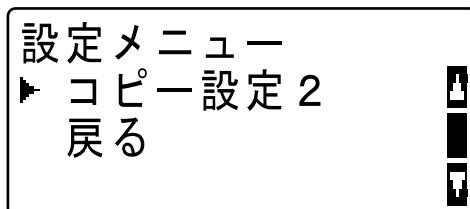


コピー設定 2 メニューに戻ります。

■ 優先原稿混載の設定をする

1

コピー設定 2 を選択します。



ひとこと

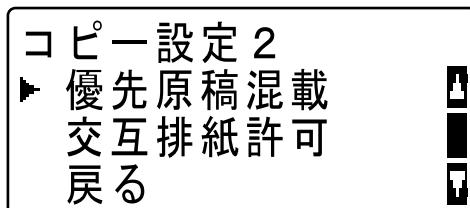
オプションの自動原稿送り装置を装着している場合のみ設定できます。



「コピー設定 2 を選択する」(p. 6-58) をごらんください。

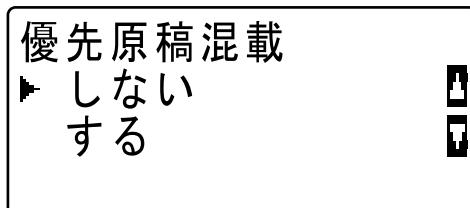
2

【▲】【▼】で「優先原稿混載」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

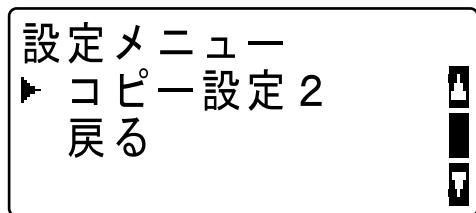


コピー設定 2 メニューに戻ります。

■ 交互排紙の設定をする

1

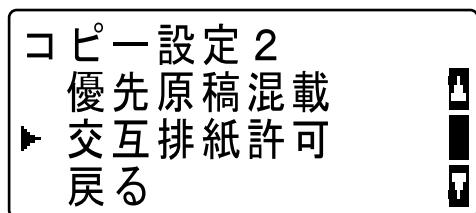
コピー設定 2 を選択します。



「コピー設定 2 を選択する」
(p. 6-58) をごらんください。

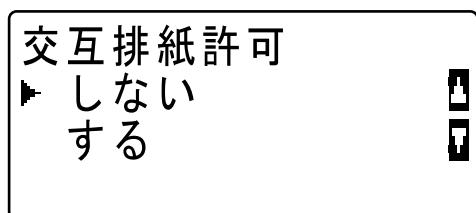
2

【▲】【▼】で「交互排紙許可」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、
【OK】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。

第7章 こんなメッセージが 表示されたら

トナー交換などのメッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

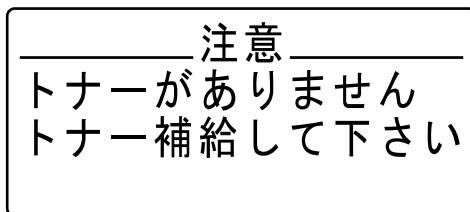
7.1	「トナーがありません」と表示されたら	7-2
7.2	「用紙が詰まりました」が表示されたら	7-6
7.3	「原稿が詰まりました」が表示されたら	7-19
7.4	主なメッセージと処置のしかた	7-23

7.1 「トナーがありません」と表示されたら

トナーが残り少なくなると以下のメッセージが表示されます。
メッセージが表示されたら、新しいトナーボトルと交換してください。



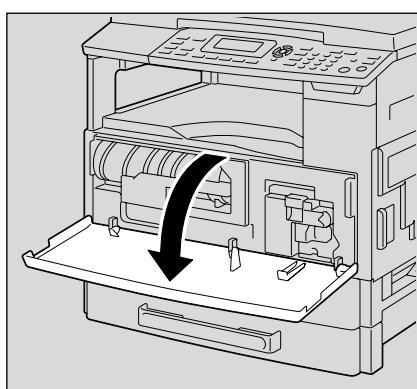
トナーボトルは、必ず本機専用のトナーボトルを使用してください。それ以外のトナーボトルを使用すると故障の原因となります。詳しくはサービス実施店にお尋ねください。



■ トナー補給のしかた

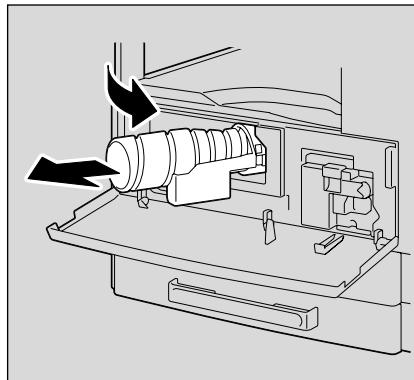
1

前扉を開きます。



2

トナーボトルホルダーを手前に開き、トナーボトルを引き抜きます。

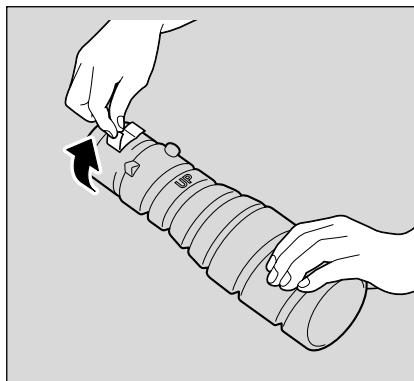


必ずやめてください

使用済みのトナーボトルはサービス実施店が回収します。捨てずに個装箱にいれて保管してください。

3

新しいトナーボトルのシール部を上に向けてから、手前方向にゆっくりシールをはがします。



必ずやめてください

シールをはがすときは、トナーが吹き出るおそれがあるので、ゆっくりはがしてください。

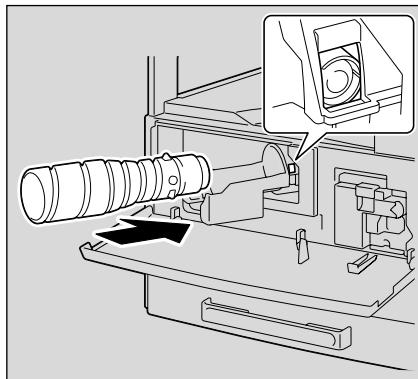
7

7.1 「トナーがありません」と表示されたら

4

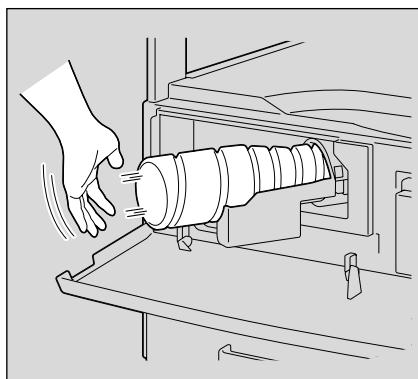
トナー ボトルの UP 表示部を上に向けて、トナー ボトル ホルダーに差し込みます。

- 下図のように、トナー ボトルの凸部をトナー ボトル ホルダーの凹部にしっかりと差し込んでください。



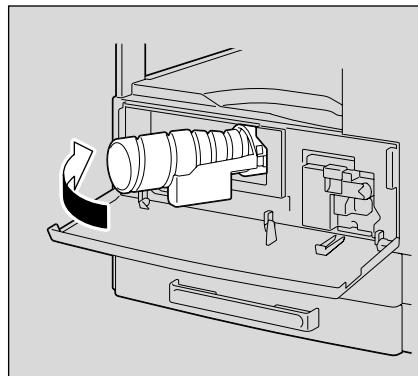
5

トナー ボトルの底を軽く 3 回～4 回たたきます。



6

トナーボトルホルダーを閉じ、前扉を閉じます。



ひとこと

前扉を閉じると、自動的にトナー補給を開始します。

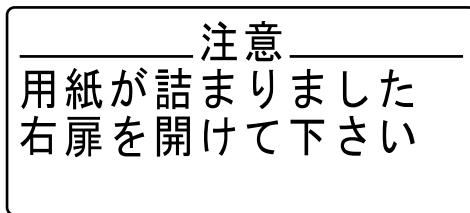
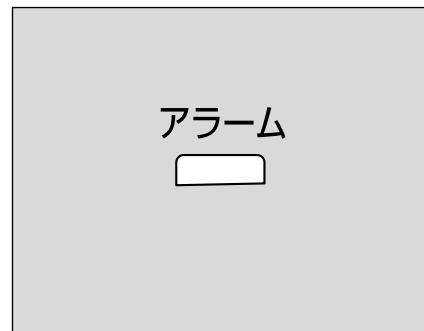
詳しく説明します

トナーボトルの交換直後でコピーが薄い場合は、設定メニューでトナー補給を行ってください。詳しくは「トナー補給」(p. 6-28)をごらんください。

7

7.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

コピー／プリント中に紙詰まりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、コピー／プリントは停止されます。



紙詰まりの場所を示すメッセージが、ディスプレイ下行に表示されます。

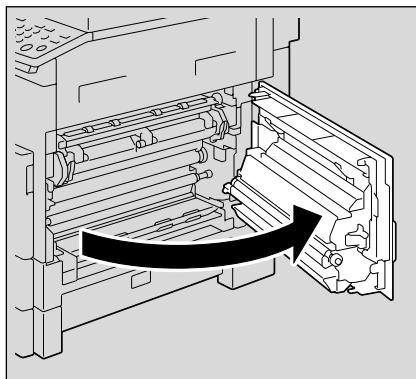
メッセージ	紙詰まりの場所
右扉を開けて下さい	<ul style="list-style-type: none">・マルチ手差しトレイ (p. 7-16)・本機内部、第1トレイ (p. 7-7)
右扉2を開けて下さい	第2トレイ (p. 7-13)
右扉3を開けて下さい	第3トレイ (p. 7-13)
右扉4を開けて下さい	第4トレイ (p. 7-13)
右扉5を開けて下さい	第5トレイ (p. 7-13)

以下の手順にしたがって、紙詰まりした用紙をすべて取り除いてください。

■ 本機内部／第1トレイでの紙づまり処理のしかた

1

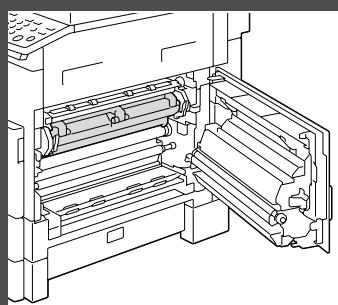
本機の右扉を開きます。



⚠ 注意

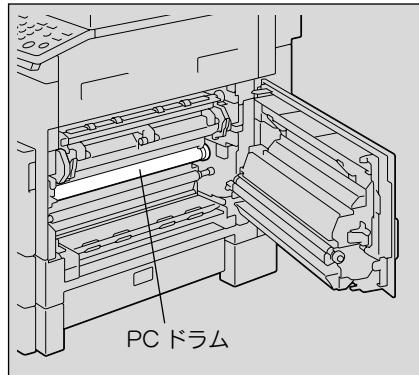


定着部周辺は高温になっています。
やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



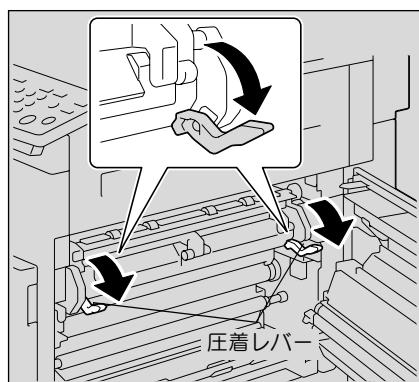
7.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

- PC ドラムの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。
PC ドラムの表面に触れないように注意してください。



2

定着部の圧着レバーを解除します。

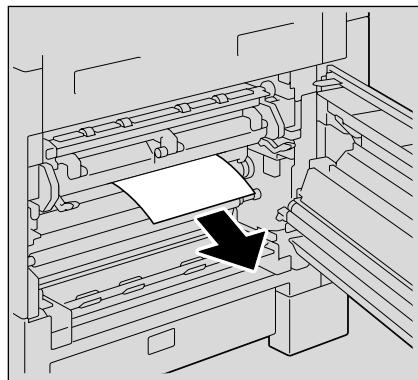


必ず守ってください

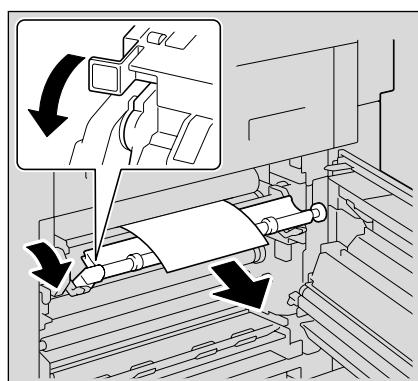
圧着レバーの解除は、レバーのグリーン部を持って行ってください。

3

用紙をゆっくり引き抜きます。

**4**

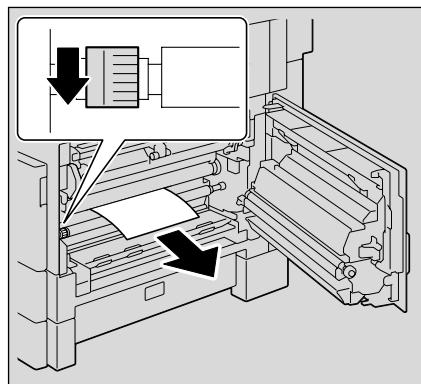
ガイド板を押し下げながら、用紙をゆっくり引き抜きます。



7.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

5

ローラー部のツマミを矢印方向に回しながら、用紙を
ゆっくり引き抜きます。

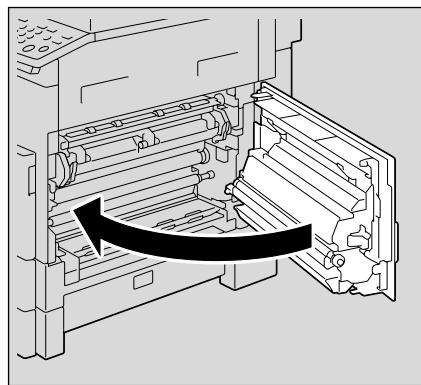


必ず守ってください

- ・ローラーを回すときは、必ずグリーンのツマミを回してください。
- ・PC ドラムの表面に触れないように注意してください。

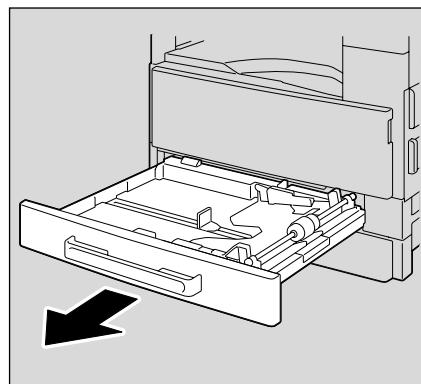
6

本機の右扉を閉じます。



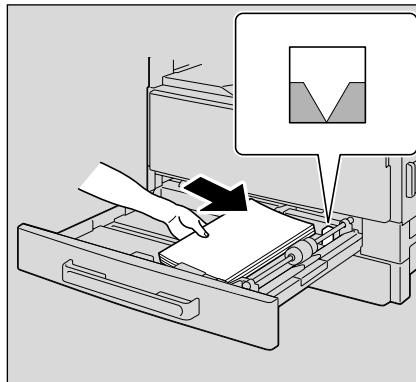
7

第 1 トレイを引き出します。



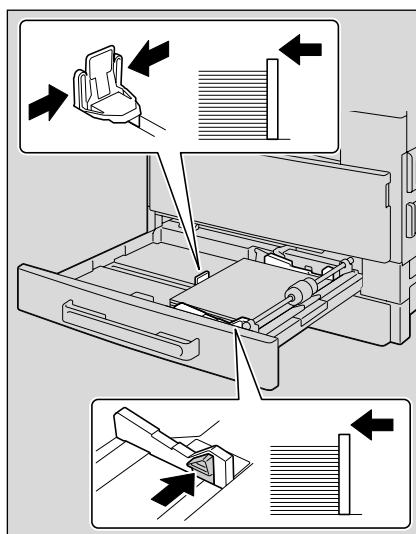
8

トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなおします。



9

用紙サイズにあわせ、ガイド板を調整します。



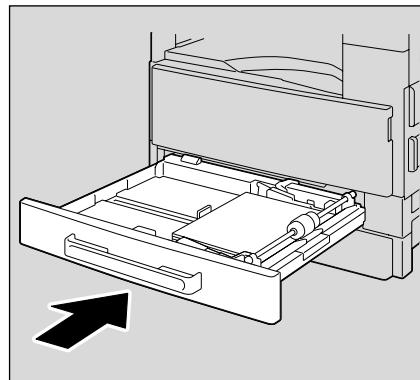
ガイド板は必ず用紙の端面にあわせてください。

7

7.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

10

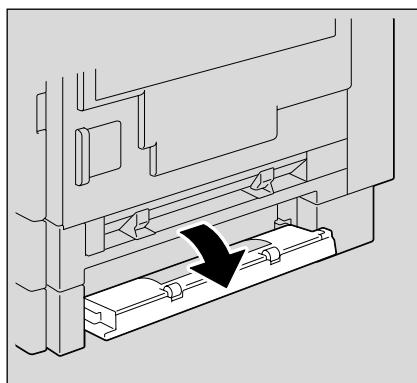
第1トレイをもとに戻します。



■ 第2/第3/第4/第5トレイ(オプション)での 紙詰まり処理のしかた

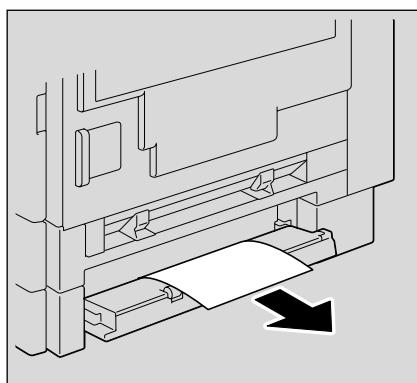
1

右扉を開きます。



2

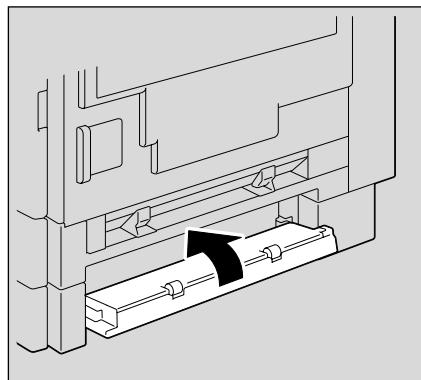
用紙をゆっくり引き抜きます。



7.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

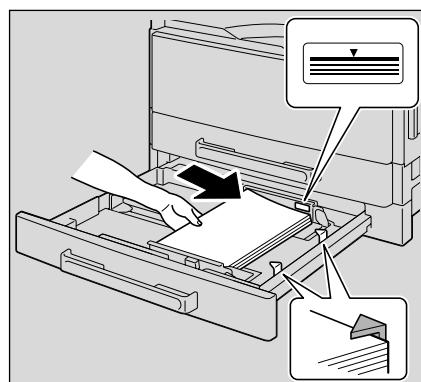
3

右扉を閉じます。



4

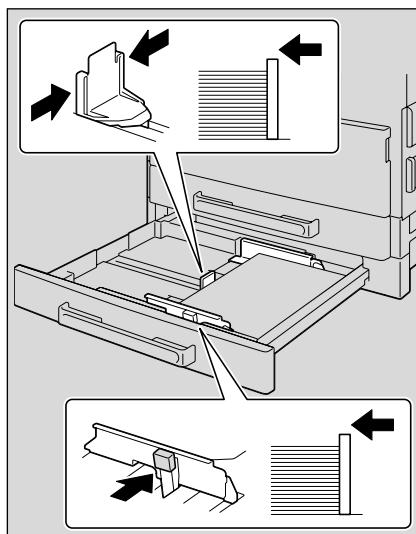
トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなおします。



用紙は▼マークをこえない
ように、ツメの下にセット
してください。

5

用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。



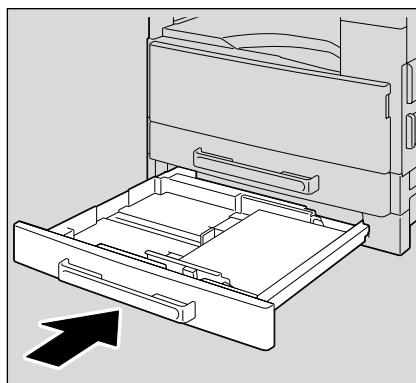
必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

7

6

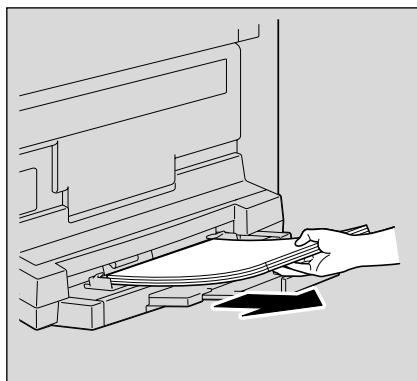
トレイをもとに戻します。



■ マルチ手差しトレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた

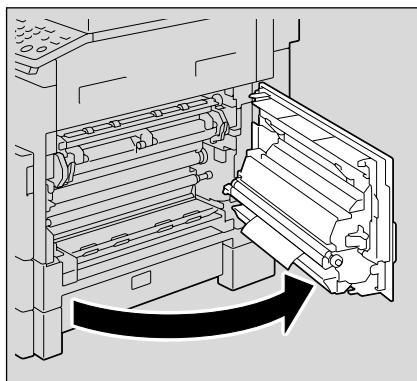
1

マルチ手差しトレイ上の用紙を取り除きます。

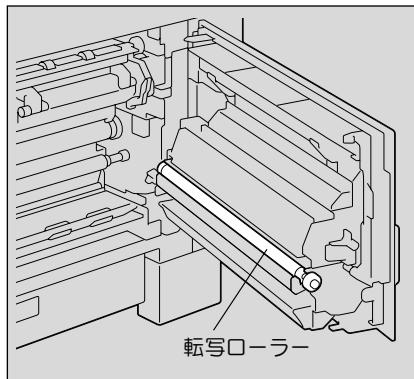


2

本機の右扉を開きます。

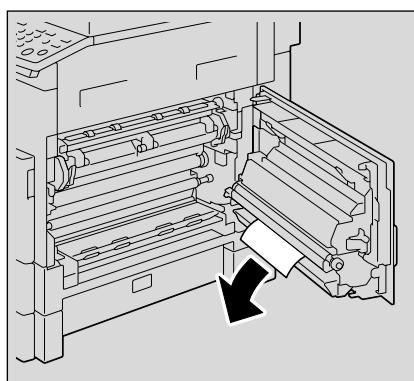


- 転写ローラーの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



3

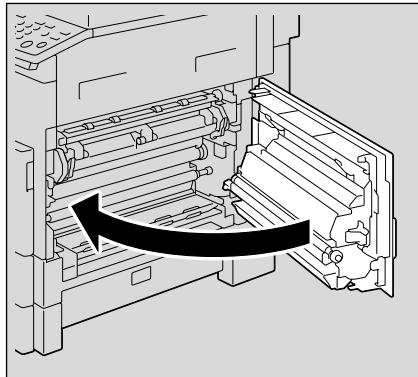
用紙をゆっくり引き抜きます。



7.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

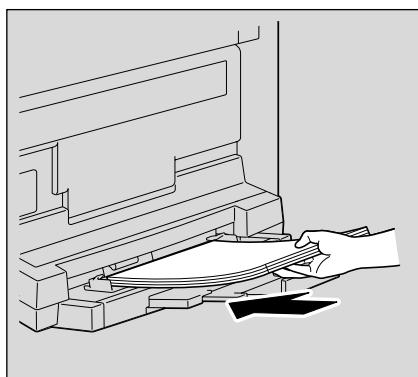
4

本機の右扉を閉じます。



5

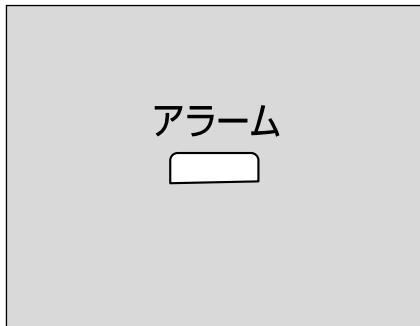
マルチ手差しトレイに用紙をセットしなおします。



7.3 「原稿が詰まりました」が表示されたら

原稿を給紙中に紙詰まりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、原稿の読み取りは停止されます。

以下の手順にしたがって、紙詰まりした用紙を取り除いてください。



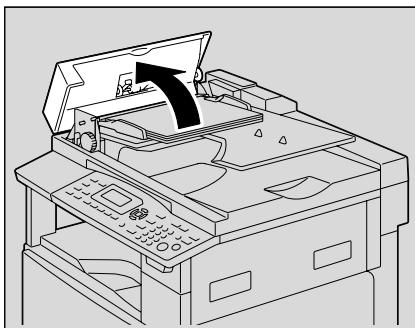
7

注意
原稿が詰まりました
給紙カバーを開けて下
さい

■ 原稿送り装置での紙詰まり処理のしかた

1

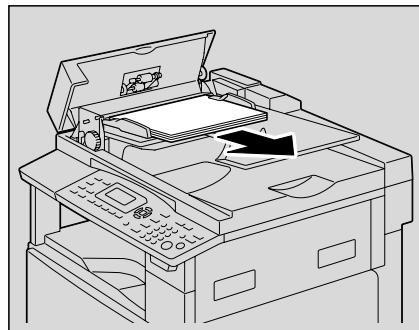
給紙カバーを開きます。



7.3 「原稿が詰まりました」が表示されたら

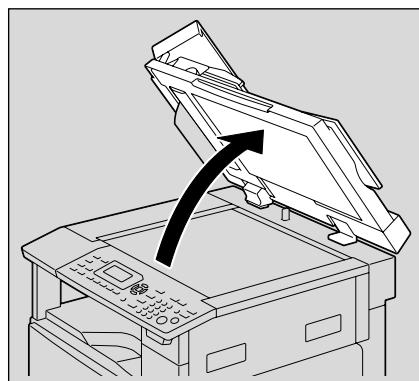
2

原稿給紙トレイの原稿を取り除きます。



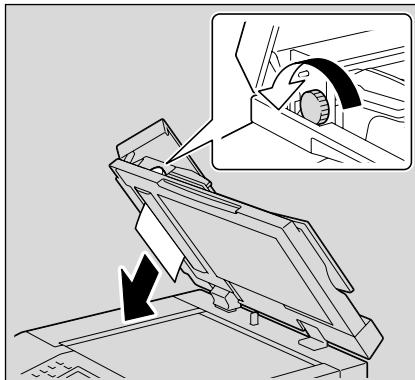
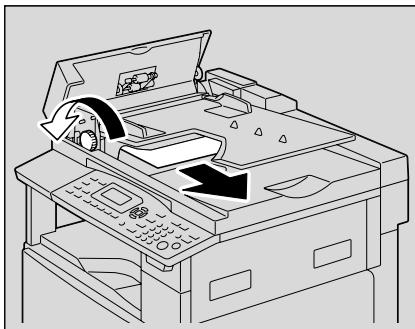
3

原稿送り装置を開きます。

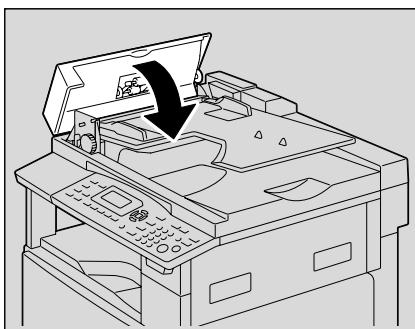


4

原稿送り装置のツマミを矢印方向に回しながら、原稿をゆっくり引き抜きます。

**7****5**

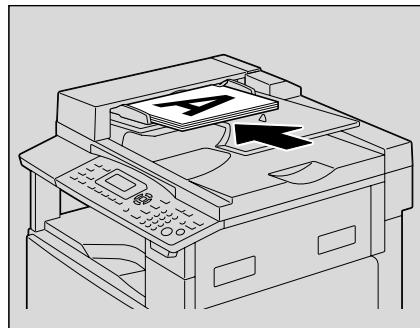
原稿送り装置、給紙力バーを閉じます。



7.3 「原稿が詰まりました」が表示されたら

6

手順 2 で取り除いた原稿をもとに戻します。



 詳しく説明します

ディスプレイに「原稿を元に戻してスタートキーを押してください」と表示された場合は、紙詰まりをおこした原稿をもとに戻してください。

7.4 主なメッセージと処置のしかた

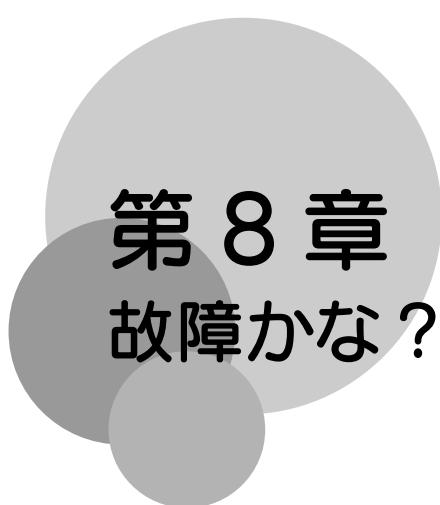
メッセージ	原因	処置のしかた
用紙が詰まりました 右扉を開けて下さい	本機内部で紙つまりをおこしています。	表示されている箇所のカバーを開いて紙つまりした用紙を取り除いてください。「用紙が詰まりました」が表示されたら」(p. 7-6)
	本機内部で紙つまり用紙の取り忘れがあります。	表示されている箇所のカバーを開いて再度紙つまりした用紙を取り除いてください。「用紙が詰まりました」が表示されたら」(p. 7-6)
原稿が詰まりました 給紙カバーを開けて下さい	原稿送り装置内部で紙つまりをおこしています。 原稿送り装置内部で紙つまり用紙の取り忘れがあります。	表示されている箇所のカバーを開いて紙つまりした用紙を取り除いてください。「原稿が詰まりました」が表示されたら」(p. 7-19)
手差しトレイの用紙を取除いて下さい	シングル手差しトレイに用紙が残っています。	シングル手差しトレイから用紙を取り除いてください。
前扉が開いています 前扉を閉めて下さい	本機の前カバーが開いているか、確実にセットされません。	本機の前カバーを確実に閉じてください。
原稿押さえを確実に閉めて下さい	原稿送り装置に原稿がセットされていて原稿送り装置が開いています。	原稿送り装置を確実に閉じてください。
給紙カバーを確実に閉めて下さい	原稿送り装置の給紙カバーが開いています。	給紙カバーを確実に閉じてください。
トナーがありません トナー補給して下さい	トナーがなくなりました。 コピー／プリントができません。	新しいトナーボトルをセットしてください。「トナー補給のしかた」(p. 7-2)
用紙切れです 用紙をセット (#XXX)	選択しているトレイの用紙がなくなりました。 "#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットしてください。
ADFに原稿をセットして下さい	原稿送り装置を使用して行うコピー機能（混載原稿コピーなど）の開始時、原稿送り装置に原稿がセットされません。または、原稿送り装置が開いています。	原稿送り装置に原稿をセットしてください。 原稿送り装置を確実に閉じてください。
ADFの原稿を取り除いて下さい	割込みコピーで、ブック分割コピー以外のコピーの開始時、割込む前のコピー原稿が原稿送り装置に残っています。	原稿送り装置から原稿を取り除いてください。
用紙切れです	(コピー設定中) 選択しているトレイに用紙がありません。 "#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットするか、【用紙】を押して別の用紙サイズを選択してください。

7.4 主なメッセージと処置のしかた

メッセージ	原因	処置のしかた
最適用紙がありません 用紙をセット (#XXX)	<ul style="list-style-type: none"> コピーの途中で、選択したトレイの用紙サイズが変更されました。 自動用紙選択モードでの混載原稿コピー時、最適なサイズの用紙がありません。 "#" はトレイを、 "XXX" は用紙サイズを示します。 	表示されているサイズの用紙をセットするか、【用紙】を押して別の用紙サイズを選択してください。
最適用紙無し (#XXX)	自動用紙選択モードでのコピー時、最適なサイズの用紙がありません。	適切なサイズの用紙をセットするか、【用紙】を押して別の用紙サイズを選択してください。
倍率を選択出来ません	自動倍率選択モードでのコピー時、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによる倍率が 25% ~ 400% の範囲外です。	適切なサイズの用紙をセットするか、【倍率】を押して倍率を選択してください。
用紙サイズエラーです 用紙を確認 (#XXX)	トレイにセットした用紙がサイズエラーです。 "#" はトレイを、 "XXX" は用紙サイズを示します。	ペーパーフィーダーユニットの場合、セットした用紙を取り除き「用紙のセットのしかた」(p. 3-8)の手順にしたがって用紙をセットしてください。不定形サイズの場合は「不定形サイズの用紙にコピーする」(p. 4-40)をごらんください。手差しトレイの場合、セットした用紙を取り除き「手差しトレイに普通紙をセットする」(p. 4-15)の手順にしたがって用紙をセットしてください。
メモリ不足です (キー操作で解除)	スキャナで読み込んだ画像データがメモリーオーバーをおこしています。	操作パネル上のいずれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度オフにして、再度オンにしてください。(読み込んだデータはすべて消去されます。)
	コンピューターから受信した画像データがメモリーオーバーをおこしています。	操作パネル上のいずれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度オフにして、再度オンにしてください。(読み込んだデータはすべて消去されます。)
排紙トレイが一杯です 用紙を取り除いて下さい (キー操作で解除)	オプションのセパレーターを装着している場合、上段排出トレイの用紙が最大積載量に達したため、コピー／プリントができません。	セパレーターの上段排出トレイから用紙を取り除いてください。
排紙トレイ移動エラー (キー操作で解除)	オプションのセパレーターを装着している場合、電源 ON 時・コピー／プリント開始時に、セパレータの上、下段排出トレイ上で用紙が容量オーバーをおこしています。	セパレーターの上、下段排出トレイから用紙を取り除き、操作パネル上のいずれかのキーを押してください。
点検時期です (M1)	メンテナンス時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。

メッセージ	原因	処置のしかた
点検時期です (M2)	感光体ユニットの交換時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。
キーカウンタをセットして下さい	キーカウンターがセットされていません。	キーカウンターをセットしてください。
マシントラブルです サービスに連絡 C####	本機内部でトラブルが発生しました。	本機のメインスイッチを一度オフにして、再度オンしてください。それでもエラー表示される場合は、担当のサービス実施店へ連絡してください。

7.4 主なメッセージと処置のしかた

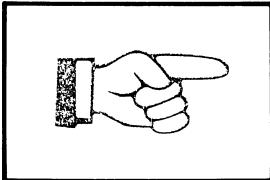
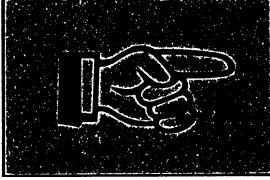
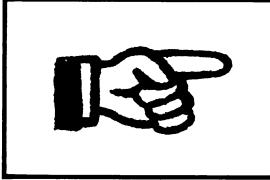
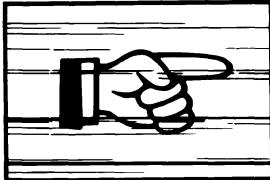
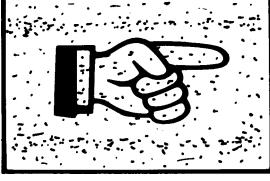


第8章 故障かな？と思ったら

さまざまなトラブルの処置のしかたについて説明します。

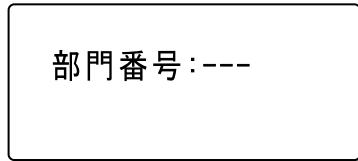
8.1	こんなコピーが出てきたら	8-2
8.2	コピー機が動作しない	8-4

8.1 こんなコピーが出てきたら

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーがうすい / 色がうすい 	コピー濃度の設定が、“うすい”になっていませんか？	【濃度】を押して、お好みのコピー濃度に設定してください。(p. 4-8)
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 3-8)
コピーがこい / 色がこい 	コピー濃度の設定が、“こい”になっていませんか？	【濃度】を押して、お好みのコピー濃度に設定してください。(p. 4-8)
	原稿が原稿ガラスから浮き上がりませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。(p. 3-19)
コピーがにじむまたはボケる 	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 3-8)
	原稿が原稿ガラスから浮き上がりませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。(p. 3-19)
コピーにスジが現れる 	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で空拭きしてください。(p. 9-5)
	原稿押さえパッドが汚れていますか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。(p. 9-6)
	第2原図、OHPフィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか？	原稿の上に白紙を重ねてコピーしてください。(p. 3-20)
コピーの全体が汚れる 	両面原稿を使っていますか？	うすい紙の両面原稿だと、裏面の原稿内容が透けて、おもての原稿に写ってしまうことがあります。【濃度】を押して、コピーの下地レベルをうすくしてください。(p. 4-8)
	感光体ユニットの寿命です。	サービス実施店へご連絡ください。

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーの周りが汚れる	原稿押さえパッドが汚れていますか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。(p. 9-6)
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ (等倍コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。(p. 4-11) もしくは、倍率を自動設定にし、用紙に合わせたコピー倍率で、拡大コピーをしてください。(p. 4-55)
	原稿サイズと用紙の向きが違っていますか？ (等倍コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。もしくは、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズにあった縮小コピー倍率が選択されていますか？ (手動縮小コピー時)	用紙サイズにあったコピー倍率を選択してください。(p. 4-56) もしくは、倍率を自動設定にし、用紙に合わせたコピー倍率で、縮小コピーをしてください。(p. 4-55)
コピーの画像が傾いている。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに、正しくセットしてください。(p. 3-19) 原稿を原稿送り装置にセットし、原稿セットガイドを原稿サイズに正しくあわせてください。(p. 3-17)
	原稿送り装置に適した原稿がセットされていますか？	原稿送り装置を開き、原稿を原稿スケールに正しくセットしてください。(p. 3-19)
	用紙ガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんと用紙ガイド板を合わせてください。
	カールの大きい用紙がトレイにセットされていますか？	用紙のカールを手でおしてトレイにセットしなおしてください。

8.2 コピー機が動作しない

コピー機の状態	おもな原因	処置のしかた
操作パネルに何も表示されない。	【スタート】だけがグリーン点灯していますか？	低電力（スリープ）モードが設定されています。 操作パネル上のいずれかのキーを押して低電力モードを解除してください。(p. 2-17)
	オートパワーオフモードがはたらいていませんか？	メインスイッチを ON にしなおしてください。(p. 2-16)
【スタート】がグリーン色に点灯しない。	ID（部門）番号を入力しましたか？ 	"ID（部門）番号の入力のしかた"の手順にしたがって番号を入力してください。(p. 5-27)
【スタート】を押してもコピーできない。	操作パネル上のアラームランプが点灯していませんか？	ディスプレイを見て、表示ごとの処置のしかたにしたがって対処してください。
	メインスイッチを ON にした直後でコピー機が準備中です。	メインスイッチを ON にしてからコピーできるまでに約 30 秒かかります。 しばらくお待ちください。
コピー mode が設定できない。	【割込み】が点灯していませんか？ 	割込みコピー mode が設定されています。【割込み】を押し、モードを解除してください。(p. 4-65)
本機の電源が入らない。	電源コードが、コンセントから抜けていませんか？	電源コードのプラグを差し込みなおしてください。
	本機を設置してある場所のブレーカーが OFF になっていませんか？	ブレーカーを ON にしてください。



第9章 その他

本機の仕様や、日頃のお手入れについて説明します。

9.1	おもな仕様	9-2
9.2	日常のお手入れ	9-5
9.3	おもな機能の組み合わせ一覧表	9-7
9.4	コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表	9-8
9.5	消耗品について	9-11
9.6	保守サービスについて	9-12

9.1 おもな仕様

■ 本機 bizhub 163

仕様	
形式	デスクトップ
原稿台方式	固定式
感光体	OPC
複写方式	乾式レーザー電子写真方式
現像方式	HMT 方式
定着方式	ヒートローラ定着方式
解像度	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック、立体物 サイズ：最大 A3 □、Ledger □ (11 × 17 □) 重量：3 kg
複写紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 特殊紙：厚紙 (91 g/m ² ~ 157 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒 ※特殊紙は第 1 トレイ、手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	<第 1 トレイ> メトリック系： A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、官製はがき インチ系： Ledger □ (11 × 17 □)、11 × 14 □、 Legal □ (8-1/2 × 14 □)、Letter □/□ (8-1/2 × 11 □/□)、 Invoice □/□ (5-1/2 × 8-1/2 □/□) フリーサイズ：幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm <手差しトレイ> A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、官製はがき (幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm)
用紙積載量	<第 1 トレイ> 普通紙、再生紙：300 枚 特殊紙（厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙）：20 枚 封筒：10 枚 <手差しトレイ> 普通紙、再生紙、特殊紙：1 枚
ウォームアップタイム	30 秒以下（室温 23 °C）
ファーストコピータイム	7 秒以下（原稿ガラス、第 1 トレイ使用時） 11 秒以下（DF-502、第 1 トレイ使用時）
複写速度（毎分）	7 枚 (A3 □) 13 枚 (A4 □) 16 枚 (A4 □) 18 枚 (B5 □)
複写倍率	等倍：100% 拡大：122%、141%、200%、400% 縮小：81%、70%、50%、25% ズーム：25% ~ 400% (1% 刻み)
連続複写枚数	1 ~ 99 枚
濃度調整	自動、および手動 9 段階

仕様	
画像欠損	先端 4 mm、後端 4 mm、奥側 4 mm、手前側 4 mm
電源	100 V、10.0 A、50/60 Hz 共用
最大消費電力	1000 W 以下
大きさ	幅 599 mm × 奥行 620 mm × 高さ 487 mm
質量	38 kg
標準メモリ	コピー側 : 32 MB (最大 160 MB まで増設可能)
直流抵抗値	290 Ω (データターミナル 204 Ω)

■ 自動原稿送り装置 DF-502

仕様	
原稿通紙モード	標準モード : 片面原稿 混載原稿モード : 片面原稿
原稿種類	標準モード : 普通紙 (50 g/m ² ~ 110 g/m ²) 混載原稿モード : 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
原稿サイズ	標準モード : A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ 混載原稿モード : A3 □ と A4 □、B4 □ と B5 □ の混載
原稿積載量	最大 50 枚 (80 g/m ²)
最大消費電力	36 W 以下
大きさ	幅 598 mm × 奥行 483 mm × 高さ 102 mm
質量	6.3 kg

■ ペーパーフィーダーユニット PF-502

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	メトリック系 : A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □ インチ系 : Ledger □ (11 × 17 □)、11 × 14 □、 Legal □ (8-1/2 × 14 □)、Letter □/□ (8-1/2 × 11 □/□)、 Invoice □ (5-1/2 × 8-1/2 □)
収容枚数	300 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 590 mm × 奥行 558 mm × 高さ 108 mm
質量	5.5 kg

■ セパレータ JS-503

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 特殊紙：厚紙 (91 g/m ² ~ 157 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙積載量	<上段トレイ> 普通紙、再生紙：A4 100 枚、A4 以外 50 枚 (高さ 22 mm まで) 特殊紙：10 枚 <下段トレイ> 普通紙、再生紙：A4 150 枚、A4 以外 75 枚 特殊紙：20 枚
最大消費電力	24 W 以下

■ マルチ手差し給紙ユニット MB-501

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 特殊紙：厚紙 (91 g/m ² ~ 157 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、官製はがき (幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm)
収容枚数	普通紙、再生紙：100 枚 特殊紙 (厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙)：20 枚 封筒：10 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 (最大) 439 mm × 奥行 435 mm × 高さ 137 mm
質量	3.1 kg

9.2 日常のお手入れ

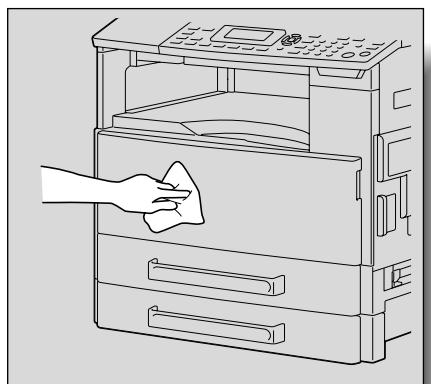
ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。



清掃時は必ず本機のメインスイッチをオフにしてください。

■ 外装カバー

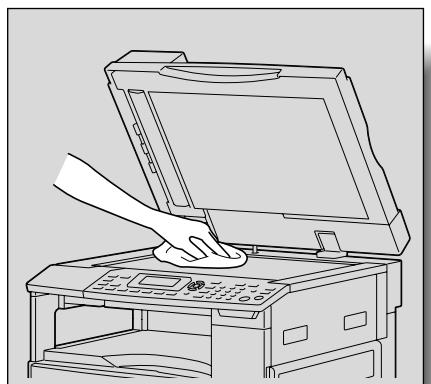
柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭き取ります。



■ 原稿ガラス

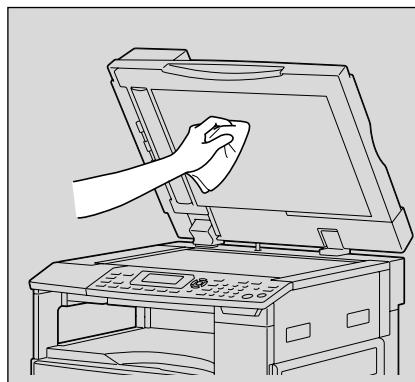
柔らかな布で原稿ガラス表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。

9



■ 原稿押さえパッド

柔らかな布にアルコールを付け、原稿押さえパッド表面の汚れを拭き取ります。

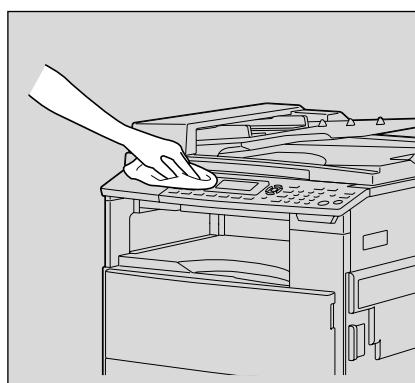


■ 操作パネル

柔らかな布で操作パネルの表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。



操作キーを傷める恐れがあるため、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。



9.3 おもな機能の組み合わせ一覧表

■ おもな機能の組み合わせ一覧表

		給紙		倍率		画質		濃度		混載原稿		ブック分割		集約		とじ代		梓消し		仕上り		白黒反転		
	後設定	自動用紙選択	手動用紙選択	シングル手差し	マルチ手差し	枚数設定	自動倍率	固定倍率	手動倍率	縦横変倍	文字／写真	写真	自動濃度	手動濃度	2in1	4in1	左	上	梓	折目	梓+折目	ノンソート	ソート	グループ
	先設定																							
給紙	自動用紙選択	×	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○
	手動用紙選択	x	✓	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シングル手差し	-	-	✓	✓	-	(1)	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○
	マルチ手差し	x	x	✓	✓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マルチ手差し用紙切れ	x	x	✓	✓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コピー枚数設定	○	○	x	○	✓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自動倍率	x	○	○	○	○	○	✓	x	x	○	○	○	○	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
	固定倍率	○	○	○	○	○	○	x	✓	x	○	○	○	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○
	手動倍率	○	○	○	○	○	○	x	x	✓	○	○	○	○	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○
	縦横変倍	x	○	○	○	○	x	x	x	✓	○	○	○	x	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○
画質	文字／写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	✓	✓	○	○	○	○	○	○	○	○
濃度	自動濃度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	(4)	✓	x	○	○	○	○	○	○	○	○
	手動濃度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	(3)	✓	✓	○	○	○	○	○	○	○	○
混載原稿	混載原稿	○	○	x	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	✓	x	x	○	○	○	○	○	○
	ブック分割	x	○	x	○	○	x	○	○	○	○	○	x	✓	x	x	○	✓	✓	○	○	○	(2)	(2)
とじ代	集約	2in1	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	x	x	✓	x	x	x	x	✓	✓	○	○	○
	4in1	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	✓	x	x	x	x	✓	✓	○	○	○
	とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	✓	✓	○	○	○	○	○
	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x	✓	✓	○	○	○	○
	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x	✓	✓	○	○	○	○
仕上り	梓消し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x	x	✓	✓	○	○	○
	折目	x	○	x	○	○	✓	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x	x	✓	✓	○	○	○	○
	梓+折目	x	○	x	○	○	✓	○	○	○	○	○	○	x	x	x	x	✓	✓	○	○	○	○	○
	ノンソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	✓	x	○
仕上り	ソート	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	✓	○
	グループ	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	✓	○
割込み	白黒反転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	割込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-

機能の組み合わせ条件

○ : 機能を組み合わせることができます。

× : 同時設定できません。先設定モードは解除されます。

- : 同時設定できません。後設定モードは受け付けません。

＼ : 機能を組み合わせることはできません。

(1) : 自動用紙選択は機能しません。

(2) : ブック分割とソート、グループは同時設定できます。

仕上りの設定に関わらず出力結果は同じです。

(3) : 画質が「写真」に設定されている場合は、「自動濃度」は選択できません。

(4) : 画質で「写真」選択後、濃度は「手動濃度」に切り替わります。

9.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表

■ コピー用紙サイズ

名称（センチサイズ）	大きさ（センチ）	大きさ（インチ）
A3	297 mm × 420 mm	11-3/4 × 16-1/2
A4	210 mm × 297 mm	8-1/4 × 11-3/4
A5	148 mm × 210 mm	5-3/4 × 8-1/4
A6	105 mm × 148 mm	4-1/4 × 5-3/4
B4	257 mm × 364 mm	10 × 14-1/4
B5	182 mm × 257 mm	7-1/4 × 10
B6	128 mm × 182 mm	5 × 7-1/4
はがき POSTCARD	100 mm × 148 mm	4 × 5-3/4

名称（インチサイズ）		大きさ（インチ）	大きさ（センチ）
LEDGER		11 × 17	279 mm × 432 mm
11 × 14		11 × 14	279 mm × 356 mm
10 × 14		10 × 14	254 mm × 356 mm
9-1/4 × 14		9-1/4 × 14	236 mm × 356 mm
LEGAL		8-1/2 × 14	216 mm × 356 mm
FOOL SCAP	GOVERNMENT LEGAL	8-1/2 × 13	216 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8 × 13	203 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8-2/3 × 13	220 mm × 330 mm
FOOL SCAP	FOLIO	8-1/4 × 13	210 mm × 330 mm
8-1/4 × 11-3/4		8-1/4 × 11-3/4	210 mm × 301 mm
LETTER		8-1/2 × 11	216 mm × 279 mm
GOVERNMENT LETTER		8 × 10-1/2	203 mm × 267 mm
QUARTO		8 × 10	203 mm × 254 mm
STATEMENT	INVOICE	5-1/2 × 8-1/2	140 mm × 216 mm

■ コピー倍率

センチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
A3 297 mm × 420 mm (11-3/4 × 16-1/2)	A4	70%
	A5	50%
	B4	86%
	B5	61%
A4 210 mm × 297 mm (8-1/4 × 11-3/4)	A5	70%
	A6	50%
	B5	86%
	B6	61%
	A3	141%
	B4	122%
A5 148 mm × 210 mm (5-3/4 × 8-1/4)	A6	70%
	B6	86%
	A4	141%
	A3	200%
	B4	173%
	B5	122%
A6 105 mm × 148 mm (4-1/4 × 5-3/4)	A4	200%
	A5	141%
	B5	173%
	B6	122%
	A4	81%
	A5	57%
B4 257 mm × 364 mm (10 × 14-1/4)	B5	70%
	B6	50%
	A3	115%
	A5	81%
	A6	57%
	B6	70%
B5 182 mm × 257 mm (7-1/4 × 10)	A3	163%
	A4	115%
	B4	141%
	A6	81%
	A4	164%
	A5	115%
B6 128 mm × 182 mm (5 × 7-1/4)	B4	200%
	B5	141%

9.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表

インチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
11 × 17 (279.4 mm × 431.8 mm)	11 × 14	82%
	Legal	77%
	Foolscap	75%
	Letter	64%
	Invoice	50%
11 × 15 (279.4 mm × 381 mm)	11 × 14	93%
	Legal	77%
	Foolscap	75%
	Letter	73%
	Invoice	50%
11 × 14 (279.4 mm × 355.6 mm)	Legal	77%
	Foolscap	77%
	Letter	77%
	Invoice	50%
Legal 8-1/2 × 14 (215.9 mm × 355.6 mm)	Foolscap	92%
	Letter	78%
	Invoice	60%
	11 × 17	121%
Foolscap 8-1/2 × 13 (215.9 mm × 330.2 mm)	Letter	84%
	Invoice	65%
	11 × 17	130%
	11 × 14	107%
Letter 8-1/2 × 11 (215.9 mm × 279.4 mm)	Invoice	64%
	11 × 17	129%
	11 × 14	127%
Invoice 5-1/2 × 8-1/2 (139.7 mm × 215.9 mm)	11 × 17	200%
	11 × 14	164%
	Legal	154%
	Foolscap	150%
	Letter	129%

コピー倍率 = コピー用紙サイズ ÷ 原稿サイズ

$$1 \text{ inch} = 25.4 \text{ mm}$$

$$1 \text{ mm} = 0.0394 \text{ inch}$$

9.5 消耗品について

本機を維持するには以下のような消耗品が必要です。

コピー品質を最良に保つため、指定の消耗品の使用をおすすめいたします。

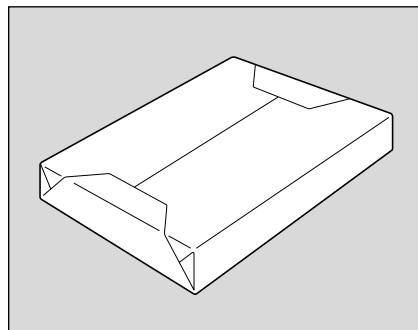
また、これらの消耗品の購入、問い合わせにつきましては、販売各社一覧表をご覧いただき最寄りの販売店にご連絡ください。

■ コピー用紙

普通紙の他に、再生紙、OHP フィルムなどがあります。



包みから取り出したコピー用紙は湿気を避けるためポリ袋に入れ、冷暗所にて保管してください。



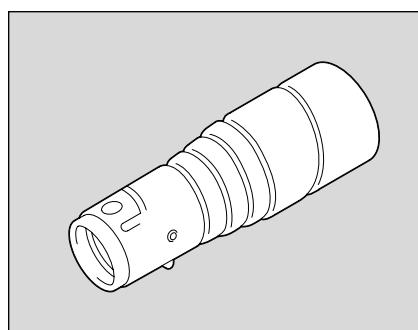
9

■ トナー／トナーボトル

トナーとは、文字や線を記録する黒い粉末です。



- ・本機専用のトナー／トナーボトルを使用してください。
- ・使用済みのトナーボトルはサービス実施店で回収しますので、捨てずに保管しておいてください。



9.6 保守サービスについて

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーキットシステム

本機専用のコピーキットをご購入いただきますと、弊社が機械の性能を維持する為の保守サービスをご提供し、感光体、現像剤をお貸しするシステムです。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備および交換を行います。

- スポットシステム

機械の保守サービスと、感光体、現像剤、トナー、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後 7 年間です。



第 10 章

索引

10.1 索引	10-2
---------------	------

10.1 索引

数字・記号

- 2in1 コピー 5-8
4in1 コピー 5-8

アルファベット

- LCD コントラスト 6-15
LDAP 設定 6-30
OHP フィルム 4-19, 4-32

あ行

- イレース 5-16
印刷ジョブの消去 4-10
印刷の再開 4-10
印刷の停止 4-10
オートトレイチェンジ機能 4-12
オートパワーオフ 2-17, 6-10
オートパワーオフしない設定 6-36
オートリセット 2-17, 6-8
オプション
　セパレータ 2-9
　ペーパーフィーダユニット 2-8
　マルチ手差しトレイ 2-7
おもな機能の組み合わせ一覧表 9-7

か行

- 画質 (ADF) 6-12
画質 (原稿ガラス) 6-13
画像コピー／プリント領域 3-6
画像トラブルの処理 8-2
紙づまりの処理 7-6
　原稿送り装置 7-19
　第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ 7-13
　本体 7-7
　マルチ手差しトレイ 7-16
官製はがき 4-17, 4-48, 4-50
管理者設定 6-30
給紙力バー 2-7
原稿 3-15
原稿ガラス使用時読み込み画質 6-13
原稿づまり 7-19
原稿のセット 3-17
　OHP フィルム 3-20
　原稿ガラス 3-19
　混載原稿 3-23
　透明度の高い原稿 3-20

ブック原稿 3-22

- 交互グループ 5-3
交互ソート 5-3
固定倍率 4-56
コピー禁止事項 15
コピーする

　基本的なコピーのとりかた 4-2

- コピー設定
　イレース幅の調整 6-55
　交互排紙の設定 6-64
　登録 5-24
　とじ代幅の調整 6-54
　ブックとじ位置 6-53
　優先画質 6-49
　優先混載原稿 6-63
　優先濃度レベル（自動） 6-51
　優先濃度レベル（手動） 6-52
　優先用紙 6-48
　呼出し 5-26
　コピー濃度の設定 4-63
　コピー濃度の変更 4-62
　コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表 9-8

さ行

- 自動原稿送り装置 9-3
仕様 9-2
省エネルギー 2-18
使用環境 1-14
小サイズ原稿 6-56
使用上のご注意 1-14
消耗品 16, 1-15, 9-11
初期モード 2-16
白黒反転コピー 5-19
設置環境 1-12
設置スペース 1-13
設置電源 1-12
設定メニュー
　コピー設定 1 6-46
　コピー設定 2 6-57
　セパレータ 9-4
操作パネル 2-10
　ID キー 5-27
　設定メニューキー 2-11, 6-2
　割込みキー 4-65

た行

第1トレイ用紙の設定	6-22
露とり	6-27
ディスプレイの角度	2-13
ディスプレイ表示	2-14
低電力モード	2-17, 6-9
手差しコピー	4-14
電源	2-16
とじ代	5-21
トナー交換	7-2
トナー補給	6-28
ドラムドライ	6-27
トレイ設定	6-19

な行

日常のお手入れ	9-5
ネガポジ反転	5-19

は行

排出面と通紙方向	13
倍率設定	4-54
固定倍率	4-56
自動倍率	4-55
手動倍率	4-58
縦横変倍	4-60
封筒	4-23, 4-44
ブック分割コピー	5-13
部門管理の設定	6-38
プリント濃度	6-14
ページの見かた	12
ペーパーフィーダーユニット	2-8, 9-3
保守サービスについて	9-12
本体設定	6-5

ま行

前扉	7-2
マシンカウンタ	4-67
マルチ手差し給紙ユニット（マルチ手差し）	9-4
メッセージ	7-23

や行

ユーザー保守	6-27
用紙	4-11
用紙のセット	3-8

用紙の保管 3-7

用紙補給のしかた

第1トレイ	3-9
第2トレイ	3-12
第3トレイ	3-12
第4トレイ	3-12
第5トレイ	3-12
手差しトレイ	4-15

用紙を仕分ける（ソート、グループ） 5-2

予約コピー 2-17

ら行

ラベル用紙	4-21, 4-36
リサイクル／リユース	16

わ行

割込みコピー	4-65
--------	------

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

A08E-9550-00

2007 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

2007. 7